

2.6 町村

2.6.1 分散分析結果

(1) 結果要約

分散分析の結果、児童生徒の学力等に有意（5%水準）かつ線形的に影響を与えている要因は、以下のとおり。

表 2-108 分散分析結果一覧（町村）

説明変数（要因）	小学生							中学生									
	国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣			
	A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲				
保護者の 子供への 接し方	同居者と子供について話をする									○		○	○		○		
	子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている				○					○			○	○		○	
	子供を決まった時刻に寝かせるようにしている		○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	
	毎日子供に朝食を食べさせている	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	平日、夕食を一緒に食べている							○				○					
	家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている															○	
	自分でできることは自分でさせている	○	○	○	○	○							○				○
	子供のプライバシーを尊重している	○	○	○	○	○	○	○					○				
	テレビゲーム(PC、携帯ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している		○		○		○			○	○	○	○	○			○
	携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている		○		○		○			○	○		○	○			
	子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている	○		○				○		○	○	○	○	○	○		○
	子供が悪いことをしたらきちんと叱っている									○		○					
	子供に本や新聞を読むようにすすめている	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
	子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている	○	○		○	○				○	○	○	○	○			○
	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	○	○		○	○				○	○	○	○				○
	普段、子供の勉強をみている						○	○									○
	子供に「勉強しなさい」とよく言っている	▼	▼	▼	▼	▼	▼			▼	▼	▼	▼	▼			
	計画的に勉強するようにうながしている																○
	子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している	○	○	○	○	○											
	子供が自然に触れる機会をつくっている																
	子供に生き物や植物の世話をさせている																
	お小遣いの渡し方																
	子供と一緒に美術館や劇場に行く																
	子供と一緒に博物館や科学館に行く	○				○											
子供と一緒に図書館に行く	○	○			○						○						
日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている	○	○			○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	
日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	
日頃、子供と将来や進路について話をする				○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	
日頃、子供と友達のことについて話をする	○	○	○	○	○		○		○		○		○				
日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている						○			○	○	○					○	
平日、子供と一緒に何かをしたり相手をしたりする時間																	
休日、子供と一緒に何かをしたり相手をしたりする時間															▼		
保護者から見た 子供の様 子・行動	土曜日午前、学校の部活動に参加している									○	○		○	○	○	○	
	土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	
	土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している				○			○			▼		○		○	○	
	土曜日午前、家で勉強や読書をしている	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている						▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	
	土曜日午前、家族と過ごしている							○		▼	▼	○	▼	▼		○	
	土曜日午前、友達と遊んでいる	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	
	土曜日午後、学校の部活動に参加している									○	○		○	○	○	○	
	土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している				▼			○	▼		○		○	○		○	
	土曜日午後、家で勉強や読書をしている	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	○	○		○	○											▼
	土曜日午後、家族と過ごしている		○	○		○		○			▼	○	▼	▼		○	
	土曜日午後、友達と遊んでいる	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
保護者の 教育に対 する考え 方	子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)	○	○		○	○										○	
	子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	子供に進んでほしい学校段階の理由(家庭に経済的余裕がないから)	○	○		○	○	○						▼	▼	▼	▼	
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	▼	▼			▼			▼	▼	▼		▼	○			
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	子供が自立できるようにすることが大事							○			○	○		○	○		
	人の気持ちが分かる人間になることが大事									○	○	○	○	○	○	○	○
	自分の意見をはっきり言えるようになることが大事	○	○	○	○					○	○	○				○	○
	将来の夢や目標に向かって努力することが大事	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○
学校以外の教育にかかる平均支出(高くなるほど)	○			○	○											○	
子供1人の教育にかかる支出が家計に与える負担感																○	
保護者の 学校に対 する意 識・行動	学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している	○	○						○	○		○	○			○	
	教科の学力をのばすことを学校に期待する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学習意欲を高めることを学校に期待する								▼	○	○		○	○	○	○	

説明変数（要因）	小学生							中学生						
	国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣
	A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲	
他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する	○	○		○	○			○	○		○	○		○
規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する				▼			○		○					
体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する	○	○	○	○	○	○	○				○	○		▼
健康や食について教えることを学校に期待する	○	○	○	○	○			○	○		○	○		▼
コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する	▼	▼		▼			○	▼	▼		▼	▼		○
学校は、全体的に期待に応えてくれている						○					○	○	○	○
学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている	○							○	○	○	○	○	○	
学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる								○	○	○	○	○		
学校は、家での学習の仕方を教えてくれる								○	○	○			○	○
学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる										○			○	○
学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい										○				○
保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している	○						○	○	○		○	○		○
保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる							○	○	○	○			○
	地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い	○	○		○	○	○					○	○	
保護者自身の行動	PTA 活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	▼
	PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼
	スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる	○	○		○	○	○				○	○	○	○
	資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる					▼		▼			▼	▼		▼
	規則正しい生活を心がけている	○			○		○		○	○	○		○	○
	地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	本を読む	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
	テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る	○	○	○	○	○	○				○	○	○	
新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	
家庭環境	父親の年齢（高くなるほど・40代後半まで）								○		○			○
	母親の年齢（高くなるほど・40代後半まで）	○			○			○	○		○	○		
	父親の職業が常勤職員	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	
	母親の職業が非常勤職員	○	○		○	○		○			○		○	○
	世帯年収（高くなるほど）	○	○		○	○		○	○		○	○		
	父親の学歴（高くなるほど）	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	
	母親の学歴（高くなるほど）	○	○		○	○	○		○	○		○	○	○

※ ○：有意にポジティブな影響 ▼：有意にネガティブな影響

## (2) 保護者の接し方による影響

保護者の子供への接し方と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 子供と一緒に博物館や科学館に行く
- 子供と一緒に図書館に行く
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### b. 国語・B問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 子供と一緒に図書館に行く
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

c. 国語・学習意欲

**【分析結果のポイント】**

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている

d. 算数・A問題

**【分析結果のポイント】**

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 普段、子供の勉強をみている
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 普段、子供の勉強をみている
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 子供と一緒に博物館や科学館に行く
- 子供と一緒に図書館に行く
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 平日、夕食を一緒に食べている
- 子供のプライバシーを尊重している
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と友達のことについて話をする

表 2-109 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の接し方別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の子供への接し方	子供が決まった時刻に起きる（起こす）ようにしている	あてはまる	63.1	49.3	49.9	77.2	57.9	49.9	50.3
		どちらかといえば、あてはまる	61.0	46.2	47.8	76.4	55.3	47.6	41.7
		どちらかといえば、あてはまらない	53.6	36.7	46.8	69.5	47.0	43.7	51.8
		あてはまらない	61.1	42.9	48.6	69.3	51.7	43.8	41.0
	子供を決まった時刻に寝かせるようにしている	あてはまる	64.3	49.8	50.3	77.8	58.6	50.9	53.6
		どちらかといえば、あてはまる	62.0	48.3	49.0	77.3	57.2	48.5	48.8
		どちらかといえば、あてはまらない	59.7	45.3	48.6	73.9	53.9	48.4	37.8
		あてはまらない	59.9	44.6	46.0	71.8	50.8	43.4	30.5
	毎日子供に朝食を食べさせている	あてはまる	63.2	49.2	49.6	77.5	58.2	49.7	49.2
		どちらかといえば、あてはまる	57.7	42.6	47.9	72.3	49.3	46.2	46.7
		どちらかといえば、あてはまらない	50.8	32.2	45.5	66.7	41.0	43.4	32.8
		あてはまらない	42.4	34.5	45.6	64.1	39.9	37.3	19.1
	平日、夕食を一緒に食べている	あてはまる	62.2	48.5	49.8	76.8	57.2	49.4	50.1
		どちらかといえば、あてはまる	63.1	47.9	48.9	76.9	56.7	49.2	44.5
		どちらかといえば、あてはまらない	63.3	47.5	46.4	77.0	57.6	48.2	44.0
		あてはまらない	62.1	49.5	50.6	76.3	57.2	49.3	35.4
	家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている	あてはまる	62.8	48.7	50.0	77.3	57.9	49.7	49.6
		どちらかといえば、あてはまる	62.5	48.8	49.7	76.8	57.4	49.5	51.5
		どちらかといえば、あてはまらない	61.6	47.0	48.1	75.7	54.8	48.3	43.1
		あてはまらない	62.5	48.0	44.8	78.9	57.5	48.5	33.7
	自分でできることは自分でさせている	あてはまる	62.6	49.5	50.1	77.2	57.8	49.6	51.4
		どちらかといえば、あてはまる	62.3	47.4	48.5	76.6	56.7	48.9	44.4
		どちらかといえば、あてはまらない	61.6	42.6	48.2	74.1	52.1	49.0	45.2
		あてはまらない	49.1	31.7	30.9	68.4	50.0	40.4	13.9
	子供のプライバシーを尊重している	あてはまる	63.2	49.5	50.5	77.1	58.0	50.1	52.5
		どちらかといえば、あてはまる	62.5	48.4	49.4	77.1	57.3	49.4	49.2
		どちらかといえば、あてはまらない	61.7	47.2	47.6	75.6	55.8	47.7	39.2
		あてはまらない	47.6	27.6	38.8	64.9	37.4	43.9	36.0
	テレビゲーム(PC、携帯型ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している	あてはまる	65.7	52.9	51.6	79.4	61.5	51.4	51.4
		どちらかといえば、あてはまる	62.6	48.1	49.3	77.0	56.5	49.2	48.2
どちらかといえば、あてはまらない		59.9	46.1	47.5	75.2	54.3	48.2	45.1	
あてはまらない		60.1	43.0	48.3	75.2	55.7	47.0	46.9	
携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をついている	あてはまる	64.5	51.5	51.9	76.4	59.5	49.9	60.3	
	あてはまる	61.7	48.5	49.4	76.2	56.4	50.1	44.9	
	どちらかといえば、あてはまる	61.2	47.7	48.6	75.4	55.6	47.8	49.5	
	どちらかといえば、あてはまらない	59.0	41.8	48.7	74.7	52.4	49.8	51.9	
子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている	あてはまらない	62.4	40.6	48.9	72.5	50.9	48.2	31.6	
	あてはまる	62.8	50.0	50.2	77.6	58.2	50.5	51.5	
	どちらかといえば、あてはまる	62.2	47.5	49.2	76.3	56.4	49.0	47.2	
	どちらかといえば、あてはまらない	62.5	47.3	47.4	77.6	57.8	47.1	44.8	
子供に本や新聞を読むようにすすめている	あてはまらない	59.9	51.1	40.2	71.3	45.3	31.0	44.4	
	あてはまる	68.8	55.8	52.6	81.3	63.4	52.2	53.1	
	どちらかといえば、あてはまる	62.3	48.2	49.6	77.5	57.6	49.5	50.7	
	どちらかといえば、あてはまらない	57.7	43.1	46.8	72.9	51.8	46.8	43.4	
子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている	あてはまらない	55.2	38.7	45.4	70.1	49.3	46.0	34.6	
	あてはまる	68.0	57.2	51.9	80.3	62.8	51.9	56.4	
	どちらかといえば、あてはまる	66.1	52.8	52.4	79.4	60.4	51.1	55.9	
	どちらかといえば、あてはまらない	61.1	46.2	48.1	75.5	55.6	48.2	43.5	
子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	あてはまらない	57.7	42.9	47.3	75.0	53.0	48.3	44.8	
	あてはまる	66.2	53.9	51.4	80.6	62.3	50.3	53.2	
	どちらかといえば、あてはまる	61.4	46.8	48.8	75.6	55.6	49.1	45.1	
	どちらかといえば、あてはまらない	59.2	43.4	46.9	73.7	52.6	47.7	46.7	
普段、子供の勉強をみている	あてはまらない	55.6	39.1	49.1	72.1	48.0	50.7	44.5	
	あてはまる	63.6	50.8	50.8	78.8	58.2	52.0	50.7	
	どちらかといえば、あてはまる	62.6	48.1	49.3	77.1	57.2	49.6	55.1	
	どちらかといえば、あてはまらない	61.8	47.7	48.2	76.1	56.8	48.0	40.3	
		あてはまらない	62.1	48.2	52.5	75.9	55.8	48.3	45.5

説明変数（要因）		小学生						
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣
		A	B	意欲	A	B	意欲	
子供に「勉強しなさい」とよく言っている	あてはまる	60.3	43.7	48.2	75.3	53.3	48.5	49.5
	どちらかといえば、あてはまる	61.7	47.8	48.6	76.5	56.0	49.2	46.9
	どちらかといえば、あてはまらない	63.5	50.2	50.2	77.8	59.4	49.6	45.8
	あてはまらない	66.1	53.9	52.2	78.8	61.9	50.2	56.4
子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している	あてはまる	66.5	54.8	51.7	79.7	61.6	51.1	49.8
	どちらかといえば、あてはまる	65.7	51.2	51.3	79.2	60.1	51.7	52.3
	どちらかといえば、あてはまらない	60.5	46.1	48.2	75.4	55.0	48.1	45.8
	あてはまらない	60.1	45.4	48.2	75.3	55.0	48.0	48.8
子供と一緒に博物館や科学館に行く	月に1回以上	68.5	56.7	55.0	79.8	69.2	57.8	58.6
	2～3カ月に1回程度	67.5	51.7	50.5	81.2	65.4	54.7	64.1
	半年に1回程度	66.4	55.0	50.3	80.4	62.7	50.9	42.6
	1年に1回程度	65.1	51.9	52.1	79.0	60.1	51.6	53.9
	2～3年に1回程度	63.8	50.5	49.8	78.1	58.6	50.0	48.6
	ほとんど行かない	61.0	46.7	48.3	76.3	55.7	47.7	46.1
	行ったことがない	56.9	40.6	47.7	72.0	49.3	46.6	46.0
	近隣に博物館や科学館がないため行くことができない	60.4	44.4	47.1	73.6	53.9	48.1	46.9
子供と一緒に図書館に行く	月に1回以上	69.5	58.3	52.9	80.7	64.9	49.6	44.5
	2～3カ月に1回程度	67.8	54.9	51.0	81.1	62.2	50.3	52.2
	半年に1回程度	62.4	48.5	49.0	76.3	57.0	49.8	49.4
	1年に1回程度	62.1	48.2	49.3	76.2	56.7	48.5	45.2
	2～3年に1回程度	59.8	48.1	45.6	75.7	54.6	49.4	58.3
	ほとんど行かない	59.2	44.2	48.8	75.3	54.2	49.5	47.5
	行ったことがない	55.5	37.8	46.2	70.8	48.5	46.6	46.2
	近隣に図書館がないため行くことができない	62.3	45.2	48.7	78.4	57.2	49.0	51.5
日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている	あてはまる	63.5	50.3	50.9	77.7	58.3	49.8	50.7
	どちらかといえば、あてはまる	61.1	45.9	47.2	75.8	55.6	48.6	46.2
	どちらかといえば、あてはまらない	59.8	43.8	47.7	76.1	54.2	48.0	35.8
	あてはまらない	59.4	41.9	45.0	70.7	50.0	53.3	26.3
日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	あてはまる	65.8	52.5	51.9	79.6	61.2	51.9	52.8
	どちらかといえば、あてはまる	61.6	47.2	48.6	76.2	55.6	48.1	47.2
	どちらかといえば、あてはまらない	57.0	41.8	46.0	72.5	52.0	46.8	40.7
	あてはまらない	53.5	39.6	44.4	67.4	45.3	47.7	41.0
日頃、子供と将来や進路についての話をする	あてはまる	65.1	51.0	51.9	78.4	60.1	51.5	49.5
	どちらかといえば、あてはまる	62.5	48.4	49.1	77.1	56.7	49.1	49.6
	どちらかといえば、あてはまらない	59.2	45.2	47.1	74.8	54.6	47.2	45.5
	あてはまらない	60.9	47.4	51.7	73.5	54.3	48.0	39.6
日頃、子供と友達のことについて話をする	あてはまる	63.5	49.6	50.6	77.6	58.1	49.7	49.6
	どちらかといえば、あてはまる	61.5	47.0	48.1	76.4	56.2	48.7	47.9
	どちらかといえば、あてはまらない	60.0	46.6	47.4	72.9	53.6	48.9	40.3
	あてはまらない	48.7	38.5	44.1	64.8	49.1	54.5	32.0
日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	あてはまる	66.5	53.3	52.8	79.6	60.9	51.7	53.5
	どちらかといえば、あてはまる	62.7	48.5	49.2	77.4	57.4	48.8	45.1
	どちらかといえば、あてはまらない	58.8	44.2	47.0	74.0	53.5	48.5	51.0
	あてはまらない	56.7	41.3	44.9	71.2	51.3	44.3	33.4
日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている	あてはまる	63.4	50.3	51.1	77.3	57.1	49.3	51.7
	どちらかといえば、あてはまる	62.0	47.7	49.0	76.6	57.1	49.2	48.1
	どちらかといえば、あてはまらない	62.1	46.6	48.0	76.8	57.1	49.6	42.1
	あてはまらない	64.6	50.0	47.0	80.1	56.9	50.8	50.1

## 2) 中学生

### a. 国語・A 問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・A の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供が悪いことをしたらきちんと叱っている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている

### b. 国語・B 問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・B の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 毎日子供に朝食を食べさせている
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている



### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 平日、夕食を一緒に食べている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供が悪いことをしたらきちんと叱っている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供と一緒に図書館に行く
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### e. 数学・B問題

##### 【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### f. 数学・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 計画的に勉強するようにながしている
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### g. 学習習慣

##### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている
- 自分でできることは自分でさせている
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 普段、子供の勉強をみている
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている

表 2-110 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の接し方別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の 子供への 接し方	同居者と子供について話を する	よく話をする	76.5	67.4	50.5	62.8	40.0	51.2	55.9
		時々話をする	75.6	66.0	48.6	62.2	40.4	49.9	47.7
		あまり話をしない	73.7	60.2	48.0	58.1	37.0	47.9	38.4
		まったく話をしない	72.2	67.9	47.7	53.6	32.3	46.2	55.2
	子供が決まった時刻に起きる（起 こす）ようにしている	あてはまる	76.7	67.5	50.2	63.3	40.5	50.8	56.6
		どちらかといえば、あてはまる	74.9	65.3	49.5	60.8	38.9	50.5	45.1
		どちらかといえば、あてはまらない	73.5	66.7	48.3	58.8	37.6	50.7	43.6
		あてはまらない	72.5	63.3	48.4	53.5	34.2	48.3	41.3
	子供を決まった時刻に寝かせるよ うにしている	あてはまる	76.8	66.9	51.2	63.5	40.5	51.7	62.3
		どちらかといえば、あてはまる	76.2	67.7	50.4	62.9	40.5	51.3	54.3
		どちらかといえば、あてはまらない	76.0	66.2	49.4	61.6	39.5	50.4	49.4
		あてはまらない	75.2	65.2	47.9	60.4	37.7	48.1	44.9
	毎日子供に朝食を食べさせてい る	あてはまる	77.0	67.7	50.1	63.7	41.1	51.2	55.4
		どちらかといえば、あてはまる	72.6	64.5	49.1	57.2	35.6	48.2	42.9
		どちらかといえば、あてはまらない	69.7	58.2	49.1	51.0	28.2	47.6	36.9
		あてはまらない	64.3	52.5	47.5	47.3	27.0	47.6	39.0
	平日、夕食を一緒に食べてい る	あてはまる	76.5	67.1	50.5	62.4	39.6	50.8	55.0
		どちらかといえば、あてはまる	75.8	66.4	49.1	62.8	40.8	51.2	49.5
		どちらかといえば、あてはまらない	74.2	65.4	48.3	61.3	39.4	49.3	48.5
		あてはまらない	75.4	67.5	47.9	60.2	39.0	49.5	53.9
	家事を手伝わせるなど家族の一員 としての役割を与えている	あてはまる	76.0	67.1	50.6	61.5	38.9	50.9	57.8
		どちらかといえば、あてはまる	76.6	67.3	51.4	62.9	39.9	51.3	57.2
		どちらかといえば、あてはまらない	76.2	66.6	48.1	63.1	41.1	50.0	46.8
		あてはまらない	73.5	64.1	47.9	60.1	38.6	49.9	40.6
	自分でできることは自分でさせ ている	あてはまる	76.6	67.7	50.6	62.2	39.8	50.9	57.9
		どちらかといえば、あてはまる	76.0	66.3	49.6	62.9	40.2	50.4	49.4
		どちらかといえば、あてはまらない	73.4	64.4	48.0	60.2	38.4	51.2	45.1
		あてはまらない	76.3	64.8	47.3	59.8	37.7	47.3	26.6
	子供のプライバシーを尊重してい る	あてはまる	76.6	67.3	50.7	62.0	39.7	50.6	56.4
		どちらかといえば、あてはまる	76.1	66.8	49.7	62.6	40.2	50.8	51.6
		どちらかといえば、あてはまらない	74.5	64.9	48.9	61.5	38.5	50.2	53.5
		あてはまらない	75.3	66.7	45.8	63.4	38.8	53.2	42.8
	テレビゲーム(PC、携帯ゲーム含 む)で遊ぶ時間を限定している	あてはまる	78.6	69.6	51.9	65.2	42.4	51.8	65.6
		どちらかといえば、あてはまる	76.2	67.6	50.0	62.7	39.9	52.0	58.5
		どちらかといえば、あてはまらない	75.5	65.7	49.4	62.2	39.5	50.5	48.8
		あてはまらない	74.2	64.3	47.7	59.4	37.7	48.9	39.6
テレビゲームを持たせていない		78.1	69.7	53.1	63.1	41.6	49.7	58.6	
携帯電話やスマートフォンの使い 方についてルールや約束をついて いる	あてはまる	76.0	67.5	51.2	61.6	38.6	50.4	58.7	
	どちらかといえば、あてはまる	75.4	66.5	49.1	61.5	38.2	50.7	48.0	
	どちらかといえば、あてはまらない	74.1	64.7	48.8	60.4	37.6	49.8	48.6	
	あてはまらない	72.4	63.4	48.8	58.3	36.2	46.6	39.3	
	携帯電話やスマートフォンを持た せていない	77.5	67.7	50.1	64.2	42.5	51.6	55.7	
子供のよいところをほめるなど自 信を持たせるようにしている	あてはまる	77.4	68.5	50.9	64.0	41.7	51.6	58.1	
	どちらかといえば、あてはまる	75.9	66.9	50.0	62.1	39.3	50.7	52.3	
	どちらかといえば、あてはまらない	74.4	63.8	48.3	59.9	38.6	49.1	47.3	
	あてはまらない	71.4	61.1	42.1	57.9	36.5	44.3	23.2	
子供が悪いことをしたらきちんと 叱っている	あてはまる	76.3	67.1	50.3	62.5	39.7	50.9	55.5	
	どちらかといえば、あてはまる	76.0	66.5	49.2	62.6	40.6	50.1	48.2	
	どちらかといえば、あてはまらない	72.3	63.0	47.7	54.5	33.5	49.8	40.8	
	あてはまらない	69.4	65.6	47.7	59.4	41.9	52.3	57.6	
子供に本や新聞を読むようにすす めている	あてはまる	80.4	72.0	52.3	66.8	44.6	51.7	64.7	
	どちらかといえば、あてはまる	77.4	68.4	50.6	64.1	41.8	52.1	55.2	
	どちらかといえば、あてはまらない	73.1	63.1	48.6	58.9	36.2	49.3	46.7	
	あてはまらない	71.6	61.8	46.4	57.0	34.2	47.7	42.8	
子供と読んだ本の感想を話し合っ たりしている	あてはまる	82.1	74.6	53.8	68.2	46.8	51.8	63.9	
	どちらかといえば、あてはまる	79.6	72.4	52.1	66.6	44.9	52.6	61.0	
	どちらかといえば、あてはまらない	75.8	66.3	49.6	61.5	38.7	50.5	53.4	
	あてはまらない	72.2	61.4	47.7	58.9	36.1	49.3	43.6	

説明変数（要因）		中学生						
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣
		A	B	意欲	A	B	意欲	
子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	あてはまる	79.8	71.6	51.1	66.0	43.9	50.8	55.4
	どちらかといえば、あてはまる	75.4	66.4	50.0	61.4	38.9	51.1	53.9
	どちらかといえば、あてはまらない	72.5	61.3	48.4	59.0	35.6	50.4	49.9
	あてはまらない	71.2	60.7	48.3	57.6	36.2	49.5	49.3
普段、子供の勉強をみている	あてはまる	75.5	64.5	50.3	62.6	41.6	52.5	70.7
	どちらかといえば、あてはまる	78.3	70.1	52.3	65.5	42.7	52.6	67.2
	どちらかといえば、あてはまらない	75.9	66.5	49.5	61.8	39.4	50.5	49.3
	あてはまらない	74.7	65.0	48.7	60.5	38.0	49.3	45.1
子供に「勉強しなさい」とよく言っている	あてはまる	73.3	62.4	48.9	58.3	35.9	50.4	52.1
	どちらかといえば、あてはまる	75.4	66.2	49.9	62.3	39.1	51.2	51.8
	どちらかといえば、あてはまらない	77.7	69.0	50.5	63.8	41.8	50.4	53.5
	あてはまらない	79.3	71.6	50.8	66.0	44.3	50.3	57.8
計画的に勉強するようにうながしている	あてはまる	77.7	68.7	51.1	64.5	42.4	52.1	61.3
	どちらかといえば、あてはまる	76.4	67.2	49.8	62.6	39.8	51.0	54.2
	どちらかといえば、あてはまらない	74.0	64.3	49.3	59.9	37.7	49.7	46.2
	あてはまらない	76.3	66.9	49.3	62.1	39.8	48.4	50.4
子供と一緒に図書館に行く	月に1回以上	80.2	71.5	54.1	66.0	44.2	53.0	62.5
	2～3カ月に1回程度	81.7	75.6	54.1	68.5	46.4	53.2	69.9
	半年に1回程度	78.7	71.4	51.1	66.9	45.7	53.0	60.9
	1年に1回程度	78.8	70.2	50.3	65.8	43.5	50.9	60.0
	2～3年に1回程度	77.2	68.2	50.4	63.4	40.8	50.3	50.1
	ほとんど行かない	75.9	66.4	49.0	62.4	39.4	50.7	50.6
	行ったことがない	69.3	58.7	48.9	53.3	31.3	47.7	46.8
	近隣に図書館がないため行くことができない	75.6	61.1	49.0	59.5	37.3	49.4	42.4
日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている	あてはまる	77.6	69.4	51.5	63.3	40.1	51.0	60.0
	どちらかといえば、あてはまる	75.1	65.0	49.0	61.7	39.9	50.8	49.5
	どちらかといえば、あてはまらない	73.9	63.1	47.3	60.8	38.4	49.1	37.5
	あてはまらない	69.7	59.0	44.1	58.5	35.0	48.5	32.5
日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	あてはまる	78.7	70.6	51.4	65.5	43.0	51.9	62.4
	どちらかといえば、あてはまる	74.9	64.7	49.1	60.9	38.0	50.3	47.8
	どちらかといえば、あてはまらない	69.6	58.4	47.1	53.6	33.5	46.6	34.3
	あてはまらない	63.6	57.1	45.0	53.3	30.4	46.5	23.9
日頃、子供と将来や進路についての話をする	あてはまる	78.0	69.8	51.2	64.5	41.5	51.7	60.8
	どちらかといえば、あてはまる	75.2	65.2	49.4	61.4	39.0	50.3	48.6
	どちらかといえば、あてはまらない	71.9	60.7	47.2	56.7	35.8	47.8	40.5
	あてはまらない	65.9	59.8	42.6	54.7	31.5	45.5	21.2
日頃、子供と友達のことについて話をする	あてはまる	77.2	69.0	51.7	63.2	40.2	51.3	58.2
	どちらかといえば、あてはまる	75.8	65.8	48.8	62.0	39.7	50.2	51.3
	どちらかといえば、あてはまらない	73.0	61.5	47.5	59.9	38.8	49.9	40.0
	あてはまらない	72.0	62.3	45.9	61.0	35.2	54.0	48.3
日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	あてはまる	79.5	71.9	52.7	66.1	43.9	51.9	62.5
	どちらかといえば、あてはまる	76.5	67.0	49.6	62.6	39.9	51.0	53.3
	どちらかといえば、あてはまらない	73.3	63.5	48.7	59.8	37.3	49.5	46.6
	あてはまらない	67.8	55.9	44.4	52.4	30.5	47.9	41.4
日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている	あてはまる	77.0	69.2	52.0	62.3	39.2	50.8	59.8
	どちらかといえば、あてはまる	76.2	66.5	49.9	62.3	39.8	51.2	55.3
	どちらかといえば、あてはまらない	75.8	65.7	48.4	62.7	41.1	49.6	43.8
	あてはまらない	70.4	61.8	47.4	59.2	35.7	48.9	37.7

### (3) 子供の様子・行動による影響

児童生徒の普段の様子・行動と学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

#### 1) 小学生

##### a. 国語・A問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている

##### b. 国語・B問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

##### c. 国語・学習意欲

###### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

##### d. 算数・A問題

###### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

表 2-111 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（子供の様子・行動別、小学生）

質問項目		説明変数（要因）	小学生						学習習慣
			国語			算数			
			A	B	意欲	A	B	意欲	
保護者から見た子供の様子・行動	土曜日午前の過ごし方	土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	66.6	55.4	52.7	79.9	61.2	53.9	59.1
		土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	62.5	48.0	50.6	77.8	57.6	50.3	48.3
		土曜日午前、家で勉強や読書をしている	67.6	55.0	51.6	80.3	62.5	50.5	55.6
		土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	62.5	48.6	48.8	76.3	56.8	48.6	46.4
		土曜日午前、家族と過ごしている	62.3	48.7	49.6	76.9	57.5	49.6	50.9
		土曜日午前、友達と遊んでいる	57.6	40.8	45.9	73.1	51.7	47.8	42.2
	土曜日午後の過ごし方	土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	69.4	56.0	52.8	82.4	65.9	53.7	56.0
		土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	62.5	47.3	49.6	77.6	57.5	50.9	47.1
		土曜日午後、家で勉強や読書をしている	67.3	55.3	51.3	80.3	62.9	49.3	54.0
		土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	63.6	49.7	49.2	77.6	58.0	49.1	48.9
		土曜日午後、家族と過ごしている	62.7	49.2	50.1	76.9	57.6	49.1	49.9
		土曜日午後、友達と遊んでいる	60.2	45.4	48.4	75.7	55.5	49.1	47.5

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学校の部活動に参加している
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学校の部活動に参加している
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学校の部活動に参加している
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている



e. 数学・B問題

【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学校の部活動に参加している
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

f. 数学・学習意欲

【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学校の部活動に参加している
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

表 2-112 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（子供の様子・行動別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
		国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
質問項目	選択肢								
保護者から見た子供の様子・行動	土曜日午前の過ごし方	土曜日午前、学校の部活動に参加している	77.1	68.2	49.9	64.1	41.5	51.2	53.9
		土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	82.5	75.4	50.4	70.5	45.4	54.4	65.6
		土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	75.3	64.0	49.4	63.8	40.7	52.0	57.6
		土曜日午前、家で勉強や読書をしている	81.3	74.1	52.9	67.9	46.8	52.3	68.4
		土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	74.6	65.3	49.3	60.6	38.1	50.6	50.0
		土曜日午前、家族と過ごしている	75.3	65.6	51.0	60.6	37.8	50.3	56.3
		土曜日午前、友達と遊んでいる	71.1	60.5	48.3	56.0	32.3	49.6	45.1
	土曜日午後の過ごし方	土曜日午後、学校の部活動に参加している	76.9	68.0	50.0	64.1	41.0	51.4	53.1
		土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	79.1	70.8	50.2	69.7	46.1	54.6	57.5
		土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	77.0	68.1	49.2	65.2	43.5	51.3	54.5
		土曜日午後、家で勉強や読書をしている	81.6	74.4	53.0	68.7	46.6	51.9	68.8
		土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	76.0	66.5	49.5	61.9	39.7	50.6	50.9
		土曜日午後、家族と過ごしている	75.6	66.1	51.2	60.4	38.0	50.2	57.8
		土曜日午後、友達と遊んでいる	73.8	64.2	48.9	59.7	37.0	49.9	48.3

#### (4) 保護者の教育に対する考え方による影響

保護者の教育に対する考え方と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

##### 1) 小学生

##### a. 国語・A問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(家庭に経済的余裕がないから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事
- 学校以外の教育にかかる平均支出(高くなるほど)

##### b. 国語・B問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(家庭に経済的余裕がないから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

##### c. 国語・学習意欲

###### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

##### d. 算数・A問題

###### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(家庭に経済的余裕がないから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事
- 学校以外の教育にかかる平均支出(高くなるほど)

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(家庭に経済的余裕がないから)
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事
- 学校以外の教育にかける平均支出(高くなるほど)

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(家庭に経済的余裕がないから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 子供が自立できるようにすることが大事

表 2-113 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の教育に対する考え方別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の教育に対する考え方	子供に進んでほしい学校段階	中学校まで	46.3	30.0	41.5	54.4	15.4	37.4	.
		高校まで	54.1	38.0	46.7	69.4	47.1	46.7	41.9
		専門学校・各種学校まで	57.9	43.9	46.7	72.7	50.9	45.6	44.9
		短期大学・高等専門学校まで	61.5	52.4	49.7	75.2	55.5	45.8	57.1
		大学まで	67.9	53.4	51.7	82.0	63.9	52.4	52.9
		大学院まで	67.9	56.3	50.8	80.4	68.3	57.3	25.0
	子供に進んでほしい学校段階の理由	子どもがそう希望しているから	65.7	52.9	52.0	79.5	61.5	50.7	51.0
		一般的な進路だと思うから	61.9	47.3	50.9	75.7	55.0	50.3	48.9
		子どもの学力を考えて	60.9	46.9	45.5	73.3	54.2	48.0	49.6
		保護者としての希望	62.8	48.1	48.7	77.5	57.8	48.8	48.1
		家庭に経済的な余裕がないから	55.5	43.1	47.8	72.7	52.4	47.8	55.2
	学校生活を楽しめれば、良い成績をとることはこだわらない	あてはまる	59.1	44.6	47.9	73.1	51.8	46.1	41.9
		どちらかといえば、あてはまる	60.6	46.7	48.6	75.3	54.5	48.6	46.0
		どちらかといえば、あてはまらない	65.4	51.1	50.2	79.3	61.5	50.8	52.5
		あてはまらない	67.1	52.7	52.6	82.0	63.5	53.0	59.2
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	あてはまる	61.5	46.2	49.6	75.7	55.1	49.4	54.7
		どちらかといえば、あてはまる	62.2	48.3	50.1	76.4	56.9	50.1	43.9
		どちらかといえば、あてはまらない	62.8	48.8	48.3	77.8	57.5	48.5	50.9
		あてはまらない	63.1	49.4	49.5	77.2	58.9	48.5	47.9
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	あてはまる	66.5	53.1	51.7	81.4	63.9	52.9	55.5
		どちらかといえば、あてはまる	65.1	50.5	50.5	79.2	59.6	51.1	51.4
		どちらかといえば、あてはまらない	59.0	45.4	47.9	73.6	52.8	47.0	45.1
		あてはまらない	58.9	44.4	47.5	73.3	53.9	46.2	41.4
	子供が自立できるようにすることが大事	重視している	63.7	49.9	50.0	77.9	58.5	49.6	47.2
		どちらかといえば、重視している	60.2	45.9	48.1	75.3	54.9	48.6	49.7
		どちらかといえば、重視していない	65.0	48.9	50.9	77.2	57.1	51.3	53.8
		重視していない	27.8	16.7	59.2	49.1	28.2	43.6	.
	自分の意見をはっきり言えるようになることが大事	重視している	62.7	48.7	49.8	77.0	57.0	49.7	49.9
		どちらかといえば、重視している	61.9	47.9	48.7	76.5	57.1	48.4	45.6
		どちらかといえば、重視していない	60.2	44.1	46.5	75.9	57.0	49.5	50.6
		重視していない	.	.	.	.	.	.	.
	将来の夢や目標に向かって努力することが大事	重視している	63.4	49.3	50.3	77.9	58.1	50.0	48.9
		どちらかといえば、重視している	61.4	47.4	48.4	75.4	56.0	48.3	46.0
		どちらかといえば、重視していない	57.9	43.3	45.0	74.5	52.2	48.1	59.4
		重視していない	35.2	20.0	41.5	49.1	33.3	46.8	.
	学校以外の教育にかかる平均支出	支出はまったくない	56.4	42.4	46.9	71.8	49.8	45.8	43.9
		5千円未満	60.1	44.3	47.6	74.3	54.3	47.7	46.9
		5千円以上1万円未満	63.1	48.3	50.0	77.6	58.4	50.0	51.3
		1万円以上1万5千円未満	63.8	52.4	49.9	78.3	59.1	49.4	42.1
		1万5千円以上2万円未満	65.3	51.0	50.9	79.8	59.3	51.8	54.9
2万円以上2万5千円未満		66.1	50.4	50.9	78.7	60.0	52.5	54.5	
2万5千円以上3万円未満		66.4	57.4	51.8	82.6	61.9	50.8	54.7	
3万円以上5万円未満		70.6	53.8	51.2	83.4	66.2	51.2	72.1	
5万円以上		79.9	68.5	59.0	89.5	79.1	61.4	46.4	

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 子供が自立できるようにすることが大事
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 子供が自立できるようにすることが大事
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 子供1人の教育にかかる支出が家計に与える負担感

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

e. 数学・B問題

**【分析結果のポイント】**

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 子供が自立できるようにすることが大事
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

f. 数学・学習意欲

**【分析結果のポイント】**

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 子供が自立できるようにすることが大事
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事
- 学校以外の教育にかける平均支出(高くなるほど)

g. 学習習慣

**【分析結果のポイント】**

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事

表 2-114 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の教育に対する考え方別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の教育に対する考え方	子供に進んでほしい学校段階	中学校まで	73.4	63.9	40.4	63.2	31.3	40.5	.
		高校まで	67.5	54.9	48.4	48.4	26.5	46.4	43.2
		専門学校・各種学校まで	71.7	60.9	49.8	54.6	30.0	48.2	53.9
		短期大学・高等専門学校まで	79.1	70.2	52.1	64.0	39.6	50.7	61.9
		大学まで	82.1	75.2	50.6	73.0	51.1	54.1	58.9
		大学院まで	85.3	77.4	50.5	80.3	65.3	62.4	65.8
	子供に進んでほしい学校段階の理由	子どもがそう希望しているから	79.4	71.6	51.2	66.3	43.6	52.1	60.8
		一般的な進路だと思うから	74.9	65.2	49.5	61.3	39.2	50.4	46.7
		子どもの学力を考えて	72.8	62.1	50.0	58.8	38.3	50.7	47.6
		保護者としての希望	75.5	66.2	49.6	62.1	39.0	51.2	51.3
		家庭に経済的な余裕がないから	73.4	62.4	49.5	55.0	33.9	47.0	47.9
	学校生活を楽しめれば、良い成績をとることはこだわらない	あてはまる	71.6	60.8	49.9	54.3	33.4	46.7	47.1
		どちらかといえば、あてはまる	74.9	64.9	49.9	60.3	37.7	49.9	52.0
		どちらかといえば、あてはまらない	77.7	69.0	49.7	65.2	42.0	51.8	54.4
		あてはまらない	78.6	71.4	50.8	66.8	46.1	52.8	57.8
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	あてはまる	73.5	63.7	48.9	60.7	37.9	51.5	52.4
		どちらかといえば、あてはまる	74.8	65.5	49.3	60.8	38.2	51.0	53.0
		どちらかといえば、あてはまらない	78.5	69.4	50.9	64.9	42.1	50.5	53.7
		あてはまらない	78.7	69.8	50.9	63.9	43.3	48.8	52.7
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	あてはまる	79.1	71.4	50.4	68.3	46.8	53.5	60.5
		どちらかといえば、あてはまる	78.8	70.2	50.3	67.0	44.4	53.0	57.0
どちらかといえば、あてはまらない		73.6	63.5	49.5	58.0	35.2	48.8	49.5	
あてはまらない		71.8	61.2	49.2	53.9	31.7	46.2	44.7	
子供が自立できるようにすることが大事	重視している	76.8	67.9	50.4	63.3	41.1	51.3	56.6	
	どちらかといえば、重視している	75.2	65.2	49.5	61.1	38.3	50.2	48.1	
	どちらかといえば、重視していない	74.6	65.1	46.8	60.6	35.9	48.1	52.6	
	重視していない	77.3	61.1	36.7	62.5	32.0	45.0	51.5	
人の気持ちが分かる人間になることが大事	重視している	76.3	67.2	50.2	62.6	40.1	51.1	54.5	
	どちらかといえば、重視している	75.5	65.7	49.5	61.6	39.2	49.7	50.0	
	どちらかといえば、重視していない	75.1	61.3	42.7	59.7	38.7	47.8	13.0	
	重視していない	59.4	44.4	1.9	41.7	6.3	62.1	.	
自分の意見をはっきり言えるようになることが大事	重視している	76.2	67.0	50.1	62.2	39.7	51.2	55.3	
	どちらかといえば、重視している	76.2	66.6	49.7	62.7	40.4	50.2	50.9	
	どちらかといえば、重視していない	74.9	63.8	48.8	61.8	38.3	50.2	42.1	
	重視していない	70.6	62.2	46.8	57.8	28.8	39.3	.	
将来の夢や目標に向かって努力することが大事	重視している	77.0	68.4	50.4	63.4	41.0	51.5	56.0	
	どちらかといえば、重視している	75.0	64.5	49.5	61.1	38.5	49.7	49.1	
	どちらかといえば、重視していない	70.9	61.1	46.7	56.5	32.9	48.3	39.2	
	重視していない	64.5	54.2	46.8	48.3	21.9	44.7	70.3	
学校以外の教育にかかる平均支出	支出はまったくない	73.6	63.0	50.8	55.7	33.8	47.1	46.3	
	5千円未満	74.5	66.2	52.0	57.9	37.1	49.2	58.0	
	5千円以上1万円未満	79.3	69.8	49.7	65.5	43.1	50.3	57.1	
	1万円以上1万5千円未満	77.0	67.5	50.0	63.0	39.9	51.0	60.5	
	1万5千円以上2万円未満	74.4	64.9	48.8	62.8	39.8	52.4	54.3	
	2万円以上2万5千円未満	75.8	67.6	48.9	64.9	41.3	53.0	51.7	
	2万5千円以上3万円未満	77.6	68.8	49.9	66.6	42.6	52.8	48.3	
	3万円以上5万円未満	78.6	70.7	48.7	68.7	47.1	54.1	58.7	
	5万円以上	79.6	70.0	51.6	68.0	46.0	53.0	45.7	
子供1人の教育にかかる支出が家計に与える負担感	とても負担に感じる	74.0	64.9	48.6	61.2	38.1	51.6	49.3	
	やや負担に感じる	76.2	67.0	49.9	62.6	39.8	51.0	56.3	
	あまり負担に感じない	77.2	68.0	50.1	63.8	41.7	50.8	53.0	
	まったく負担に感じない	76.4	66.8	51.3	59.8	38.1	48.1	49.3	



(5) 保護者の学校に対する意識・行動による影響

保護者の学校に対する意識・行動と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

1) 小学生

a. 国語・A問題

【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

b. 国語・B問題

【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

c. 国語・学習意欲

【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する

#### d. 算数・A 問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・A の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### e. 算数・B 問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・B の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### f. 算数・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応えてくれている

#### g. 学習習慣

##### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

表 2-115 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の学校に対する意識・行動別、小学生）

質問項目		説明変数（要因）	小学生						
			国語			算数			学習習慣
			A	B	意欲	A	B	意欲	
保護者の学校に対する意識・行動	学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている	知っている	63.5	49.0	50.1	77.7	58.3	50.4	49.2
		知らない	60.8	47.4	48.3	75.7	55.4	47.8	46.9
	学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している	共感できている	63.8	49.1	50.9	77.6	57.6	50.3	50.3
		どちらかといえば、共感できている	63.6	49.1	49.5	77.9	59.0	50.3	48.0
		どちらかといえば、共感できない	59.4	46.9	50.5	78.6	58.1	53.8	61.1
	学校に期待すること	共感できない	50.0	36.7	53.0	64.0	43.6	50.0	49.1
		教科の学力をのばす	64.1	50.3	78.8	59.8	50.7	50.1	54.3
		学習意欲を高める	62.4	48.2	76.9	57.1	49.4	49.1	47.4
		他人とのコミュニケーション能力を高める	62.7	48.8	77.4	57.9	49.3	49.5	48.1
		規範意識や他人を思いやる心を育む	62.9	48.9	77.4	57.5	49.6	49.3	47.8
		将来の進路や職業を考えさせる	62.3	47.7	75.7	57.5	49.6	49.7	52.5
		体力やスポーツの能力を向上させる	63.6	50.6	77.8	58.5	50.2	49.9	50.1
		健康や食について教える	63.4	50.0	77.7	58.4	50.0	48.9	47.7
		コンピュータを活用する能力を育てる	61.7	47.4	75.9	56.4	49.5	48.7	49.6
	学校は、全体的に期待に応じてくれている	そう思う	60.9	46.3	49.1	75.7	55.4	50.0	48.8
		どちらかといえば、そう思う	63.1	49.3	49.7	77.7	58.2	49.4	48.1
		どちらかといえば、そう思わない	62.4	48.2	49.4	75.8	55.8	49.2	47.3
		そう思わない	57.9	40.1	46.9	73.8	51.9	48.2	51.9
	学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている	あてはまる	62.9	48.4	50.5	76.9	57.1	49.9	53.9
		どちらかといえば、あてはまる	62.6	48.6	48.4	77.4	57.5	48.9	45.1
		どちらかといえば、あてはまらない	61.5	48.1	50.3	75.5	56.4	49.0	45.8
	保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している	あてはまらない	56.9	42.8	48.9	72.2	54.8	50.0	30.8
		よくする	63.2	49.3	49.8	77.9	58.1	49.7	48.9
		時々する	58.9	44.2	47.7	72.7	53.7	47.9	48.6
		あまりしない	58.1	43.6	47.5	70.6	46.5	45.6	25.4
	保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる	まったくしない	56.5	53.3	50.6	71.9	56.4	54.0	.
		よくする	65.1	49.5	50.4	79.7	59.6	52.0	56.2
		時々する	62.9	48.6	49.7	77.3	58.1	49.1	51.5
あまりしない		61.8	48.2	48.7	76.0	55.9	48.5	43.6	
		まったくしない	59.3	46.5	49.1	73.9	54.3	48.7	37.7

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる
- 学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### d. 数学・A 問題

##### 【分析結果のポイント】

数学・A の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応えてくれている
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### e. 数学・B 問題

##### 【分析結果のポイント】

数学・B の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応えてくれている
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### f. 数学・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応えてくれている
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる

## g. 学習習慣

### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応じてくれている
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる
- 学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる



(6) 保護者の地域との関わりによる影響

保護者の地域との関わりと児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

1) 小学生

a. 国語・A問題

【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

b. 国語・B問題

【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

c. 国語・学習意欲

【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

d. 算数・A問題

【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い



f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

表 2-117 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の地域との関わり別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
		国語			算数			学習習慣	
質問項目	選択肢	A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	よく参加している	64.2	49.6	50.1	78.4	58.3	51.2	52.6
		時々参加している	62.8	49.1	49.4	77.3	58.1	49.2	47.1
		あまり参加してしない	60.8	46.8	48.6	75.2	55.1	47.2	46.7
		まったく参加してしない	56.5	41.6	48.0	71.9	51.3	47.9	42.8
	地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い	そう思う	64.5	49.3	50.4	78.6	58.8	50.0	51.8
		どちらかといえば、そう思う	62.9	49.2	49.0	77.1	58.0	49.3	49.1
		どちらかといえば、そう思わない	60.1	46.0	49.3	75.1	54.3	48.8	43.0
		そう思わない	57.4	43.9	49.5	72.5	50.8	48.7	48.1

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

### e. 数学・B問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

### f. 数学・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

## g. 学習習慣

### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

表 2-118 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の地域との関わり別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
		国語			数学			学習習慣	
質問項目	選択肢	A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	よく参加している	77.8	69.3	50.3	63.9	41.6	52.1	63.2
		時々参加している	76.1	66.8	50.1	62.9	40.4	51.7	58.4
		あまり参加してしない	76.2	66.8	50.1	62.7	40.2	50.4	51.1
		まったく参加してしない	74.7	65.4	49.1	59.5	37.1	48.7	43.4
	子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる	たくさんいる	76.5	68.1	50.4	63.1	39.3	50.7	54.3
		ある程度いる	76.3	67.0	50.1	62.7	40.1	50.7	54.0
		あまりいない	75.8	66.6	49.2	61.4	40.2	50.8	51.3
		まったくいない	70.3	57.5	47.1	53.5	34.0	50.4	40.8
	地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い	そう思う	76.8	67.7	50.4	64.5	42.2	51.1	58.2
		どちらかといえば、そう思う	77.0	68.4	50.1	63.6	41.2	51.0	55.8
		どちらかといえば、そう思わない	74.8	64.8	49.4	60.5	37.9	50.3	49.1
		そう思わない	72.9	62.1	50.1	57.1	34.5	50.1	46.0

## (7) 保護者自身の行動による影響

保護者自身の行動と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

#### b. 国語・B問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

#### c. 国語・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る

#### d. 算数・A問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

#### e. 算数・B問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

#### f. 算数・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る

#### g. 学習習慣

##### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある

表 2-119 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者自身の行動別、小学生）

質問項目		説明変数（要因）	小学生						学習習慣
			国語			算数			
			A	B	意欲	A	B	意欲	
保護者自身の行動	普段、仕事や家庭に関すること以外で取り組んでいること	PTA 活動などの学校に関わる活動	63.0	48.6	78.1	58.1	50.2	50.4	51.8
		自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる	64.3	50.3	78.5	59.6	49.6	50.2	51.6
		PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる	64.9	51.2	79.5	61.7	50.5	51.9	52.3
		スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる	63.7	49.4	78.5	58.6	49.6	49.9	47.6
		資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる	62.3	48.1	76.7	56.1	50.1	49.5	48.7
	規則正しい生活を心がけている	心がけている	63.5	48.8	49.4	78.6	58.3	50.2	52.7
		どちらかといえば、心がけている	62.3	48.9	49.9	76.1	57.1	49.2	45.5
		どちらかといえば、心がけていない	59.7	42.9	45.9	74.5	51.8	46.8	46.4
		心がけていない	55.1	42.1	45.1	72.1	52.6	43.5	34.3
	地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある	関心がある	64.7	50.5	51.0	79.0	59.6	50.8	51.5
		どちらかといえば、関心がある	61.8	47.8	48.7	75.9	56.3	48.8	47.8
		どちらかといえば、関心がない	57.6	44.0	47.0	74.2	52.4	47.0	43.0
		関心がない	55.9	35.0	46.4	70.0	47.9	44.1	26.0
	本を読む	よくする	64.3	52.2	50.8	78.8	61.6	49.7	44.5
		時々する	63.8	49.7	50.0	77.6	57.3	49.8	49.3
		あまりしない	61.6	47.1	48.5	76.4	56.2	49.1	49.7
		まったくしない	59.2	43.5	48.3	74.4	53.7	48.4	46.5
	テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る	よくする	64.2	50.6	50.7	78.1	58.8	50.3	51.2
		時々する	61.8	47.0	49.0	76.0	56.3	48.7	44.8
		あまりしない	59.5	46.8	46.5	76.0	55.2	48.5	51.3
		まったくしない	56.0	38.3	46.2	73.6	49.9	47.0	38.6
	新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む	よくする	66.2	52.3	51.0	80.0	61.5	51.1	54.9
		時々する	62.5	48.3	49.7	76.5	56.5	49.5	47.3
		あまりしない	60.6	47.1	48.3	75.8	56.0	48.1	46.5
		まったくしない	59.0	43.7	47.6	74.4	53.1	48.0	42.7



## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 本を読む
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 本を読む
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

e. 数学・B問題

**【分析結果のポイント】**

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

f. 数学・学習意欲

**【分析結果のポイント】**

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

g. 学習習慣

**【分析結果のポイント】**

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

表 2-120 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者自身の行動別、中学生）

質問項目		説明変数（要因）	中学生						学習習慣
			国語			数学			
			A	B	意欲	A	B	意欲	
保護者自身の行動	普段、仕事や家庭に関すること以外で取り組んでいること	PTA 活動などの学校に関わる活動	77.5	68.8	64.2	41.8	50.4	51.5	56.3
		自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる	77.5	68.5	64.0	42.2	49.9	51.2	56.6
		PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる	78.4	70.7	66.1	45.4	51.2	53.0	51.7
		スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる	76.7	67.2	64.0	41.1	50.3	51.7	55.9
		資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる	75.5	66.6	62.1	39.7	49.5	51.8	50.8
	規則正しい生活を心がけている	心がけている	77.1	67.8	50.7	64.1	41.4	51.8	55.5
		どちらかといえば、心がけている	75.9	66.6	49.6	61.8	39.2	50.5	53.0
		どちらかといえば、心がけていない	74.2	65.2	48.8	59.1	37.2	48.3	47.9
		心がけていない	71.0	61.2	46.2	59.3	39.2	46.4	33.9
	地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある	関心がある	76.6	67.3	51.3	63.1	40.9	52.0	56.8
		どちらかといえば、関心がある	76.5	67.4	49.2	62.7	39.9	50.2	51.6
		どちらかといえば、関心がない	72.8	63.2	49.8	59.2	37.4	49.7	51.0
		関心がない	66.9	48.8	40.5	47.4	23.7	42.4	40.5
	本を読む	よくする	79.0	69.6	51.0	64.9	42.6	51.3	56.5
		時々する	76.8	68.1	51.0	63.2	41.0	51.8	57.4
		あまりしない	75.2	65.3	49.2	62.1	39.2	50.7	50.8
		まったくしない	73.8	64.4	47.9	58.6	36.0	47.8	46.2
	テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る	よくする	76.8	67.9	50.5	63.2	41.1	51.4	56.1
		時々する	75.7	66.4	49.4	62.4	39.6	50.7	50.9
		あまりしない	76.5	66.7	49.8	61.7	38.6	49.9	49.4
		まったくしない	68.6	57.1	50.0	51.4	32.7	45.5	61.7
	新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む	よくする	77.9	68.9	51.4	64.2	42.7	51.8	57.5
		時々する	76.5	67.6	50.3	62.9	40.3	51.2	54.7
		あまりしない	74.4	64.9	48.6	60.8	37.6	49.7	49.0
		まったくしない	74.2	63.2	48.0	58.9	36.6	48.7	48.2

## (8) 家庭環境による影響

家庭環境と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

#### b. 国語・B問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

#### c. 国語・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)

#### d. 算数・A問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の学歴(高くなるほど)

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、特に見られなかった。

表 2-121 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（家庭環境別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
家庭環境	母親の年齢	24 歳以下							
		25～29 歳	51.9	40.0	49.0	62.0	35.0	39.9	76.6
		30～34 歳	55.9	39.9	48.1	70.3	49.1	46.4	45.2
		35～39 歳	60.7	47.2	49.2	76.0	54.7	48.4	49.8
		40～44 歳	64.1	50.6	49.7	78.5	60.3	50.5	51.2
		45～49 歳	64.8	49.9	49.6	79.1	59.3	49.2	44.2
		50～59 歳	65.3	48.1	50.9	76.7	58.8	49.0	40.9
		60 歳以上	69.4	53.8	52.0	84.2	71.2	58.7	62.1
	父親の職業	常勤職員	63.7	50.0	50.0	78.1	58.8	49.5	48.4
		非常勤職員	60.9	42.5	46.6	73.5	53.8	44.1	30.5
		自営業・家業手伝い	60.4	46.5	48.0	76.7	55.7	49.1	47.3
		パート・アルバイト	61.4	37.8	46.8	72.1	53.5	54.9	51.9
		無職	60.1	48.8	49.5	78.3	53.4	46.6	46.3
	母親の職業	常勤職員	63.2	48.6	49.9	77.6	57.7	49.1	54.6
		非常勤職員	66.7	53.4	49.8	79.7	60.4	49.9	30.5
		自営業・家業手伝い	61.3	45.6	49.4	76.8	54.8	50.7	49.5
		パート・アルバイト	61.1	47.8	48.8	76.5	57.0	49.4	46.7
		無職	64.6	50.2	50.4	77.6	58.8	48.2	50.0
	世帯年収	200 万円未満	54.1	39.4	47.3	69.1	46.2	47.0	44.0
		200 万円以上 300 万円未満	57.1	42.5	49.1	71.3	50.5	47.6	48.1
		300 万円以上 400 万円未満	60.8	47.2	48.7	76.3	55.6	48.6	45.4
		400 万円以上 500 万円未満	61.1	48.1	48.2	76.6	56.7	49.3	45.5
		500 万円以上 600 万円未満	63.4	47.0	48.6	76.8	56.3	47.8	42.4
		600 万円以上 700 万円未満	65.4	50.8	49.0	79.3	60.1	49.2	55.0
		700 万円以上 800 万円未満	65.1	53.0	51.2	79.2	61.3	51.7	51.5
		800 万円以上 900 万円未満	69.0	54.9	51.4	82.3	62.8	49.9	48.9
		900 万円以上 1000 万円未満	70.4	56.3	54.8	83.0	69.7	52.8	55.9
		1000 万円以上 1200 万円未満	69.3	56.4	54.5	83.3	66.5	49.6	51.4
		1200 万円以上 1500 万円未満	69.1	51.6	56.7	82.7	65.6	57.2	49.6
	1500 万円以上	67.7	51.2	42.1	81.4	64.9	52.0	71.6	
	父親の学歴	小学校・中学校	52.3	35.1	46.2	69.1	45.3	48.2	34.2
		高等学校	60.6	46.7	48.4	75.2	55.2	47.7	46.9
		専門学校・各種学校	61.5	48.9	49.0	78.0	57.6	50.1	45.7
		短期大学・高等専門学校	65.8	51.9	49.9	79.4	56.4	48.1	45.0
		大学	69.6	55.7	52.6	82.8	65.4	52.8	52.9
		大学院	77.9	62.1	51.6	89.9	76.9	52.3	90.9
母親の学歴	小学校・中学校	51.6	39.6	47.5	65.9	44.5	46.3	52.6	
	高等学校	59.5	44.7	48.6	74.4	53.4	48.0	45.8	
	専門学校・各種学校	61.8	47.8	47.4	76.8	56.7	48.3	48.0	
	短期大学・高等専門学校	66.5	52.8	51.0	81.1	62.1	51.0	54.9	
	大学	73.0	60.6	54.6	84.8	71.3	53.8	51.0	
	大学院	66.7	63.3	39.5	80.7	64.1	57.1	81.4	

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、特に見られなかった。

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

### e. 数学・B問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

f. 数学・学習意欲

**【分析結果のポイント】**

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

g. 学習習慣

**【分析結果のポイント】**

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 母親の職業が非常勤職員



表 2-122 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（家庭環境別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
家庭環境	父親の年齢	24歳以下							
		25～29歳	71.9	38.9	35.7	41.0	28.1	41.5	35.8
		30～34歳	65.2	56.3	52.9	46.6	23.8	50.4	44.4
		35～39歳	71.8	62.7	48.3	57.5	34.9	49.1	54.3
		40～44歳	76.4	67.0	50.1	62.8	40.1	50.8	53.2
		45～49歳	78.0	68.4	49.8	65.4	42.7	51.7	55.2
		50～59歳	77.6	69.2	51.0	64.4	42.9	51.1	55.5
		60歳以上	73.0	63.9	49.8	56.9	33.9	50.4	59.5
	母親の年齢	24歳以下							
		25～29歳	36.5	22.2	48.9	27.8	8.3	52.2	.
		30～34歳	66.4	57.1	50.5	48.4	25.2	50.0	43.7
		35～39歳	73.1	63.3	49.7	57.9	35.2	49.4	52.9
		40～44歳	77.0	67.7	49.8	63.6	41.0	50.9	51.9
		45～49歳	77.5	68.4	50.1	65.0	42.3	51.3	56.0
		50～59歳	78.2	70.7	51.3	64.2	42.6	51.2	54.6
		60歳以上	67.8	56.4	44.0	52.4	30.8	52.8	21.4
	父親の職業	常勤職員	77.3	68.3	50.1	64.7	42.1	51.3	56.0
		非常勤職員	71.7	60.6	53.1	53.2	31.4	50.4	56.7
		自営業・家業手伝い	74.9	65.6	49.1	60.3	38.1	50.7	50.2
		パート・アルバイト	73.3	61.5	52.9	54.5	36.3	46.1	50.9
		無職	69.1	56.8	49.5	47.8	28.1	44.3	38.9
	母親の職業	常勤職員	76.8	67.7	49.8	63.1	40.9	50.4	53.4
		非常勤職員	77.1	67.3	49.2	63.5	40.9	51.1	53.5
		自営業・家業手伝い	75.8	66.0	49.2	61.4	39.5	50.8	52.4
		パート・アルバイト	75.9	66.6	50.1	62.5	39.5	50.9	53.2
		無職	77.2	68.6	51.1	63.7	41.5	51.4	55.0
	世帯年収	200万円未満	69.5	60.1	50.4	51.9	29.1	48.8	48.7
		200万円以上 300万円未満	71.6	62.1	50.2	56.0	34.0	48.2	45.9
		300万円以上 400万円未満	74.5	64.6	50.3	58.8	36.5	50.6	56.2
		400万円以上 500万円未満	76.5	66.9	49.9	62.0	38.4	50.7	53.5
		500万円以上 600万円未満	77.6	68.2	50.5	63.4	40.4	52.0	54.2
		600万円以上 700万円未満	77.7	69.3	50.5	65.3	42.5	52.0	54.1
700万円以上 800万円未満		79.5	71.5	48.5	69.1	47.0	51.6	57.3	
800万円以上 900万円未満		79.8	70.5	48.2	69.7	47.3	51.2	55.3	
900万円以上 1000万円未満		79.3	72.2	49.8	69.3	48.8	52.4	52.2	
1000万円以上 1200万円未満		81.5	70.4	51.2	71.8	50.9	54.6	61.6	
1200万円以上 1500万円未満		82.9	74.5	51.7	72.9	54.1	49.4	48.5	
1500万円以上	75.4	66.4	43.2	68.4	45.9	51.7	53.1		
父親の学歴	小学校・中学校	67.8	54.3	48.5	48.0	26.9	47.4	44.4	
	高等学校	75.1	65.7	49.9	60.6	37.7	50.3	52.9	
	専門学校・各種学校	74.8	65.5	49.3	61.9	39.4	50.3	52.4	
	短期大学・高等専門学校	78.7	69.7	50.1	65.7	42.7	51.0	53.0	
	大学	82.2	74.3	50.5	72.7	51.0	53.4	61.9	
	大学院	85.6	79.2	56.0	76.3	57.4	55.4	51.8	
母親の学歴	小学校・中学校	67.9	53.8	49.6	48.2	25.9	46.9	40.5	
	高等学校	74.6	64.9	49.5	59.4	36.8	49.9	50.0	
	専門学校・各種学校	75.4	66.3	50.2	62.1	38.0	51.4	58.1	
	短期大学・高等専門学校	79.7	72.2	49.4	69.4	47.2	52.3	55.9	
	大学	84.1	76.8	53.3	74.6	55.6	53.6	63.8	
	大学院	88.2	74.1	49.7	73.8	52.8	47.6	40.0	

2.6.2 重回帰分析結果

(1) 結果要約

重回帰分析（ステップワイズ法）の結果、児童生徒の学力等に特に高い説明力が見られた要因（各従属変数に対して導出された最大15変数）は、以下のとおり。

【分析結果のポイント】	
<p>＜子供への接し方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活や時間の使い方に関するルールを設定することで、学力や家での学習習慣が促進される。特に、朝食の摂取は、算数・数学の学力と学習習慣を向上させる効果が見られる。</li> <li>子供に本や新聞を読むようにすすめたり、絵本の読み聞かせや図書館利用を頻繁に行ったりすることで、学力や学習意欲を高める効果が見られる。</li> <li>日頃からの保護者と子供の接点（勉強や成績、社会の出来事やニュース等について話をする等）が多いほど、学力・学習意欲・学習習慣を向上させる効果が見られる。</li> </ul>	
<p>＜土曜日の過ごし方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日の過ごし方が、学力・学習意欲・学習習慣に影響を与えている。（午前に部活に参加したり、家で勉強や読書をしたりしているとプラス、友達と遊んでいるとマイナス）</li> </ul>	
<p>＜教育に対する考え方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者による学歴期待が、学校種や教科にかかわらず強い影響力を有している。</li> <li>一方、学校生活が楽しければ成績にこだわらないと保護者が考えたり、塾や習い事に通わせないことに対して不安を抱いたりしていると、学力や学習意欲を抑制する。</li> <li>学校以外の教育にかける支出は、小学生の国語・算数の学力、中学生の数学の学力・学習意欲を高める効果が見られる。</li> </ul>	
<p>＜学校に対する意識・行動、地域との関わり、保護者自身の行動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者自身がボランティアでの学校支援や子供との地域行事に参加したり、新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読んだりする習慣が、学習意欲や学習習慣を促進する効果が見られる。</li> </ul>	
<p>＜家庭環境＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親の年齢が中学生の国語の学力、父親・母親の職業が小学生の学力・学習習慣に影響を与えている。</li> <li>世帯年収は、学力に影響を与えているが、学習意欲や学習習慣には影響力がない。</li> <li>父親・母親の学歴が、学力・学習意欲・学習習慣に影響を与えている。</li> </ul>	

表 2-123 重回帰分析結果一覧

説明変数（要因）	小学生							中学生									
	国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣			
	A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲				
保護者の子供への接し方	子供が決まった時間に起きる(起こす)ようにしている															○	
	毎日子供に朝食を食べさせている					○	○					○	○			○	
	子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている						○										
	テレビゲーム(PC、携帯ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している													○			
	子供に本や新聞を読むようにすすめている	○			○	○									○		
	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした		○		○	○			○	○							
	普段、子供の勉強をみている															○	
	子供と一緒に図書館に行く		○											○			
	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする		○			○										○	
	日頃、子供と友達のことについて話をする													○			
	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	○		○						○			○				
日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている																	
保護者から見た子供の様子・行動	土曜日午前、学校の部活に参加している								○			○	○				
	土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している													○			
	土曜日午前、家で勉強や読書をしている	○	○														
	土曜日午前、友達と遊んでいる	▼	▼	▼								▼	▼				
	土曜日午後、家で勉強や読書をしている															○	
	土曜日午後、友達と遊んでいる															▼	
保護者の教育に対する考え方	子供の学力から考えて中学まで進学してほしい																
	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	▼	▼	▼	▼	▼			▼	▼		▼		▼			
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい				▼				▼	▼							
	保護者の希望として高校まで進学してほしい													▼			
	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい								▼	▼							
	子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい															▼	
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい								▼								
	一般的な進路だから専門学校・各種学校まで進学してほしい														▼		
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	○	○		○	○				○	○		○	○			
子供が希望しているから大学まで進学してほしい	○			○	○				○	○		○	○	○		○	

説明変数（要因）		小学生						中学生							
		国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣
		A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲	
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい			○								○	○		
	保護者の希望として大学まで進学してほしい				○	○						○	○		
	子供が希望しているから大学院まで進学してほしい												○		
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	▼			▼	▼	▼			▼	▼		▼	▼	
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	▼	▼			▼				▼	▼		▼	▼	
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい		○				○			○	○		○	○	○
	学校以外の教育にかかる平均支出（高くなるほど）	○	○		○	○							○		○
保護者の学校に対する意識・行動	保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる							○							
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している														○
保護者自身の行動	新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む									○					
家庭環境	母親の年齢（高くなるほど）									○					
	父親の職業が常勤職員		○												
	父親の職業が自営業・家業手伝い	▼													
	母親の職業が常勤職員							○							
	母親の職業が非常勤職員							▼							
	母親の職業が自営業・家業手伝い					▼									
	世帯年収（高くなるほど）					○				○			○	○	
	父親が小学校・中学校卒	▼	▼							▼	▼		▼	▼	
	父親が大学卒	○	○	○	○		○			○			○	○	
	父親が大学院卒				○			○							
	母親が小学校・中学校卒				▼						▼				
	母親が短大・高専卒	○				○									
母親が大学卒	○				○						○				

※ ○：有意にポジティブな影響 ▼：有意にネガティブな影響

## (2) 結果詳細

家庭状況等と児童生徒の学力等との関係性について、重回帰分析（ステップワイズ法）により特に高い説明力が見られた最大 15 変数は、以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

##### <国語・A問題の正答率を押し上げる要因>

- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）
- 父親が大学卒
- 母親が短大・高専卒
- 母親が大学卒

##### <国語・A問題の正答率を押し下げる要因>

- 土曜日午前、友達と遊んでいる
- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることにはこだわらない
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 父親の職業が自営業・家業手伝い
- 父親が小学校・中学校卒

表 2-124 重回帰分析結果（小学生・国語・A 問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	子供に本や新聞を読むようにすすめている	2.270	.101	.000
	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	1.540	.061	.002
子供の様 子・行動	土曜日午前、家で勉強や読書をしている	3.799	.140	.000
	土曜日午前、友達と遊んでいる	-3.720	-.135	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-9.537	-.076	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	9.150	.072	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	5.347	.077	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-2.172	-.090	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-2.356	-.109	.000
	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	.939	.089	.000
家庭環境	父親の職業が自営業・家業手伝い	-2.273	-.043	.021
	父親が小学校・中学校卒	-5.598	-.064	.001
	父親が大学卒	3.367	.073	.000
	母親が短大・高専卒	2.552	.054	.006
	母親が大学卒	6.615	.099	.000
定数		58.162	—	.000
N=3112      R <sup>2</sup> =.168      補正 R <sup>2</sup> =.163				

b. 国語・B問題

【分析結果のポイント】

＜国語・B問題の正答率を押し上げる要因＞

- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供と一緒に図書館に行く
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）
- 父親の職業が常勤職員
- 父親が大学卒
- 土曜日午前、友達と遊んでいる

＜国語・B問題の正答率を押し下げる要因＞

- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- ボランティアでの学校の支援
- 父親が小学校・中学校卒

表 2-125 重回帰分析結果（小学生・国語・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の子供への接し方	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	2.064	.073	.000
	子供と一緒に図書館に行く	1.504	.122	.000
	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	1.981	.056	.005
子供の様子・行動	土曜日午前、家で勉強や読書をしている	5.536	.154	.000
	土曜日午前、友達と遊んでいる	-6.281	-.171	.000
保護者の教育に対する考え方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-12.404	-.077	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	8.894	.054	.004
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-3.830	-.137	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	2.349	.081	.000
	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	1.266	.093	.000
家庭環境	父親の職業が常勤職員	2.798	.051	.007
	父親が小学校・中学校卒	-9.581	-.085	.000
	父親が大学卒	2.757	.046	.022
定数		27.587	—	.000
N=3112		R <sup>2</sup> =.154	補正 R <sup>2</sup> =.150	

c. 国語・学習意欲

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>＜国語・学習意欲を押し上げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする</li> <li>● 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している</li> <li>● 一般的な進路だから大学まで進学してほしい</li> <li>● 父親が大学卒</li> </ul> <p>＜国語・学習意欲を押し下げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土曜日午前、友達と遊んでいる</li> <li>● 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい</li> </ul>
--

表 2-126 重回帰分析結果（小学生・国語・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	2.390	.111	.000
子供の様 子・行動	土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	2.488	.107	.000
	土曜日午前、友達と遊んでいる	-2.980	-.125	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-10.689	-.100	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	3.504	.058	.003
家庭環境	父親が大学卒	3.021	.076	.000
定数		41.509	—	.000
N= 3112      R <sup>2</sup> =.053      補正 R <sup>2</sup> =.050				

d. 算数・A問題

【分析結果のポイント】

＜算数・A問題の正答率を押し上げる要因＞

- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 保護者の希望として大学まで進学してほしい
- 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）
- 父親が大学卒
- 父親が大学院卒

＜算数・A問題の正答率を押し下げる要因＞

- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 一般的な進路だから高校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない
- 母親が小学校・中学校卒

表 2-127 重回帰分析結果（小学生・算数・A問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	子供に本や新聞を読むようにすすめている	1.980	.095	.000
	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	1.132	.057	.006
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-12.170	-.105	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-4.576	-.054	.006
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	8.295	.072	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	6.685	.104	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	3.094	.071	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-1.732	-.078	.000
	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	.569	.059	.004
家庭環境	父親が大学卒	3.796	.089	.000
	父親が大学院卒	8.869	.062	.001
	母親が小学校・中学校卒	-6.187	-.066	.001
定数		68.760	—	.000
N= 3112		R <sup>2</sup> =.127	補正 R <sup>2</sup> =.123	



e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

＜算数・B問題の正答率を押し上げる要因＞

- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 保護者の希望として大学まで進学してほしい
- 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）
- 世帯年収（高くなるほど）
- 母親が短大・高専卒
- 母親が大学卒

＜算数・B問題の正答率を押し下げる要因＞

- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることにはこだわらない
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 母親の職業が自営業・家業手伝い

表 2-128 重回帰分析結果（小学生・算数・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供へ の接し方	毎日子供に朝食を食べさせている	4.180	.068	.001
	子供に本や新聞を読むようにすすめている	1.997	.070	.001
	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	1.592	.059	.006
	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	1.476	.043	.040
保護者の 教育に 対する考 え方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-13.564	-.086	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	13.845	.087	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	9.135	.106	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	4.426	.075	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることにはこだわらない	-3.419	-.113	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-3.462	-.128	.000
家庭環 境	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	.899	.068	.003
	母親の職業が自営業・家業手伝い	-4.185	-.050	.011
	世帯年収（高くなるほど）	.882	.095	.000
	母親が短大・高専卒	3.198	.054	.008
	母親が大学卒	8.557	.104	.000
定数		33.380	—	.000
N= 3112      R <sup>2</sup> =.165      補正 R <sup>2</sup> =.160				

f. 算数・学習意欲

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>＜算数・学習意欲を押し上げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日子供に朝食を食べさせている</li> <li>● 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている</li> <li>● 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい</li> <li>● 父親が大学卒</li> </ul> <p>＜算数・学習意欲を押し下げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> <li>● 学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない</li> </ul>
--

表 2-129 重回帰分析結果（小学生・算数・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	毎日子供に朝食を食べさせている	2.636	.061	.002
	子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている	1.764	.063	.002
保護者の 教育に対 する考え 方	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-3.115	-.048	.016
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-1.432	-.067	.002
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	1.813	.091	.000
家庭環境	父親が大学卒	2.924	.071	.001
定数		32.064	—	.000
N= 3112      R <sup>2</sup> =.040      補正 R <sup>2</sup> =.037				

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

<学習習慣を押し上げる要因>

- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる
- 母親の職業が常勤職員
- 父親が大学院卒

<学習習慣を押し下げる要因>

- 母親の職業が非常勤職員

表 2-130 重回帰分析結果（小学生・学習習慣）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の学校に対する意識・行動	保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる	6.209	.129	.000
家庭環境	母親の職業が常勤職員	7.691	.077	.026
	母親の職業が非常勤職員	-19.481	-.085	.014
	父親が大学院卒	39.863	.118	.001
定数		30.357	—	.000
N= 3112      R <sup>2</sup> =.046      補正 R <sup>2</sup> =.042				

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

##### <国語・A問題の正答率を押し上げる要因>

- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 世帯年収（高くなるほど）
- 父親が大学卒

##### <国語・A問題の正答率を押し下げる要因>

- 土曜日午前、友達と遊んでいる
- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 一般的な進路だから高校まで進学してほしい
- 子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることにはこだわらない
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 父親が小学校・中学校卒

表 2-131 重回帰分析結果（中学生・国語・A 問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	2.016	.111	.000
子供の様 子・行動	土曜日午前、学校の部活動に参加している	3.870	.198	.000
	土曜日午前、友達と遊んでいる	-3.838	-.208	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-10.982	-.134	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-7.717	-.088	.000
	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい	-8.926	-.075	.000
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-4.066	-.058	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	8.532	.093	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	5.726	.115	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-1.284	-.060	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-3.488	-.190	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	2.758	.141	.000
家庭環境	世帯年収（高くなるほど）	.470	.072	.000
	父親が小学校・中学校卒	-4.727	-.061	.000
	父親が大学卒	2.676	.064	.000
定数		70.962	—	.000
N= 5194		R <sup>2</sup> =.212	補正 R <sup>2</sup> =.209	

b. 国語・B問題

【分析結果のポイント】

＜国語・B問題の正答率を押し上げる要因＞

- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 保護者の希望として大学まで進学してほしい
- 一般的な進路だから大学まで進学してほしい
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 母親の年齢（高くなるほど・40代後半まで）

＜国語・B問題の正答率を押し下げる要因＞

- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 一般的な進路だから高校まで進学してほしい
- 子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 父親が小学校・中学校卒
- 母親が小学校・中学校卒

表 2-132 重回帰分析結果（中学生・国語・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	2.328	.087	.000
	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	2.203	.069	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-14.104	-.117	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-8.059	-.063	.000
	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい	-9.082	-.054	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	16.109	.119	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	12.393	.170	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	5.260	.076	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	8.584	.087	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-2.603	-.083	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-4.234	-.157	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	2.343	.081	.000
家庭環境	母親の年齢（高くなるほど）	.894	.034	.022
	父親が小学校・中学校卒	-8.444	-.074	.000
	母親が小学校・中学校卒	-6.682	-.048	.001
定数		58.939	—	.000
N= 5194		R <sup>2</sup> =.170	補正 R <sup>2</sup> =.167	

c. 国語・学習意欲

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>＜国語・学習意欲を押し上げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• テレビゲーム（PC、携帯式ゲーム含む）で遊ぶ時間を限定している</li> <li>• 子供と一緒に図書館に行く</li> <li>• 日頃、子供と友達のことについて話をする</li> <li>• 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む</li> <li>• 母親が大学卒</li> </ul> <p>＜国語・学習意欲を押し下げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供の学力から考えて中学まで進学してほしい</li> <li>• 保護者の希望として高校まで進学してほしい</li> </ul>
---

表 2-133 重回帰分析結果（中学生・国語・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している	.883	.062	.000
	子供と一緒に図書館に行く	.568	.057	.000
	日頃、子供と友達のことについて話をする	1.750	.074	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて中学まで進学してほしい	-45.612	-.043	.005
	保護者の希望として高校まで進学してほしい	-3.857	-.034	.026
保護者自 身の行動	新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む	.731	.041	.009
家庭環境	母親が大学卒	2.648	.042	.006
定数		38.056	—	.000
N= 5194      R <sup>2</sup> =.027      補正 R <sup>2</sup> =.025				

d. 数学・A問題

【分析結果のポイント】	
＜数学・A問題の正答率を押し上げる要因＞	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日子供に朝食を食べさせている</li> <li>● 土曜日午前、学校の部活動に参加している</li> <li>● 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい</li> <li>● 子供が希望しているから大学まで進学してほしい</li> <li>● 保護者の希望として大学まで進学してほしい</li> <li>● 一般的な進路だから大学まで進学してほしい</li> <li>● 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい</li> <li>● 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）</li> <li>● 世帯年収（高くなるほど）</li> <li>● 父親が大学卒</li> </ul>	
＜数学・A問題の正答率を押し下げる要因＞	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土曜日午前、友達と遊んでいる</li> <li>● 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい</li> <li>● 学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない</li> <li>● 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である</li> <li>● 父親が小学校・中学校卒</li> </ul>	

表 2-134 重回帰分析結果（中学生・数学・A問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	毎日子供に朝食を食べさせている	3.071	.077	.000
子供の様 子・行動	土曜日午前、学校の部活動に参加している	4.979	.199	.000
	土曜日午前、友達と遊んでいる	-4.678	-.198	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-13.047	-.124	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	18.343	.154	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	12.452	.194	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	5.926	.098	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	9.027	.104	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-1.863	-.068	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-5.220	-.221	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	3.790	.151	.000
学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	.945	.105	.000	
家庭環境	世帯年収（高くなるほど）	.685	.082	.000
	父親が小学校・中学校卒	-8.747	-.088	.000
	父親が大学卒	4.891	.091	.000
定数		45.912	—	.000
N= 5194		R <sup>2</sup> =.299	補正 R <sup>2</sup> =.296	



e. 数学・B問題

【分析結果のポイント】	
<p>&lt;数学・B問題の正答率を押し上げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日子供に朝食を食べさせている</li> <li>● 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする</li> <li>● 土曜日午前、学校の部活動に参加している</li> <li>● 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい</li> <li>● 子供が希望しているから大学まで進学してほしい</li> <li>● 保護者の希望として大学まで進学してほしい</li> <li>● 一般的な進路だから大学まで進学してほしい</li> <li>● 子供が希望しているから大学院まで進学してほしい</li> <li>● 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい</li> <li>● 世帯年収（高くなるほど）</li> <li>● 父親が大学卒</li> </ul>	
<p>&lt;数学・B問題の正答率を押し下げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土曜日午前、友達と遊んでいる</li> <li>● 一般的な進路だから専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> <li>● 学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない</li> <li>● 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である</li> </ul>	

表 2-135 重回帰分析結果（中学生・数学・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	毎日子供に朝食を食べさせている	2.671	.060	.000
	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	1.070	.034	.016
子供の様 子・行動	土曜日午前、学校の部活動に参加している	4.846	.156	.000
	土曜日午前、友達と遊んでいる	-5.808	-.197	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	一般的な進路だから専門学校・各種学校まで進学してほしい	-10.859	-.044	.002
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	26.754	.201	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	15.882	.220	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	7.344	.107	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	13.108	.133	.000
	子供が希望しているから大学院まで進学してほしい	25.008	.079	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-1.805	-.059	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-4.741	-.178	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	3.878	.137	.000
家庭環境	世帯年収（高くなるほど）	.909	.097	.000
	父親が大学卒	5.840	.097	.000
定数		20.795	—	.000
N= 5194		R <sup>2</sup> =.266	補正 R <sup>2</sup> =.263	

f. 数学・学習意欲

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>＜数学・学習意欲を押し上げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供に本や新聞を読むようにすすめている</li> <li>• 子供が希望しているから大学まで進学してほしい</li> <li>• 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい</li> <li>• 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）</li> </ul> <p>＜数学・学習意欲を押し下げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい</li> <li>• 子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> </ul>
---

表 2-136 重回帰分析結果（中学生・数学・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	子供に本や新聞を読むようにすすめている	.750	.040	.010
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-3.779	-.046	.002
	子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい	-2.261	-.034	.026
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	3.937	.080	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	1.890	.097	.000
	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	.658	.095	.000
定数		41.027	—	.000
N=5194      R <sup>2</sup> =.045      補正 R <sup>2</sup> =.043				

g. 学習習慣

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>&lt;学習習慣を押し上げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供が決まった時刻に起きる（起こす）ようにしている</li> <li>• 毎日子供に朝食を食べさせている</li> <li>• テレビゲーム（PC、携帯式ゲーム含む）で遊ぶ時間を限定している</li> <li>• 普段、子供の勉強をみている</li> <li>• 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする</li> <li>• 土曜日午後、家で勉強や読書をしている</li> <li>• 子供が希望しているから大学まで進学してほしい</li> <li>• 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい</li> <li>• 子供と地域の行事へ参加している</li> </ul> <p>&lt;学習習慣を押し下げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土曜日午後、友達と遊んでいる</li> </ul>
--

表 2-137 重回帰分析結果（中学生・学習習慣）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の子供への接し方	子供が決まった時刻に起きる（起こす）ようにしている	3.338	.048	.038
	毎日子供に朝食を食べさせている	4.635	.062	.006
	テレビゲーム（PC、携帯式ゲーム含む）で遊ぶ時間を限定している	2.978	.082	.000
	普段、子供の勉強をみている	4.012	.078	.001
	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	7.140	.113	.000
子供の様子・行動	土曜日午後、家で勉強や読書をしている	8.959	.187	.000
	土曜日午後、友達と遊んでいる	-7.841	-.167	.000
保護者の教育に対する考え方	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	9.151	.073	.001
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	3.771	.077	.001
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	3.511	.075	.001
定数		-34.367	—	.000
N=5194		R <sup>2</sup> =.129	補正 R <sup>2</sup> =.124	

2.7 へき地

2.7.1 分散分析結果

(1) 結果要約

分散分析の結果、児童生徒の学力等に有意（5%水準）かつ線形的に影響を与えている要因は、以下のとおり。

表 2-138 分散分析結果一覧（へき地）

説明変数（要因）	小学生							中学生						
	国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣
	A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲	
保護者の 子供への 接し方	同居者と子供について話をする						○	○	○		○			○
	子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている	○	○		○	○		○	○		○			
	子供を決まった時刻に寝かせるようにしている			○			○			○				
	毎日子供に朝食を食べさせている				○	○	○		○	○		○		○
	平日、夕食を一緒に食べている							○	○		○	○	○	
	家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている			○						○				○
	自分でできることは自分でさせている							○	○	○		○	○	○
	子供のプライバシーを尊重している		○	○	▼				○	○		○		
	テレビゲーム(PC、携帯ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している								○	○		○	○	
	携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている								○	○				
	子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている			○				○						
	子供が悪いことをしたらきちんと叱っている				▼	▼			○	○				
	子供に本や新聞を読むようにすすめている	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている		○						○	○	○	○	○	
	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	○	○	○				○	○	○	○	○		○
	普段、子供の勉強をみている			○		▼								○
	子供に「勉強しなさい」とよく言っている	▼	▼		▼	▼			▼	▼	▼	▼		▼
	計画的に勉強するようにうながしている			○						○				○
	子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している	○	○		○	○		○	○	○	○	○		
	子供が自然に触れる機会をつくっている													
	子供に生き物や植物の世話をさせている							○						
	お小遣いの渡し方													
	子供と一緒に美術館や劇場に行く													
	子供と一緒に博物館や科学館に行く													
	子供と一緒に図書館に行く								○					
	日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている								○	○				○
	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする			○				○		○				○
	日頃、子供と将来や進路についての話をする			○						○				○
日頃、子供と友達のことについて話をする			○				○	○	○		○		○	
日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている									○		▼		○	
平日、子供と一緒に何かをしたり相手をした時間														
休日、子供と一緒に何かをしたり相手をした時間									○				○	
保護者から見た 子供の様子・行動	土曜日午前、学校の部活動に参加している								○	○		○	○	○
	土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	○	○	○	○	○	○	○		○		○		▼
	土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	土曜日午前、家で勉強や読書をしている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている			▼				▼		▼	▼	▼	▼	▼
	土曜日午前、家族と過ごしている		○	○	▼			○	▼	○	▼	▼		○
	土曜日午前、友達と遊んでいる	▼	▼	▼	▼	▼		▼	▼	▼	▼	▼		▼
	土曜日午後、学校の部活動に参加している								▼	▼				○
	土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	○		○		○		○		○		○	○	○
	土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土曜日午後、家で勉強や読書をしている	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている							▼	○					▼
土曜日午後、家族と過ごしている	▼	▼	○	▼	▼		○		○	▼	▼		○	
土曜日午後、友達と遊んでいる	▼	▼	▼	▼	▼		▼	▼	▼	▼	▼		▼	
保護者の 教育に対する 考え方	子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)								○	○				○
	子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○
	子供に進んでほしい学校段階の理由(家庭に経済的余裕がないから)										▼			▼
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない		▼	▼	▼	▼		▼	▼	▼	▼	▼	▼	
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	▼	▼		▼	▼		○	▼	▼	▼	▼		
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい		○	○	○			○	○					○
	子供が自立できるようにすることが大事	○	○							○				○
	人の気持ちが分かる人間になることが大事								○	○				
	自分の意見をはっきり言えるようになることが大事					○	○			○				○
	将来の夢や目標に向かって努力することが大事			○	○		○			○	○	○	○	
	学校以外の教育にかかる平均支出(高くなるほど)													
子供1人の教育にかかる支出が家計に与える負担感								▼		▼	▼			
保護者の 学校に対する 意識・行動	学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している													○
	教科の学力をのばすことを学校に期待する	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
	学習意欲を高めることを学校に期待する	▼	▼	○				○	○	○	○	○	○	▼
	他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する	○	○		○	○			○	○	○	○		○

説明変数（要因）		小学生						中学生							
		国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣
		A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲	
	規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○
	体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○
	健康や食について教えることを学校に期待する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する			○		▼	○	○			○			○	○
	学校は、全体的に期待に応えてくれている		▼			▼					○			○	○
	学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○		
	学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる							○	○	○		○			
	学校は、家での学習の仕方を教えてくれる	○		○	○			○			○	○	○		
	学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる		○					○							
	学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい			○	○						○	○	○		
	保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している								○	○		○	○	○	○
	保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる			○		○			○	○	○	○	○	○	○
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	○		○		○			○	○	○	○	○	○	
	子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる								○						
	地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い				○				○	○		○	○	○	
保護者自身の行動	PTA 活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
	自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる	○	○		○			○	○	○		○	○	○	○
	PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○
	スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる			○				○	○	○		○	○		○
	資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる	○	○			○	○	○				▼			
	規則正しい生活を心がけている			○				○	○			○			
	地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある			○	○			○	○	○		○	○		○
	本を読む	○				○		○	○	○	○	○	○	○	
	テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る		○	○					○	○		○	○		○
新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む	○	○			○		○	○		○	○	○		○	
家庭環境	父親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)				○										○
	母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)		○		○							○		○	○
	父親の職業が常勤職員	○	○		○	○			○	○		○	○	○	
	母親の職業が非常勤職員	○		○	○	○	○				○	○		○	○
	世帯年収(高くなるほど)	○													
	父親の学歴(高くなるほど)	○	○		○	○			○	○		○	○	○	○
	母親の学歴(高くなるほど)	○	○		○	○			○	○		○	○		○

※ ○：有意にポジティブな影響 ▼：有意にネガティブな影響

## (2) 保護者の接し方による影響

保護者の子供への接し方と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- ・ 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- ・ 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- ・ 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- ・ 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- ・ 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### b. 国語・B問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- ・ 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- ・ 子供のプライバシーを尊重している
- ・ 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- ・ 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- ・ 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- ・ 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- ・ 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### c. 国語・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- ・ 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- ・ 家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている
- ・ 子供のプライバシーを尊重している
- ・ 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- ・ 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- ・ 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- ・ 普段、子供の勉強をみている
- ・ 計画的に勉強するようにうながしている
- ・ 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- ・ 日頃、子供と将来や進路について話をする
- ・ 日頃、子供と友達のことについて話をする
- ・ 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

d. 算数・A問題

【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 子供に生き物や植物の世話をさせている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

表 2-139 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の接し方別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の 子供への 接し方	同居者と子供について話を する	よく話を する	62.2	47.0	51.1	76.6	56.1	50.2	54.9
		時々話を する	61.5	48.3	48.4	76.5	56.7	49.0	39.9
		あまり話を しない	64.2	48.0	51.3	79.2	61.2	50.8	27.3
		まったく話を しない	46.0	40.0	30.2	75.9	40.7	38.7	7.0
	子供が決まった時刻に起きる（起 こす）ようにしている	あてはまる	62.9	48.2	50.5	77.0	56.9	49.9	51.9
		どちらかとい えば、あてはまる	59.9	45.3	50.2	76.1	55.0	50.2	53.3
		どちらかとい えば、あてはまらない	56.4	41.6	51.5	73.0	46.9	47.3	15.7
		あてはまら ない	52.5	24.4	41.0	70.8	40.2	47.9	24.3
	子供を決まった時刻に寝かせるよ うにしている	あてはまる	63.7	49.2	51.1	77.8	58.1	51.0	52.9
		どちらかとい えば、あてはまる	62.0	47.3	50.8	76.9	56.4	49.4	53.2
		どちらかとい えば、あてはまらない	57.7	42.8	50.2	73.8	50.5	49.0	47.4
		あてはまら ない	64.2	45.6	35.2	74.6	57.9	46.0	11.9
	毎日子供に朝食を食べさせてい る	あてはまる	63.1	48.2	50.6	77.3	57.2	50.2	51.7
		どちらかとい えば、あてはまる	52.5	39.7	49.2	72.4	49.6	48.1	47.4
		どちらかとい えば、あてはまらない	57.6	44.4	50.8	70.7	47.4	45.7	47.6
		あてはまら ない	58.7	41.4	38.2	68.4	41.8	36.5	73.7
	家事を手伝わせるなど家族の一員 としての役割を与えている	あてはまる	62.3	47.1	51.0	75.9	55.5	49.9	49.1
		どちらかとい えば、あてはまる	61.8	47.7	50.3	77.3	56.8	49.5	52.9
		どちらかとい えば、あてはまらない	62.0	47.4	50.3	77.3	57.3	50.2	53.8
		あてはまら ない	57.2	39.7	43.2	74.3	49.1	51.6	42.3
	自分でできることは自分でさせ ている	あてはまる	62.3	47.9	50.5	76.4	56.1	49.8	52.9
		どちらかとい えば、あてはまる	61.8	46.5	50.7	77.3	56.5	50.2	49.9
		どちらかとい えば、あてはまらない	57.4	40.6	49.6	75.0	53.0	48.5	42.0
		あてはまら ない	68.5	60.0	19.8	73.7	69.2	42.0	14.3
	子供のプライバシーを尊重してい る	あてはまる	61.5	48.1	51.6	75.1	54.4	49.7	51.5
		どちらかとい えば、あてはまる	62.1	47.3	50.0	77.0	56.8	50.0	50.9
		どちらかとい えば、あてはまらない	61.7	44.2	49.7	78.0	56.3	49.6	52.1
		あてはまら ない	61.8	36.3	38.8	79.6	61.5	52.8	51.1
	子供のよいところをほめるなどし て自信を持たせるようにしてい る	あてはまる	63.1	48.2	51.1	77.1	57.1	49.9	53.3
		どちらかとい えば、あてはまる	61.1	46.8	50.5	76.3	55.5	50.2	50.2
		どちらかとい えば、あてはまらない	63.3	47.0	47.5	78.2	57.4	48.5	45.5
		あてはまら ない	58.3	40.0	15.1	52.6	46.2	11.1	.
	子供が悪いことをしたらきちんと 叱っている	あてはまる	61.8	46.9	50.6	76.3	55.6	50.0	52.2
		どちらかとい えば、あてはまる	62.4	48.0	50.0	77.3	57.7	49.1	48.3
		どちらかとい えば、あてはまらない	67.7	55.5	40.7	86.6	65.0	48.5	6.9
		あてはまら ない	61.1	54.0	49.9	88.4	66.2	58.2	54.6
	子供に本や新聞を読むようにす すめている	あてはまる	67.5	52.8	51.8	79.2	60.2	51.5	49.9
		どちらかとい えば、あてはまる	61.2	46.5	51.2	75.8	55.4	49.8	55.4
		どちらかとい えば、あてはまらない	58.8	44.5	48.8	76.2	54.5	49.0	46.2
		あてはまら ない	58.2	40.8	47.2	73.5	51.7	48.1	48.6
子供と読んだ本の感想を話し合 ったりしている	あてはまる	67.2	54.0	51.1	77.7	61.7	50.7	45.2	
	どちらかとい えば、あてはまる	65.4	51.5	52.6	78.0	58.6	51.2	56.5	
	どちらかとい えば、あてはまらない	59.9	44.8	49.9	76.0	54.5	48.7	49.1	
	あてはまら ない	60.3	44.1	48.3	76.2	54.7	50.7	50.7	
子供が小さいころ、絵本の読み 聞かせをした	あてはまる	66.6	52.8	51.5	79.3	60.7	49.6	53.1	
	どちらかとい えば、あてはまる	60.3	45.3	50.4	75.2	54.2	50.1	50.8	
	どちらかとい えば、あてはまらない	58.6	43.5	49.8	74.6	52.4	49.1	48.6	
	あてはまら ない	57.5	39.7	48.3	75.9	53.9	52.6	46.9	
普段、子供の勉強をみている	あてはまる	61.4	43.2	51.4	75.1	54.5	51.4	62.0	
	どちらかとい えば、あてはまる	62.6	49.1	50.5	76.6	56.2	49.3	51.3	
	どちらかとい えば、あてはまらない	61.2	46.0	50.4	77.3	56.5	50.1	46.5	
	あてはまら ない	64.0	50.8	48.3	77.2	58.7	48.8	47.4	
子供に「勉強しなさい」とよく 言っている	あてはまる	58.6	42.3	49.8	73.4	52.1	50.4	41.9	
	どちらかとい えば、あてはまる	61.0	45.4	49.9	75.6	54.9	48.7	51.1	
	どちらかとい えば、あてはまらない	63.6	50.8	51.6	79.1	58.0	51.2	58.6	
	あてはまら ない	67.9	53.7	50.3	80.3	63.3	49.6	50.4	
計画的に勉強するようにうなが している	あてはまる	62.9	48.6	51.2	77.7	58.0	51.7	56.6	
	どちらかとい えば、あてはまる	61.5	46.7	50.5	76.5	55.8	49.4	49.9	
	どちらかとい えば、あてはまらない	60.5	46.2	50.3	75.5	54.4	49.6	52.0	
	あてはまら ない	66.6	49.9	47.8	78.6	59.1	48.8	44.3	



説明変数（要因）		小学生						
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣
		A	B	意欲	A	B	意欲	
子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している	あてはまる	67.7	53.3	51.1	78.9	61.5	48.6	58.8
	どちらかといえば、あてはまる	62.9	49.1	51.7	77.4	56.2	50.5	52.9
	どちらかといえば、あてはまらない	61.2	46.2	50.9	76.1	55.8	49.8	52.1
	あてはまらない	60.4	45.0	48.0	76.0	54.6	50.0	43.6
子供に生き物や植物の世話をさせている	させている	60.0	45.7	50.3	75.4	53.6	49.3	55.1
	時々させている	62.5	47.4	50.6	76.9	56.0	49.1	52.7
	あまりさせていない	63.9	49.1	50.7	78.1	58.7	50.7	51.3
	させていない	62.0	47.2	50.2	76.7	57.4	50.9	44.7
日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	あてはまる	64.3	49.4	52.1	76.9	57.8	50.2	57.1
	どちらかといえば、あてはまる	59.5	45.2	50.1	76.4	54.8	50.3	49.7
	どちらかといえば、あてはまらない	63.8	48.0	48.0	77.1	57.0	48.2	41.3
	あてはまらない	60.6	46.7	36.4	72.8	51.3	49.9	10.2
日頃、子供と将来や進路についての話をする	あてはまる	64.0	49.5	51.8	77.0	57.3	51.0	52.3
	どちらかといえば、あてはまる	61.3	46.3	50.1	76.5	55.7	49.4	51.1
	どちらかといえば、あてはまらない	60.7	46.0	49.9	76.8	56.2	49.7	49.5
	あてはまらない	62.4	46.9	46.5	75.6	54.7	48.2	51.3
日頃、子供と友達のことについて話をする	あてはまる	63.0	48.5	51.5	76.8	56.5	49.9	53.5
	どちらかといえば、あてはまる	60.7	45.5	49.5	76.3	56.0	49.8	48.2
	どちらかといえば、あてはまらない	61.6	47.9	48.9	78.8	55.9	48.9	45.2
	あてはまらない	54.3	38.9	36.2	62.0	47.0	57.3	.
日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	あてはまる	65.7	50.1	52.2	77.9	58.8	51.2	54.9
	どちらかといえば、あてはまる	62.3	47.5	51.3	77.2	57.2	49.8	51.8
	どちらかといえば、あてはまらない	58.5	45.3	48.0	75.0	53.1	49.4	48.5
	あてはまらない	58.4	41.9	45.6	73.7	49.5	47.5	37.1

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 平日、夕食を一緒に食べている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 子供が悪いことをしたらきちんと叱っている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 子供と一緒に図書館に行く
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 平日、夕食を一緒に食べている
- 自分でできることは自分でさせている
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供を決まった時刻に寝かせるようにしている
- 家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている
- 子供のプライバシーを尊重している
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている
- 子供が悪いことをしたらきちんと叱っている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 計画的に勉強するようにうながしている
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 休日、子供と一緒に何かをしたり相手をしたりする時間

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 子供が決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている
- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 平日、夕食を一緒に食べている
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供のプライバシーを尊重している
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### e. 数学・B問題

##### 【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 平日、夕食を一緒に食べている
- 自分でできることは自分でさせている
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### f. 数学・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 毎日子供に朝食を食べさせている
- 平日、夕食を一緒に食べている
- 家事を手伝わせるなど家族の一員としての役割を与えている
- 自分でできることは自分でさせている
- テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 普段、子供の勉強をみている
- 計画的に勉強するようにうながしている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする

#### g. 学習習慣

##### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 同居者と子供について話をする
- 自分でできることは自分でさせている
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 普段、子供の勉強をみている
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 日頃、子供と将来や進路についての話をする
- 日頃、子供と友達のことについて話をする
- 日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている
- 休日、子供と一緒に何かをしたり相手をしたりする時間

表 2-140 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の接し方別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の 子供への 接し方	同居者と子供について話を する	よく話をする	76.7	66.6	50.1	62.5	39.0	50.9	58.7
		時々話をする	74.8	64.2	48.3	61.1	38.1	50.0	52.2
		あまり話をしない	74.7	62.8	48.5	60.2	34.4	48.2	47.7
		まったく話をしない	69.2	57.5	48.6	52.1	34.5	51.4	41.0
	子供が決まった時刻に起きる（起 こす）ようにしている	あてはまる	76.8	66.4	49.5	62.8	39.7	50.7	58.8
		どちらかといえば、あてはまる	74.9	64.7	49.7	60.6	36.5	50.5	51.6
		どちらかといえば、あてはまらない	73.2	63.1	49.4	58.2	32.9	48.3	48.1
		あてはまらない	71.5	61.1	48.2	56.5	36.3	49.2	53.0
	子供を決まった時刻に寝かせるよ うにしている	あてはまる	75.9	64.2	50.1	62.1	39.0	51.9	62.2
		どちらかといえば、あてはまる	77.0	66.5	50.1	62.9	39.2	51.1	58.3
		どちらかといえば、あてはまらない	75.5	65.4	49.0	61.1	37.7	49.3	52.2
		あてはまらない	74.3	66.4	48.0	59.7	37.5	49.6	52.8
	毎日子供に朝食を食べさせてい る	あてはまる	77.0	67.1	49.6	63.2	40.1	51.0	58.9
		どちらかといえば、あてはまる	72.0	60.3	50.2	56.7	31.7	49.2	52.0
		どちらかといえば、あてはまらない	70.0	55.9	46.0	52.8	28.2	46.4	29.8
		あてはまらない	68.4	54.5	45.5	49.9	30.6	44.5	30.2
	平日、夕食を一緒に食べてい る	あてはまる	76.3	65.9	49.5	62.2	38.8	50.7	58.9
		どちらかといえば、あてはまる	76.2	65.8	49.9	61.8	38.7	50.4	49.5
		どちらかといえば、あてはまらない	74.3	64.6	48.8	60.5	37.7	50.0	50.3
		あてはまらない	73.8	63.2	48.3	57.8	32.5	48.1	59.7
	家事を手伝わせるなど家族の一員 としての役割を与えている	あてはまる	76.0	65.7	51.4	61.5	37.7	51.2	59.2
		どちらかといえば、あてはまる	77.0	66.4	50.0	62.4	39.1	50.3	55.7
		どちらかといえば、あてはまらない	75.5	65.9	47.3	61.8	38.9	50.1	56.2
		あてはまらない	73.0	61.4	45.8	61.1	37.2	49.8	45.6
	自分でできることは自分でさせ ている	あてはまる	76.4	66.0	50.4	62.3	38.8	50.8	58.3
		どちらかといえば、あてはまる	75.9	65.5	48.6	61.5	38.3	50.4	54.4
		どちらかといえば、あてはまらない	74.3	64.4	46.8	61.2	37.5	49.4	52.0
		あてはまらない	70.6	62.8	47.9	54.4	33.4	41.1	38.2
子供のプライバシーを尊重してい る	あてはまる	76.4	66.1	50.8	62.4	38.5	51.0	59.4	
	どちらかといえば、あてはまる	76.1	65.8	48.9	61.8	38.5	50.2	54.8	
	どちらかといえば、あてはまらない	74.7	64.1	48.5	61.4	38.6	51.4	57.2	
	あてはまらない	70.7	64.2	47.2	54.6	36.3	47.8	32.2	
テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム 含む)で遊ぶ時間を限定してい る	あてはまる	78.4	69.7	52.0	64.4	40.5	52.4	66.8	
	どちらかといえば、あてはまる	75.7	65.4	49.7	61.9	38.9	51.2	59.3	
	どちらかといえば、あてはまらない	75.1	64.1	48.1	61.0	37.6	50.2	49.0	
	あてはまらない	75.0	64.2	48.0	60.7	37.5	48.6	54.0	
	テレビゲームを持たせていない	78.1	67.7	52.8	62.6	38.7	49.7	63.3	
携帯電話やスマートフォンの使い 方についてルールや約束をつくだ している	あてはまる	75.2	64.6	51.1	59.7	36.3	51.0	56.7	
	どちらかといえば、あてはまる	74.2	64.4	48.4	59.9	36.4	50.0	54.3	
	どちらかといえば、あてはまらない	75.1	63.1	46.5	61.7	38.6	50.1	52.7	
	あてはまらない	75.4	62.2	46.2	60.1	36.1	48.0	55.7	
	携帯電話やスマートフォンを持た せていない	77.3	67.4	50.0	63.7	40.4	50.9	58.1	
子供が悪いことをしたらきちんと 叱っている	あてはまる	76.1	65.6	49.8	61.9	38.3	50.9	57.1	
	どちらかといえば、あてはまる	76.1	66.2	49.0	62.1	39.5	50.1	56.1	
	どちらかといえば、あてはまらない	75.1	64.9	47.5	60.9	35.4	43.5	45.0	
	あてはまらない	68.2	57.6	39.1	58.6	35.2	47.6	63.4	
子供に本や新聞を読むようにすす めている	あてはまる	79.8	70.8	53.0	65.5	42.9	52.0	64.9	
	どちらかといえば、あてはまる	77.3	67.3	49.7	63.7	40.4	51.2	57.6	
	どちらかといえば、あてはまらない	73.5	62.6	48.1	59.1	35.3	49.5	53.4	
	あてはまらない	71.3	59.0	45.7	56.3	32.2	48.0	41.3	
子供と読んだ本の感想を話し合っ たりしている	あてはまる	81.0	72.8	54.7	66.4	45.8	52.4	64.3	
	どちらかといえば、あてはまる	79.5	71.1	52.0	65.5	42.0	51.1	65.6	
	どちらかといえば、あてはまらない	75.7	65.2	49.2	61.5	38.0	50.6	53.7	
	あてはまらない	72.3	60.2	46.6	58.4	34.7	49.5	51.6	
子供が小さいころ、絵本の読み聞 かせをした	あてはまる	79.1	70.0	50.5	65.0	42.5	50.2	59.6	
	どちらかといえば、あてはまる	75.8	65.6	49.8	61.4	37.5	50.7	58.0	
	どちらかといえば、あてはまらない	73.8	62.2	48.1	59.7	36.0	51.2	51.9	
	あてはまらない	69.5	57.2	47.8	56.0	32.1	49.5	48.3	

説明変数（要因）		中学生						
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣
		A	B	意欲	A	B	意欲	
普段、子供の勉強をみている	あてはまる	78.7	66.6	51.5	65.0	42.5	54.1	73.9
	どちらかといえば、あてはまる	76.2	66.9	52.0	62.3	40.0	52.7	65.2
	どちらかといえば、あてはまらない	75.7	64.8	49.2	61.2	37.2	50.0	55.2
	あてはまらない	76.2	66.7	47.8	62.4	39.3	49.2	49.5
子供に「勉強しなさい」とよく言っている	あてはまる	73.2	61.7	48.5	58.4	35.5	51.2	53.9
	どちらかといえば、あてはまる	74.5	63.5	49.7	60.0	35.9	50.2	55.1
	どちらかといえば、あてはまらない	77.4	68.0	49.5	63.6	40.3	50.1	57.1
	あてはまらない	80.7	72.0	50.5	67.7	45.3	51.2	62.5
計画的に勉強するようにうながしている	あてはまる	77.1	67.4	51.0	63.5	40.4	51.5	60.8
	どちらかといえば、あてはまる	76.0	65.3	50.0	61.7	37.8	50.8	57.0
	どちらかといえば、あてはまらない	75.0	64.5	48.0	60.5	37.7	50.0	53.0
	あてはまらない	77.0	67.9	48.0	63.4	41.3	48.6	55.2
子供が英語や外国の文化に触れるよう意識している	あてはまる	80.7	71.5	51.3	67.8	45.3	51.8	62.0
	どちらかといえば、あてはまる	78.1	68.7	49.9	65.0	42.3	53.2	63.6
	どちらかといえば、あてはまらない	75.5	65.1	49.6	61.0	37.6	49.8	55.7
	あてはまらない	74.2	63.2	48.5	59.5	35.5	49.5	51.4
子供と一緒に図書館に行く	月に1回以上	81.0	71.2	53.4	65.6	41.2	51.3	63.1
	2～3カ月に1回程度	80.5	72.7	52.9	67.0	45.9	50.6	67.1
	半年に1回程度	78.3	69.5	52.0	62.6	38.6	49.7	59.5
	1年に1回程度	77.8	68.3	50.0	63.8	40.2	52.3	56.7
	2～3年に1回程度	76.5	65.6	50.8	62.6	39.8	52.0	59.6
	ほとんど行かない	75.6	65.1	48.4	61.3	37.6	50.4	56.4
	行ったことがない	72.2	59.7	46.9	57.7	33.5	48.9	45.6
	近隣に図書館がないため行くことができない	77.0	68.0	51.7	64.0	41.8	51.4	60.2
日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている	あてはまる	77.1	66.7	51.5	62.2	38.6	50.9	62.7
	どちらかといえば、あてはまる	75.4	65.3	47.9	61.8	38.8	50.0	52.2
	どちらかといえば、あてはまらない	73.5	62.7	47.1	60.5	37.1	51.4	46.4
	あてはまらない	73.2	57.6	42.3	61.4	34.9	45.3	21.6
日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	あてはまる	78.4	68.5	51.1	64.7	41.4	51.8	66.3
	どちらかといえば、あてはまる	75.3	64.5	49.0	61.0	37.5	50.1	51.9
	どちらかといえば、あてはまらない	70.2	60.5	45.8	55.0	31.6	47.6	42.6
	あてはまらない	71.1	57.3	43.6	57.3	32.5	45.5	19.9
日頃、子供と将来や進路についての話をする	あてはまる	78.2	68.1	50.8	64.0	40.8	51.6	62.6
	どちらかといえば、あてはまる	74.5	63.8	48.9	60.3	36.7	49.9	52.4
	どちらかといえば、あてはまらない	75.0	64.8	46.8	60.7	37.5	49.7	51.8
	あてはまらない	67.5	59.1	46.2	54.8	27.6	43.8	32.1
日頃、子供と友達のことについて話をする	あてはまる	76.8	66.4	50.9	61.7	38.7	51.0	60.8
	どちらかといえば、あてはまる	75.7	65.5	48.9	62.2	38.5	50.2	54.4
	どちらかといえば、あてはまらない	74.6	64.5	47.5	61.3	38.0	50.4	50.8
	あてはまらない	73.5	61.4	46.2	62.4	36.1	49.6	41.1
日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	あてはまる	77.9	68.7	51.4	62.9	40.4	50.9	62.6
	どちらかといえば、あてはまる	76.8	66.5	50.2	62.4	38.8	50.6	56.6
	どちらかといえば、あてはまらない	73.6	62.4	47.4	60.5	36.8	50.4	52.0
	あてはまらない	72.5	62.2	44.8	59.1	35.6	49.1	56.1
日頃、子供の心配事や悩み事の相談によく乗っている	あてはまる	76.2	66.5	52.4	60.8	37.2	52.0	63.6
	どちらかといえば、あてはまる	76.3	65.6	49.6	62.0	38.8	49.8	55.9
	どちらかといえば、あてはまらない	75.4	65.4	47.0	62.8	39.0	50.9	52.6
	あてはまらない	74.9	64.7	47.4	60.3	39.6	49.2	45.2

### (3) 子供の様子・行動による影響

児童生徒の普段の様子・行動と学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

#### 1) 小学生

##### a. 国語・A問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

##### b. 国語・B問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

##### c. 国語・学習意欲

###### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

##### d. 算数・A問題

###### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている



表 2-141 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（子供の様子・行動別、小学生）

質問項目		説明変数（要因）	小学生						学習習慣
			国語			算数			
			A	B	意欲	A	B	意欲	
保護者から見た子供の様子・行動	土曜日午前の過ごし方	土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	63.9	50.5	59.0	79.7	58.5	58.9	87.0
		土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	62.6	47.4	51.1	77.5	57.5	51.3	52.6
		土曜日午前、家で勉強や読書をしている	65.0	50.9	52.0	78.0	59.1	50.7	61.0
		土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	61.7	47.8	49.5	76.7	55.9	49.7	50.8
		土曜日午前、家族と過ごしている	62.3	47.8	51.1	76.0	55.9	49.5	53.2
		土曜日午前、友達と遊んでいる	59.2	43.9	49.7	75.9	53.3	49.5	47.9
	土曜日午後の過ごし方	土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	67.5	46.9	55.1	77.1	58.6	49.4	88.5
		土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	64.4	49.5	51.3	78.8	58.9	51.2	54.3
		土曜日午後、家で勉強や読書をしている	67.6	54.7	52.5	79.6	61.4	49.0	56.9
		土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	61.8	47.3	49.7	76.5	55.6	49.9	48.1
		土曜日午後、家族と過ごしている	61.5	46.7	51.0	75.7	55.2	49.4	52.8
		土曜日午後、友達と遊んでいる	60.1	45.3	49.9	75.3	54.0	49.8	51.8

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

e. 数学・B問題

【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

f. 数学・学習意欲

【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 土曜日午前、学校の部活動に参加している
- 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午前、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午前、家族と過ごしている
- 土曜日午後、学校の部活動に参加している
- 土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している
- 土曜日午後、家で勉強や読書をしている
- 土曜日午後、家族と過ごしている

表 2-142 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（子供の様子・行動別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
		国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
質問項目	選択肢								
保護者から見た子供の様子・行動	土曜日午前の過ごし方	土曜日午前、学校の部活動に参加している	76.5	66.5	49.4	62.9	39.4	50.6	58.4
		土曜日午前、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	75.8	68.0	50.2	64.0	38.3	50.8	52.9
		土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	77.7	67.7	49.6	65.9	42.7	53.1	61.3
		土曜日午前、家で勉強や読書をしている	80.6	73.3	52.7	67.2	44.8	51.9	71.3
		土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	75.1	63.4	48.9	60.4	37.1	50.4	50.9
		土曜日午前、家族と過ごしている	75.7	63.9	50.8	60.0	36.3	50.7	57.1
		土曜日午前、友達と遊んでいる	71.7	58.2	48.2	55.7	32.6	50.1	44.3
	土曜日午後の過ごし方	土曜日午後、学校の部活動に参加している	76.0	65.1	48.5	62.4	38.9	50.9	57.3
		土曜日午後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	75.3	67.0	50.0	64.8	40.0	53.6	64.8
		土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	79.7	70.6	51.7	67.1	43.7	52.2	59.8
		土曜日午後、家で勉強や読書をしている	81.2	72.7	52.8	67.3	44.7	51.7	71.0
		土曜日午後、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	76.5	66.2	49.1	62.2	38.6	50.2	53.9
		土曜日午後、家族と過ごしている	76.3	65.7	50.4	61.3	37.6	50.4	59.4
		土曜日午後、友達と遊んでいる	74.0	62.2	48.4	59.0	35.6	50.3	49.7

#### (4) 保護者の教育に対する考え方による影響

保護者の教育に対する考え方と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

##### 1) 小学生

###### a. 国語・A問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供が自立できるようにすることが大事

###### b. 国語・B問題

###### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 子供が自立できるようにすることが大事

###### c. 国語・学習意欲

###### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

###### d. 算数・A問題

###### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

###### e. 算数・B問題

###### 【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)

###### f. 算数・学習意欲

###### 【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

## g. 学習習慣

### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事

表 2-143 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の教育に対する考え方別、小学生）

質問項目		説明変数（要因）	小学生						
			国語			算数			学習習慣
			A	B	意欲	A	B	意欲	
保護者の教育に対する考え方	子供に進んでほしい学校段階の理由	子どもがそう希望しているから	59.7	47.5	55.2	82.9	69.2	61.0	.
		一般的な進路だと思うから	54.0	38.9	47.1	70.5	45.7	47.9	39.3
		子どもの学力を考えて	57.8	42.2	50.5	72.8	51.1	48.1	48.9
		保護者としての希望	65.2	50.4	51.0	77.8	59.9	49.5	57.1
		家庭に経済的な余裕がないから	68.4	54.3	52.3	82.2	63.7	51.8	56.8
	学校生活を楽しめれば、良い成績をとることはこだわらない	あてはまる	61.0	46.1	49.1	75.0	53.2	46.8	47.7
		どちらかといえば、あてはまる	60.6	46.8	50.5	76.4	55.8	50.4	48.9
		どちらかといえば、あてはまらない	63.6	47.4	50.5	77.3	57.1	50.1	53.1
		あてはまらない	65.6	49.7	52.1	78.0	59.8	51.0	63.4
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	あてはまる	53.2	40.0	49.4	67.8	46.0	48.7	56.8
		どちらかといえば、あてはまる	61.7	46.1	51.2	75.9	54.7	50.7	54.6
		どちらかといえば、あてはまらない	62.5	47.5	50.3	77.2	57.7	48.9	48.1
		あてはまらない	65.0	51.2	49.6	80.5	59.7	50.7	48.1
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	あてはまる	64.3	49.2	53.7	77.5	57.5	52.9	68.2
		どちらかといえば、あてはまる	63.4	48.5	51.5	77.2	57.9	50.5	53.1
		どちらかといえば、あてはまらない	60.7	46.3	49.1	76.2	55.4	48.5	47.1
		あてはまらない	61.2	45.7	48.7	76.7	54.3	49.3	45.8
	子供が自立できるようにすることが大事	重視している	62.9	48.6	51.6	77.2	56.9	50.2	52.9
		どちらかといえば、重視している	60.8	45.2	48.7	75.8	55.2	49.3	47.3
		どちらかといえば、重視していない	60.1	43.9	49.6	76.4	56.6	51.3	59.2
		重視していない	33.3	20.0	.	21.1	15.4	.	.
	自分の意見をはっきり言えるようになることが大事	重視している	62.4	47.9	51.0	77.0	56.5	50.0	52.4
		どちらかといえば、重視している	61.0	45.3	49.7	76.0	55.5	50.2	49.0
		どちらかといえば、重視していない	62.7	52.8	49.7	73.7	60.3	44.4	35.4
		重視していない	57.4	56.7	19.8	66.7	43.6	32.6	.
	将来の夢や目標に向かって努力することが大事	重視している	62.9	48.3	51.2	77.3	57.3	50.3	54.8
		どちらかといえば、重視している	60.7	46.0	49.7	75.9	54.4	49.4	43.6
		どちらかといえば、重視していない	57.9	41.2	48.0	73.3	54.1	48.8	54.5
重視していない		65.3	60.0	28.7	72.4	63.5	39.6	44.8	

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供が自立できるようにすることが大事
- 人の気持ちが分かる人間になることが大事
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

### e. 数学・B問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事

### f. 数学・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 自分の意見をはっきり言えるようになることが大事
- 将来の夢や目標に向かって努力することが大事



## g. 学習習慣

### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供に進んでほしい学校段階(高くなるほど)
- 子供に進んでほしい学校段階の理由(子供が希望しているから)
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 子供が自立できるようにすることが大事

表 2-144 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の教育に対する考え方別、小学生）

説明変数（要因）		中学生							
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の教育に対する考え方	子供に進んでほしい学校段階	中学校まで	48.4	55.6	31.8	55.6	28.1	50.8	.
		高校まで	67.9	55.0	48.7	51.0	27.4	48.4	47.9
		専門学校・各種学校まで	73.9	63.2	49.1	57.7	33.6	48.2	50.6
		短期大学・高等専門学校まで	79.3	70.0	50.0	64.1	40.3	50.3	62.4
		大学まで	83.0	74.7	50.1	72.8	50.2	53.9	65.8
		大学院まで	81.1	67.3	55.4	72.2	46.5	59.9	91.4
	子供に進んでほしい学校段階の理由	子どもがそう希望しているから	79.7	71.2	50.7	66.0	43.3	51.5	64.1
		一般的な進路だと思うから	73.5	63.1	49.7	60.0	35.6	51.1	57.8
		子どもの学力を考えて	72.8	62.7	48.0	59.7	36.4	50.3	53.1
		保護者としての希望	74.6	63.1	48.6	60.1	36.6	49.8	54.9
		家庭に経済的な余裕がないから	74.7	63.1	50.4	59.2	35.8	50.2	44.9
	学校生活を楽しめれば、良い成績をとることはこだわらない	あてはまる	72.9	61.7	51.2	57.7	34.6	49.7	53.2
		どちらかといえば、あてはまる	74.5	63.2	48.6	60.0	36.9	49.9	51.7
		どちらかといえば、あてはまらない	77.4	68.1	49.6	63.5	39.9	50.6	60.5
		あてはまらない	81.9	72.3	51.7	69.0	45.6	53.8	69.5
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	あてはまる	70.3	57.5	48.0	56.1	31.8	50.9	54.1
		どちらかといえば、あてはまる	74.0	63.0	49.1	59.9	36.2	50.2	58.7
		どちらかといえば、あてはまらない	77.6	67.6	49.6	62.8	39.6	50.3	55.8
		あてはまらない	79.7	71.0	50.6	66.6	44.2	51.3	55.5
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	あてはまる	78.6	68.6	51.4	65.9	43.0	52.7	64.6
		どちらかといえば、あてはまる	78.5	68.8	48.5	66.3	43.3	52.0	60.1
		どちらかといえば、あてはまらない	74.1	63.1	49.5	58.5	34.5	49.1	53.1
		あてはまらない	73.3	63.0	50.5	57.2	34.5	49.0	51.2
	子供が自立できるようにすることが大事	重視している	76.7	66.4	50.1	62.7	39.4	51.0	57.8
		どちらかといえば、重視している	75.3	64.9	48.8	60.9	37.3	49.8	55.1
		どちらかといえば、重視していない	73.3	62.1	46.7	58.3	35.3	50.2	53.2
		重視していない	76.6	70.4	45.8	63.4	37.5	47.7	.
	人の気持ちが分かる人間になることが大事	重視している	76.4	66.1	50.1	62.1	38.6	50.7	57.2
どちらかといえば、重視している		75.5	65.1	48.0	61.9	38.8	50.2	54.5	
どちらかといえば、重視していない		72.2	61.1	47.8	58.3	34.4	51.5	66.8	
重視していない		65.6	44.4	1.9	30.6	18.8	9.6	.	
自分の意見をはっきり言えるようになることが大事	重視している	76.0	65.6	49.9	61.6	38.3	50.8	57.1	
	どちらかといえば、重視している	76.2	65.8	49.0	62.5	38.9	50.5	55.9	
	どちらかといえば、重視していない	77.7	67.8	47.3	61.9	40.1	47.9	58.3	
	重視していない	64.1	50.0	20.1	41.7	28.1	25.6	.	
将来の夢や目標に向かって努力することが大事	重視している	76.8	66.9	50.1	63.1	39.5	51.1	58.8	
	どちらかといえば、重視している	75.2	64.3	48.8	60.5	37.3	49.8	52.8	
	どちらかといえば、重視していない	72.0	57.8	46.3	57.0	36.0	47.6	54.6	
	重視していない	72.9	66.7	33.2	48.1	25.0	44.6	.	
子供1人の教育にかかる支出が家計に与える負担感	とても負担に感じる	70.2	58.1	49.5	55.4	31.3	51.6	51.5	
	やや負担に感じる	75.1	64.1	49.5	60.8	37.8	50.5	59.7	
	あまり負担に感じない	77.8	67.4	49.2	63.1	39.8	50.2	57.8	
	まったく負担に感じない	77.5	68.6	49.9	64.5	40.9	50.6	51.4	

## (5) 保護者の学校に対する意識・行動による影響

保護者の学校に対する意識・行動と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる

#### b. 国語・B問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる

#### c. 国語・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### d. 算数・A問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい

#### e. 算数・B問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### f. 算数・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている

#### g. 学習習慣

##### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる

表 2-145 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の学校に対する意識・行動別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の学校に対する意識・行動	学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている	知っている	62.5	47.6	50.7	77.5	56.9	50.2	51.7
		知らない	60.4	46.2	49.5	74.1	54.4	48.8	48.7
	学校に期待すること	教科の学力をのばす	63.1	48.3	76.6	56.6	51.8	49.8	57.4
		学習意欲を高める	61.3	47.0	76.7	56.0	51.1	50.1	51.7
		他人とのコミュニケーション能力を高める	62.4	48.4	77.1	56.9	50.6	49.8	51.2
		規範意識や他人を思いやる心を育む	63.1	48.2	77.4	56.8	51.0	50.5	51.0
		将来の進路や職業を考えさせる	63.7	48.7	77.6	56.5	52.7	52.1	48.2
		体力やスポーツの能力を向上させる	63.1	47.6	77.4	56.7	51.5	49.9	50.1
		健康や食について教える	63.6	49.7	77.9	57.7	51.7	50.3	50.0
		コンピュータを活用する能力を育てる	62.5	47.0	76.1	55.3	52.0	51.5	63.5
	学校は、全体的に期待に応えてくれている	そう思う	62.1	47.2	53.2	75.4	55.4	50.8	60.6
		どちらかといえば、そう思う	61.9	47.4	49.8	77.0	56.5	49.7	50.0
		どちらかといえば、そう思わない	63.3	47.8	50.3	77.6	57.1	49.2	51.7
		そう思わない	64.9	53.8	48.1	78.0	59.4	50.4	49.0
	学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている	あてはまる	63.2	50.0	51.8	78.0	57.3	50.2	54.6
		どちらかといえば、あてはまる	61.3	45.2	49.3	76.1	55.6	49.8	49.1
		どちらかといえば、あてはまらない	59.0	44.4	51.0	72.6	53.4	48.9	43.0
		あてはまらない	55.2	38.0	39.4	69.8	52.3	48.7	67.4
	学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる	あてはまる	64.6	50.2	52.5	79.6	59.0	51.0	59.7
		どちらかといえば、あてはまる	59.9	45.4	50.1	75.2	54.6	49.7	50.2
		どちらかといえば、あてはまらない	62.4	47.1	49.6	76.3	56.0	49.6	47.1
		あてはまらない	66.3	51.9	49.5	77.7	59.8	49.9	45.9
	学校は、家での学習の仕方を教えてくれる	あてはまる	62.2	48.7	53.7	77.1	57.9	52.1	62.5
		どちらかといえば、あてはまる	62.0	47.1	50.9	77.1	55.9	50.2	53.3
		どちらかといえば、あてはまらない	61.8	47.3	49.1	76.1	56.0	49.0	47.4
		あてはまらない	60.5	43.2	47.2	74.9	55.8	50.2	39.0
	学校は、保護者や地域の要望に適切に対応してくれる	あてはまる	62.8	48.9	52.9	77.7	56.6	51.3	56.7
		どちらかといえば、あてはまる	61.6	47.0	50.6	76.6	56.2	49.6	51.4
		どちらかといえば、あてはまらない	61.9	46.5	47.2	75.6	55.7	48.7	50.7
		あてはまらない	63.4	45.9	50.7	77.0	57.0	55.0	26.1
	学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい	あてはまる	62.9	49.1	52.5	77.7	56.6	50.9	55.6
		どちらかといえば、あてはまる	61.6	47.2	50.3	76.6	56.7	49.8	53.0
		どちらかといえば、あてはまらない	61.0	45.0	48.8	75.7	54.1	47.8	43.4
		あてはまらない	63.0	45.8	47.8	75.6	56.6	54.1	45.1
	保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる	よくする	63.8	48.7	51.5	78.0	57.2	51.4	57.3
		時々する	60.8	47.1	50.3	76.0	56.4	50.3	48.3
		あまりしない	62.3	45.9	50.0	77.0	55.8	48.0	52.4
		まったくしない	60.7	47.9	48.5	74.0	53.2	49.1	36.1

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応じてくれている
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる
- 学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### d. 数学・A 問題

##### 【分析結果のポイント】

数学・A の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる
- 学校は、家で学習の仕方を教えてくれる
- 学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### e. 数学・B 問題

##### 【分析結果のポイント】

数学・B の正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- 健康や食について教えることを学校に期待する
- 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている
- 学校は、家で学習の仕方を教えてくれる
- 学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

#### f. 数学・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 学習意欲を高めることを学校に期待する
- 将来の進路や職業を考えさせることを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応えてくれている
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる

## g. 学習習慣

### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている
- 教科の学力をのばすことを学校に期待する
- 他人とのコミュニケーション能力を高めることを学校に期待する
- 規範意識や他人を思いやる心を育むことを学校に期待する
- 体力やスポーツの能力を向上させることを学校に期待する
- コンピュータを活用する能力を育てることを学校に期待する
- 学校は、全体的に期待に応じてくれている
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる



表 2-146 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の学校に対する意識・行動別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の学校に対する意識・行動	学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている	知っている	77.0	67.0	50.0	63.0	39.7	51.0	59.6
		知らない	74.4	63.5	48.7	59.7	36.2	49.7	50.7
	学校の教育目標やその達成に向けた方策に共感している	共感できている	77.0	67.2	50.1	64.1	39.6	52.3	56.9
		どちらかといえば、共感できている	77.1	67.2	50.1	62.7	39.8	50.6	61.1
		どちらかといえば、共感できない	74.9	64.6	50.7	61.4	39.4	49.1	56.6
	学校に期待すること	共感できない	78.4	67.2	48.0	63.1	39.1	48.2	93.2
		教科の学力をのばす	77.2	67.4	63.5	40.2	49.9	51.5	60.3
		学習意欲を高める	76.7	66.7	62.5	39.0	49.7	50.9	56.5
		他人とのコミュニケーション能力を高める	77.1	66.9	63.1	39.8	49.9	50.7	57.9
		規範意識や他人を思いやる心を育む	77.2	67.2	63.1	39.7	49.8	50.6	58.0
		将来の進路や職業を考えさせる	76.8	66.8	62.9	39.5	50.1	51.3	57.3
		体力やスポーツの能力を向上させる	76.0	65.8	62.5	39.2	48.9	50.7	58.0
		健康や食について教える	78.2	68.5	64.0	39.8	50.4	50.6	57.5
	学校は、全体的に期待に応えてくれている	コンピュータを活用する能力を育てる	76.7	66.1	62.2	39.3	50.4	51.4	57.9
		そう思う	75.3	65.2	50.7	62.2	39.0	51.8	57.8
		どちらかといえば、そう思う	76.9	66.6	49.5	63.0	39.8	50.6	57.4
		どちらかといえば、そう思わない	75.5	64.9	49.3	60.4	36.1	50.2	56.9
	学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている	そう思わない	73.1	61.1	49.3	56.4	33.8	47.1	50.3
		あてはまる	77.1	67.6	49.9	63.6	40.3	49.9	58.1
		どちらかといえば、あてはまる	76.1	65.4	49.6	62.0	38.3	49.6	56.5
		どちらかといえば、あてはまらない	74.7	64.3	49.0	59.5	36.9	49.0	57.6
	学校は、学力調査結果等を使って学力の状況について説明してくれる	あてはまらない	72.9	60.9	46.4	56.2	33.5	46.4	39.0
		あてはまる	76.9	67.3	49.4	62.3	39.4	49.4	56.4
		どちらかといえば、あてはまる	76.0	65.5	49.7	62.0	38.2	49.7	55.9
		どちらかといえば、あてはまらない	75.9	65.5	49.2	61.6	38.1	49.2	57.7
	学校は、家での学習の仕方を教えてくれる	あてはまらない	73.9	62.2	48.9	60.5	39.6	48.9	55.0
		あてはまる	76.3	66.1	51.1	62.9	39.7	51.5	57.2
		どちらかといえば、あてはまる	76.7	66.0	50.0	62.4	38.8	50.3	57.8
		どちらかといえば、あてはまらない	76.0	66.1	49.0	62.1	38.7	51.0	56.9
	学校の先生に相談したり、要望を伝えたりしやすい	あてはまらない	72.1	61.0	47.7	57.5	35.0	49.0	47.9
		あてはまる	76.2	66.2	49.9	62.8	39.8	50.7	53.5
		どちらかといえば、あてはまる	76.6	66.3	49.8	62.8	39.3	50.6	58.0
		どちらかといえば、あてはまらない	75.3	65.1	49.2	60.7	37.1	50.7	57.2
	保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している	あてはまらない	75.0	63.5	48.3	59.3	36.4	49.0	52.1
		よくする	77.7	67.8	50.0	64.4	41.1	51.3	61.9
		時々する	74.0	63.4	49.0	59.1	35.3	49.5	51.9
		あまりしない	73.3	60.8	49.2	55.9	32.9	49.3	42.8
	保護者自身がボランティアでの学校支援に取り組んでいる	まったくしない	67.9	55.3	42.0	50.5	29.9	45.3	38.7
		よくする	79.2	69.9	50.5	66.1	42.8	52.0	61.2
		時々する	77.1	66.9	49.5	64.1	40.4	51.3	58.5
あまりしない		74.4	63.7	49.5	59.3	36.0	49.7	54.5	
		まったくしない	73.7	62.2	48.0	56.7	34.1	48.4	49.1

(6) 保護者の地域との関わりによる影響

保護者の地域との関わりと児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

1) 小学生

a. 国語・A問題

【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

b. 国語・B問題

【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、特に見られなかった。

c. 国語・学習意欲

【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

d. 算数・A問題

【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、特に見られなかった。

表 2-147 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の地域との関わり別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
		国語			算数			学習習慣	
質問項目	選択肢	A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	よく参加している	63.1	49.5	51.4	77.9	57.0	50.5	52.1
		時々参加している	61.7	46.2	50.1	75.9	56.3	49.9	50.2
		あまり参加してしない	61.7	47.6	49.9	76.3	55.4	49.1	52.7
		まったく参加してしない	56.5	39.4	46.8	74.4	50.7	46.1	46.7
	地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い	そう思う	62.2	47.2	51.5	78.1	56.2	49.6	51.7
		どちらかといえば、そう思う	61.8	47.6	49.5	76.7	57.1	50.2	49.9
		どちらかといえば、そう思わない	61.8	45.6	50.9	75.1	53.5	49.0	52.5
		そう思わない	62.4	48.3	52.6	73.9	56.6	51.2	52.4

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

### e. 数学・B問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

### f. 数学・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 子供と地域の行事へ参加している
- 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、特に見られなかった。

表 2-148 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者の地域との関わり別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
		国語			数学			学習習慣	
質問項目	選択肢	A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	よく参加している	77.8	68.7	50.2	64.6	41.3	50.2	56.3
		時々参加している	76.6	65.7	50.0	62.8	39.4	50.0	60.2
		あまり参加してしない	75.3	65.2	49.2	60.7	37.3	49.2	54.7
		まったく参加してしない	71.7	60.3	47.0	55.5	31.8	47.0	45.7
	子育てや教育についての悩みを相談できる友人・知人がいる	たくさんいる	76.3	65.6	49.9	62.5	38.4	49.9	53.1
		ある程度いる	76.3	66.0	49.1	62.6	39.0	49.1	57.6
		あまりいない	75.4	64.9	50.6	59.9	36.9	50.6	56.5
		まったくいない	71.2	58.1	49.9	51.8	32.2	49.9	47.6
	地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多い	そう思う	76.9	67.5	49.7	64.2	41.1	51.9	57.6
		どちらかといえば、そう思う	76.4	66.5	49.1	61.9	38.6	50.5	56.2
		どちらかといえば、そう思わない	75.2	64.3	49.7	61.2	37.6	50.1	58.2
		そう思わない	72.8	58.6	50.6	55.6	32.4	48.8	47.7

## (7) 保護者自身の行動による影響

保護者自身の行動と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる
- 本を読む
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

#### b. 国語・B問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

#### c. 国語・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る

#### d. 算数・A問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある

e. 算数・B問題

**【分析結果のポイント】**

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる
- 本を読む
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

f. 算数・学習意欲

**【分析結果のポイント】**

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる

g. 学習習慣

**【分析結果のポイント】**

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む



表 2-149 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者自身の行動別、小学生）

質問項目		説明変数（要因）	小学生						学習習慣	
			国語			算数				
			A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者自身の行動	普段、仕事や家庭に関すること以外で取り組んでいること	PTA 活動などの学校に関わる活動	62.8	48.0	77.5	57.4	51.2	50.5	52.5	
		自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる	63.5	48.7	77.6	56.8	50.8	50.0	56.5	
		PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる	63.8	51.4	78.9	60.3	51.4	52.3	49.3	
		スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる	62.0	47.7	77.1	56.9	51.1	50.0	55.1	
		資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる	64.5	50.9	77.5	58.0	50.6	52.9	52.3	
	規則正しい生活を心がけている	心がけている	62.8	48.2	50.8	77.6	57.7	51.3	54.2	
		どちらかといえば、心がけている	61.4	46.9	50.6	76.2	55.8	49.3	49.8	
		どちらかといえば、心がけていない	58.7	42.4	48.1	74.4	50.3	47.2	47.3	
		心がけていない	76.3	57.8	47.8	84.7	66.9	52.8	47.2	
	地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある	関心がある	63.0	47.8	52.0	77.2	57.2	50.7	52.7	
		どちらかといえば、関心がある	61.7	47.6	49.9	76.9	56.4	49.8	50.1	
		どちらかといえば、関心がない	57.2	40.9	47.5	73.5	49.4	47.3	47.9	
	本を読む	関心がない	69.6	50.7	44.7	72.6	60.0	48.7	44.3	
		よくする	64.8	51.3	50.8	76.4	57.7	52.8	59.6	
		時々する	61.8	46.4	51.3	76.7	56.5	49.7	53.9	
		あまりしない	61.6	46.9	50.4	76.6	55.7	48.9	50.1	
	テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る	まったくしない	60.7	45.3	48.2	77.6	55.5	50.3	37.5	
		よくする	63.8	50.3	51.3	77.6	57.9	51.3	53.9	
		時々する	61.5	45.5	50.7	75.8	55.2	48.9	47.4	
		あまりしない	58.9	44.8	49.0	77.0	55.4	50.4	55.2	
	新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む	まったくしない	60.7	41.3	43.3	76.9	53.1	45.1	49.4	
		よくする	63.8	49.1	51.1	77.4	58.3	51.3	58.1	
		時々する	62.0	47.5	51.3	76.7	56.1	49.5	52.3	
		あまりしない	61.8	46.6	49.9	77.1	55.6	50.1	51.4	
			まったくしない	58.1	43.0	47.0	74.3	53.7	48.2	31.7

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 本を読む
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 規則正しい生活を心がけている
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

e. 数学・B問題

【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- 本を読む
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

f. 数学・学習意欲

【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- 本を読む

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- PTA活動などの学校に関わる活動に取り組んでいる
- 自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる
- PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる
- スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる
- 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
- テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る
- 新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

表 2-150 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（保護者自身の行動別、中学生）

質問項目		説明変数（要因）	中学生						学習習慣	
			国語			数学				
			A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者自身の行動	普段、仕事や家庭に関すること以外で取り組んでいること	PTA 活動などの学校に関わる活動	77.3	67.4	63.9	40.8	49.5	51.0	58.6	
		自治会・子供会・青少年健全育成などの地域活動に取り組んでいる	78.1	68.9	65.4	41.6	49.8	51.8	60.5	
		PTA、自治会等以外のボランティア活動に取り組んでいる	79.1	69.7	65.1	43.8	52.3	51.8	64.9	
		スポーツや趣味を楽しむ活動に取り組んでいる	77.0	66.6	63.7	40.6	49.6	51.1	59.1	
		資格や免許を取得するための学習に取り組んでいる	76.0	66.7	61.2	38.4	48.9	50.8	58.4	
	規則正しい生活を心がけている	心がけている	76.4	65.9	49.2	63.2	40.0	51.0	60.3	
		どちらかといえば、心がけている	76.2	66.1	49.7	61.6	38.1	50.4	54.4	
		どちらかといえば、心がけていない	74.2	62.3	48.5	59.0	35.4	49.9	58.1	
		心がけていない	72.3	63.2	50.5	58.8	35.6	49.8	42.0	
	地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある	関心がある	77.2	67.5	50.2	63.3	40.0	51.0	58.9	
		どちらかといえば、関心がある	75.8	65.2	49.2	61.8	38.3	50.4	56.3	
		どちらかといえば、関心がない	73.1	62.2	48.2	57.5	34.5	49.4	51.8	
	本を読む	関心がない	73.0	54.0	53.9	53.1	26.1	49.9	19.6	
		よくする	80.0	71.8	51.4	66.3	44.4	51.2	67.7	
		時々する	77.3	67.2	49.8	63.1	39.9	51.2	56.3	
		あまりしない	74.9	64.0	49.1	60.8	36.6	50.4	56.6	
	テレビやインターネットで政治経済や社会問題に関するニュースを見る	まったくしない	72.4	60.4	47.8	57.8	34.3	48.8	48.0	
		よくする	77.9	67.8	49.9	63.6	40.6	50.1	57.0	
		時々する	75.8	65.4	49.8	61.9	38.1	50.9	56.9	
		あまりしない	73.2	62.0	47.8	59.1	35.6	50.2	55.2	
	新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む	まったくしない	71.9	61.1	48.2	55.3	32.5	52.0	53.9	
		よくする	78.1	68.3	50.3	63.5	40.7	50.7	60.4	
		時々する	76.4	66.4	49.8	63.4	39.3	51.3	57.9	
		あまりしない	74.5	63.0	48.8	59.8	36.7	49.6	53.6	
			まったくしない	73.9	63.5	48.1	58.1	35.3	49.5	51.3

## (8) 家庭環境による影響

家庭環境と児童生徒の学力等との関係性について、分散分析により有意差が見られたのは以下のとおり。

### 1) 小学生

#### a. 国語・A問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 世帯年収(高くなるほど)
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

#### b. 国語・B問題

##### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

#### c. 国語・学習意欲

##### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の職業が非常勤職員

#### d. 算数・A問題

##### 【分析結果のポイント】

算数・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

算数・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

f. 算数・学習意欲

【分析結果のポイント】

算数・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の職業が非常勤職員

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、特に見られなかった。

表 2-151 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（家庭環境別、小学生）

説明変数（要因）		小学生							
質問項目	選択肢	国語			算数			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
家庭環境	父親の年齢	24歳以下	72.2	60.0	55.6	63.2	53.8	47.0	95.4
		25～29歳	48.6	52.5	58.7	63.2	50.0	33.9	54.4
		30～34歳	55.3	42.8	50.2	71.6	47.2	47.3	59.2
		35～39歳	59.8	45.5	50.3	74.9	53.4	49.0	60.2
		40～44歳	65.0	49.8	51.1	78.8	60.3	50.2	52.7
		45～49歳	64.0	48.4	51.6	79.7	59.4	52.4	50.7
		50～59歳	63.3	48.9	52.1	77.0	57.7	50.2	50.7
		60歳以上	55.3	44.6	47.8	74.6	55.8	51.0	70.2
	母親の年齢	24歳以下							
		25～29歳	65.3	42.5	54.8	67.1	53.8	46.8	.
		30～34歳	56.8	43.1	51.4	73.1	49.9	50.5	52.7
		35～39歳	60.4	46.2	49.8	75.3	55.2	49.7	49.4
		40～44歳	63.9	48.2	51.4	78.6	58.8	50.2	51.3
		45～49歳	65.9	51.6	51.3	79.1	59.2	51.8	52.0
		50～59歳	61.0	46.4	50.8	77.6	57.4	49.5	50.4
		60歳以上	57.6	51.8	53.7	78.0	48.3	47.3	38.8
	父親の職業	常勤職員	62.9	48.8	50.7	77.6	57.8	50.2	56.0
		非常勤職員	56.3	40.0	51.5	70.3	51.0	50.7	68.4
		自営業・家業手伝い	62.3	47.3	51.4	77.3	56.6	49.8	48.1
		パート・アルバイト	57.2	40.8	52.3	64.9	50.0	52.5	80.9
		無職	60.5	35.6	39.3	76.6	57.3	48.4	19.3
	母親の職業	常勤職員	63.6	49.0	50.9	78.1	57.2	50.6	49.6
		非常勤職員	64.3	48.8	52.3	79.1	60.3	52.2	45.1
		自営業・家業手伝い	63.5	49.5	51.8	77.9	57.5	49.1	54.0
		パート・アルバイト	59.2	44.1	49.4	75.2	54.6	49.5	48.5
		無職	65.8	51.4	52.5	79.2	60.3	52.4	62.3
	世帯年収	200万円未満	57.5	42.0	47.6	69.3	47.5	45.3	41.9
		200万円以上 300万円未満	58.6	43.9	49.4	73.7	51.6	49.9	50.9
		300万円以上 400万円未満	61.9	49.0	49.8	76.6	57.0	50.5	43.1
		400万円以上 500万円未満	63.4	46.9	52.1	78.9	58.0	50.7	57.9
		500万円以上 600万円未満	62.7	48.4	53.1	78.4	59.8	52.2	60.5
		600万円以上 700万円未満	62.6	49.2	50.9	78.4	60.3	51.5	61.1
		700万円以上 800万円未満	64.3	49.7	52.6	79.9	58.8	52.2	61.4
		800万円以上 900万円未満	65.8	53.3	54.4	79.9	59.8	49.7	72.6
		900万円以上 1000万円未満	68.5	52.4	52.6	82.5	63.9	48.2	43.1
		1000万円以上 1200万円未満	70.4	58.1	51.8	86.3	69.4	52.6	47.3
1200万円以上 1500万円未満		72.7	56.7	52.8	80.3	61.5	62.6	.	
1500万円以上	65.1	49.5	51.4	74.2	57.1	47.5	49.4		
父親の学歴	小学校・中学校	56.1	40.2	49.0	70.7	48.1	48.8	39.9	
	高等学校	60.3	44.6	50.1	75.4	53.7	49.8	55.0	
	専門学校・各種学校	62.2	48.5	51.8	78.5	59.6	50.4	55.0	
	短期大学・高等専門学校	71.1	58.5	54.2	83.2	65.4	49.3	46.0	
	大学	69.6	56.7	52.2	82.9	66.7	50.8	54.4	
	大学院	59.0	50.0	48.3	66.4	52.9	50.4	89.9	
母親の学歴	小学校・中学校	56.4	39.5	51.7	67.0	44.0	48.6	64.4	
	高等学校	59.6	43.8	50.4	75.5	53.9	50.4	50.3	
	専門学校・各種学校	62.6	48.3	51.5	77.3	58.0	50.2	50.9	
	短期大学・高等専門学校	66.5	54.1	51.7	80.6	61.5	51.0	46.6	
	大学	75.6	62.2	51.1	85.7	72.3	49.4	57.2	
	大学院	68.5	56.7	50.4	93.0	56.4	49.9	.	

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

### b. 国語・B問題

#### 【分析結果のポイント】

国語・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

### c. 国語・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

国語・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の職業が非常勤職員

### d. 数学・A問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Aの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 母親の職業が非常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

### e. 数学・B問題

#### 【分析結果のポイント】

数学・Bの正答率を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の職業が常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

### f. 数学・学習意欲

#### 【分析結果のポイント】

数学・学習意欲の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 父親の職業が常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)



## g. 学習習慣

### 【分析結果のポイント】

学習習慣の得点を押し上げる要因は、以下のとおりである。

- 父親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 母親の年齢(高くなるほど・40代後半まで)
- 母親の職業が非常勤職員
- 父親の学歴(高くなるほど)
- 母親の学歴(高くなるほど)

表 2-152 学力・学習意欲・学習習慣の集計結果（家庭環境別、中学生）

説明変数（要因）		中学生							
質問項目	選択肢	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		
家庭環境	父親の年齢	24歳以下	67.2	61.1	72.4	43.1	21.9	46.2	.
		25～29歳	65.6	50.0	43.9	38.9	30.5	40.4	.
		30～34歳	71.3	63.6	54.3	56.6	33.3	46.7	41.4
		35～39歳	73.2	61.3	49.1	57.4	32.6	48.9	52.8
		40～44歳	75.6	64.6	48.1	62.4	39.4	50.8	55.4
		45～49歳	78.2	68.0	49.1	64.6	41.0	50.6	61.0
		50～59歳	77.7	68.5	50.4	64.1	41.0	51.0	57.7
		60歳以上	74.4	60.0	51.5	60.3	35.4	53.1	53.0
	母親の年齢	24歳以下	68.8	55.6	72.4	27.8	25.0	41.5	.
		25～29歳	54.2	40.7	54.0	32.4	10.4	44.6	39.0
		30～34歳	68.5	58.6	52.0	52.4	27.4	47.5	49.5
		35～39歳	74.1	63.1	48.6	58.2	35.3	48.9	51.5
		40～44歳	76.0	65.9	49.1	62.3	39.0	50.9	58.2
		45～49歳	78.4	68.1	49.2	65.0	41.4	50.8	58.8
		50～59歳	76.7	66.3	51.3	62.2	38.9	51.7	54.3
		60歳以上	70.4	57.7	46.1	56.9	30.7	47.4	61.6
	父親の職業	常勤職員	77.2	67.2	49.0	63.6	40.1	50.6	57.9
		非常勤職員	72.6	58.9	48.2	56.3	33.7	49.8	22.7
		自営業・家業手伝い	76.3	65.5	50.1	62.7	39.2	50.5	59.6
		パート・アルバイト	71.5	55.8	47.9	53.1	30.7	49.3	52.7
		無職	71.7	63.2	50.6	59.6	31.6	54.5	49.7
	母親の職業	常勤職員	77.6	67.9	49.3	63.9	40.2	51.7	57.6
		非常勤職員	76.7	67.5	50.5	64.0	40.2	51.1	60.3
		自営業・家業手伝い	76.9	65.9	49.1	63.9	40.1	50.0	60.1
		パート・アルバイト	74.9	64.2	49.1	59.8	36.6	49.6	54.9
		無職	75.2	64.7	50.4	61.2	38.6	50.7	53.4
	父親の学歴	小学校・中学校	72.3	57.9	49.9	54.3	30.7	48.1	49.9
		高等学校	75.6	65.0	49.3	61.4	37.6	50.1	55.4
専門学校・各種学校		76.9	67.1	48.2	64.3	39.0	51.1	60.7	
短期大学・高等専門学校		77.7	65.2	49.0	63.3	39.2	51.4	62.4	
大学		82.7	75.3	50.1	72.2	52.2	53.0	62.7	
大学院		85.2	83.0	51.8	80.2	57.1	55.0	70.8	
母親の学歴	小学校・中学校	67.4	53.3	51.2	50.3	27.3	50.3	49.1	
	高等学校	74.6	63.9	48.6	60.2	36.1	49.9	54.5	
	専門学校・各種学校	77.7	68.0	49.2	63.2	39.6	50.5	58.1	
	短期大学・高等専門学校	80.1	70.5	51.2	67.7	45.3	51.9	62.8	
	大学	86.3	80.4	49.3	75.7	56.0	51.0	62.8	
	大学院	79.4	73.3	53.6	60.0	32.5	55.3	86.4	

2.7.2 重回帰分析結果

(1) 結果要約

重回帰分析（ステップワイズ法）の結果、児童生徒の学力等に特に高い説明力が見られた要因（各従属変数に対して導出された最大 15 変数）は、以下のとおり。

【分析結果のポイント】	
<b>&lt;子供への接し方&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活や時間の使い方に関するルールを設定することで、学力や学習意欲が促進される。</li> <li>小さい頃の絵本の読み聞かせ経験や、子供と読んだ本の感想を話し合う経験が、中学生の国語の学力（B 問題）を高める効果が見られる。</li> <li>日頃からの保護者と子供の接点（学校での出来事、勉強や成績、社会の出来事やニュース等について話をする等）が多いほど、特に中学生の学力・学習意欲・学習習慣を向上させる効果が見られる。</li> </ul>	
<b>&lt;土曜日の過ごし方&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日の過ごし方が、学力・学習意欲・学習習慣に影響を与えている。（習い事やスポーツ、地域の活動に参加しているとプラス、家でテレビやゲームをしたり、友達と遊んでいるとマイナス）</li> </ul>	
<b>&lt;教育に対する考え方&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者による学歴期待が、学校種や教科にかかわらず強い影響力を有している。</li> <li>一方、学校生活を楽しめれば成績にこだわらないと保護者が考えたり、塾や習い事に通わせないことに対して不安を抱いたりしていると、学力や学習習慣を抑制する。</li> <li>学校以外の教育にかける支出は、小学生の国語の学力、中学生の数学の学習意欲と学習習慣を促進する効果が見られる。</li> </ul>	
<b>&lt;学校に対する意識・行動、地域との関わり、保護者自身の行動&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や学級からの教育活動に関する有効な情報提供や家庭学習指導が、小学生の国語の学力・学習意欲を高める効果が見られる。</li> <li>保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加したり、子供と地域の行事へ参加したりすることが、中学生の学力・学習意欲・学習習慣を促進する効果が見られる。</li> </ul>	
<b>&lt;家庭環境&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>母親の年齢、父親・母親の職業が学力と学習習慣に影響を与えている。</li> <li>世帯年収は、学力に影響を与えているが、学習意欲や学習習慣には影響力がない。</li> <li>父親・母親の学歴が、学力と学習意欲に影響を与えている。</li> </ul>	

表 2-153 重回帰分析結果一覧

説明変数（要因）		小学生						中学生								
		国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣	
		A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲		
保護者の子供への接し方	子供が決まった時間に起きる(起こす)ようにしている	○														
	毎日子供に朝食を食わせている				○		○									
	テレビゲーム(PC、携帯型ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している									○						
	子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている								○							
	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした								○							
	日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている									○						
	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする							○	○			○	○			○
保護者から見た子供の様子・行動	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	○								○						
	土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している						○									
	土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている															
	土曜日午前、友達と遊んでいる															
	土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している												○			
保護者の教育に対する考え方	土曜日午後、友達と遊んでいる															
	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい				▼	▼	▼		▼	▼		▼	▼	▼		
	子供が希望しているから高校まで進学してほしい											▼	▼			
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい				▼	▼			▼	▼		▼	▼			
	保護者の希望として高校まで進学してほしい	▼		▼	▼	▼		▼								
	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい		▼		▼	▼		▼								
	子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい				▼	▼										
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい				▼	▼				▼		▼	▼	▼		
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	○	○		○	○			○	○		○	○	○		
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい						○	○	○	○		○	○	○		
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	○	○						○	○		○	○			
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	○	○		○				○			○	○			
学校生活を楽しめれば、良い成績をとることはこだわらない								▼	▼		▼				▼	

説明変数（要因）		小学生						中学生							
		国語			算数			学習習慣	国語			数学			学習習慣
		A	B	意欲	A	B	意欲		A	B	意欲	A	B	意欲	
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	▼	▼		▼	▼			▼	▼		▼	▼		
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい			○					○	○		○	○		
	学校以外の教育にける平均支出（高くなるほど）	○	○											○	○
保護者の学校に対する意識・行動	学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている		○												
	学校は、家での学習の仕方を教えてくれる			○											
	保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している							○	○						○
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している													○	
家庭環境	母親の年齢（高くなるほど）											○			
	父親の職業が非常勤職員														▼
	母親の職業がパート・アルバイト	▼	▼												
	世帯年収（高くなるほど）				○	○			○				○		
	父親が小学校・中学校卒					▼									
	父親が高校卒				▼	▼									
	父親が大学卒	○	○										○	○	
	母親が小学校・中学校卒				▼				▼	▼					
	母親が高等学校卒									▼					
母親が短大・高専卒										○					

※ ○：有意にポジティブな影響 ▼：有意にネガティブな影響

(2) 結果詳細

家庭状況等と児童生徒の学力等との関係性について、重回帰分析（ステップワイズ法）により特に高い説明力が見られた最大 15 変数は、以下のとおり。

1) 小学生

a. 国語・A問題

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p><b>&lt;国語・A問題の正答率を押し上げる要因&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供が決まった時間に起きる（起こす）ようにしている</li> <li>• 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする</li> <li>• 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい</li> <li>• 一般的な進路だから大学まで進学してほしい</li> <li>• 保護者の希望として大学まで進学してほしい</li> <li>• 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）</li> <li>• 父親が大学卒</li> </ul> <p><b>&lt;国語・A問題の正答率を押し下げる要因&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保護者の希望として高校まで進学してほしい</li> <li>• 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である</li> <li>• 母親の職業がパート・アルバイト</li> </ul>
--

表 2-154 重回帰分析結果（小学生・国語・A問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	子供が決まった時間に起きる（起こす）ようにしている	2.582	.071	.007
	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	2.421	.095	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	保護者の希望として高校まで進学してほしい	-7.632	-.060	.024
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	17.750	.114	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	7.339	.086	.001
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	5.300	.097	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-3.733	-.162	.000
	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	1.933	.134	.000
家庭環境	母親の職業がパート・アルバイト	-3.689	-.087	.001
	父親が大学卒	5.178	.092	.001
定数		48.291	—	.000
N=2051      R <sup>2</sup> =.118      補正 R <sup>2</sup> =.111				

b. 国語・B問題

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>&lt;国語・B問題の正答率を押し上げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい</li> <li>● 一般的な進路だから大学まで進学してほしい</li> <li>● 保護者の希望として大学まで進学してほしい</li> <li>● 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）</li> <li>● 学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている</li> <li>● 父親が大学卒</li> </ul> <p>&lt;国語・B問題の正答率を押し下げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> <li>● 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である</li> <li>● 母親の職業がパート・アルバイト</li> </ul>
--

表 2-155 重回帰分析結果（小学生・国語・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の教育に対する考え方	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい	-12.953	-.072	.007
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	21.217	.115	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	11.047	.107	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	4.370	.066	.015
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-4.017	-.145	.000
	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	2.076	.120	.000
保護者の学校に対する意識	学校や学級の教育活動に関する情報提供は役に立っている	3.804	.103	.000
家庭環境	母親の職業がパート・アルバイト	-3.831	-.075	.005
	父親が大学卒	7.467	.111	.000
定数		37.155	—	.000
N=2051		R <sup>2</sup> =.106	補正 R <sup>2</sup> =.099	

c. 国語・学習意欲

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>＜国語・学習意欲を押し上げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい</li> <li>• 学校は、家での学習の仕方を教えてくれる</li> </ul> <p>＜国語・学習意欲を押し下げる要因＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている</li> <li>• 保護者の希望として高校まで進学してほしい</li> </ul>
---

表 2-156 重回帰分析結果（小学生・国語・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への接 し方	土曜日午前、家でテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている	-2.395	-.109	.000
保護者の 教育に対す る考え方	保護者の希望として高校まで進学してほしい	-10.172	-.097	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	1.780	.098	.000
保護者の 学校に対す る意識	学校は、家での学習の仕方を教えてくれる	1.965	.090	.001
定数		42.526	—	.000
N=2051      R <sup>2</sup> =.041      補正 R <sup>2</sup> =.038				

d. 算数・A問題

【分析結果のポイント】	
＜算数・A問題の正答率を押し上げる要因＞	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日子供に朝食を食べさせている</li> <li>● 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい</li> <li>● 保護者の希望として大学まで進学してほしい</li> <li>● 世帯年収（高くなるほど）</li> </ul>	
＜算数・A問題の正答率を押し下げる要因＞	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい</li> <li>● 一般的な進路だから高校まで進学してほしい</li> <li>● 保護者の希望として高校まで進学してほしい</li> <li>● 子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> <li>● 子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> <li>● 保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> <li>● 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である</li> <li>● 父親が高校卒</li> <li>● 母親が小学校・中学校卒</li> </ul>	

表 2-157 重回帰分析結果（小学生・算数・A問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	毎日子供に朝食を食べさせている	2.316	.058	.033
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-21.054	-.148	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-8.218	-.101	.000
	保護者の希望として高校まで進学してほしい	-13.337	-.113	.000
	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい	-12.720	-.096	.000
	子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい	-5.207	-.070	.011
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-5.996	-.104	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	11.915	.090	.001
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	2.625	.055	.049
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-3.492	-.172	.000
家庭環境	世帯年収（高くなるほど）	.902	.132	.000
	父親が高校卒	-2.243	-.063	.020
	母親が小学校・中学校卒	-6.462	-.074	.006
定数		74.886	—	.000
N=2051		R <sup>2</sup> =.151	補正 R <sup>2</sup> =.142	



e. 算数・B問題

【分析結果のポイント】

＜算数・B問題の正答率を押し上げる要因＞

- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 世帯年収（高くなるほど）

＜算数・B問題の正答率を押し下げる要因＞

- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 一般的な進路だから高校まで進学してほしい
- 保護者の希望として高校まで進学してほしい
- 子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 父親が小学校・中学校卒
- 父親が高校卒

表 2-158 重回帰分析結果（小学生・算数・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の教育に対する考え方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-28.579	-.151	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-14.768	-.136	.000
	保護者の希望として高校まで進学してほしい	-16.032	-.102	.000
	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい	-21.095	-.120	.000
	子供が希望しているから専門学校・各種学校まで進学してほしい	-7.875	-.080	.003
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-8.814	-.114	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	14.028	.080	.003
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-3.828	-.142	.000
家庭環境	世帯年収（高くなるほど）	1.353	.149	.000
	父親が小学校・中学校卒	-7.919	-.084	.003
	父親が高校卒	-5.243	-.111	.000
定数		65.610	—	.000
N=2051		R <sup>2</sup> =.152	補正 R <sup>2</sup> =.144	

f. 算数・学習意欲

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>&lt;算数・学習意欲を押し上げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日子供に朝食を食べさせている</li> <li>● 土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している</li> <li>● 子供が希望しているから大学まで進学してほしい</li> </ul> <p>&lt;算数・学習意欲を押し下げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい</li> </ul>
--

表 2-159 重回帰分析結果（小学生・算数・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	毎日子供に朝食を食べさせている	2.557	.068	.013
保護者の 教育に対 する考え 方	土曜日午前、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	1.375	.062	.022
	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-9.858	-.070	.010
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	5.665	.097	.000
定数		39.060	—	.000
N=2051      R <sup>2</sup> =.024      補正 R <sup>2</sup> =.021				

g. 学習習慣

【分析結果のポイント】

<学習習慣を押し上げる要因>

- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい

<学習習慣を押し下げる要因>

- 土曜日午前、友達と遊んでいる
- 保護者の希望として高校まで進学してほしい
- 子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい

表 2-160 重回帰分析結果（小学生・学習習慣）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	8.674	.145	.003
子供の様 子・行動	土曜日午前、友達と遊んでいる	-7.165	-.122	.013
保護者の 教育に対 する考え 方	保護者の希望として高校まで進学してほしい	-46.385	-.159	.001
	子供の学力から考えて専門学校・各種学校まで進学してほしい	-37.361	-.142	.004
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	16.094	.118	.017
定数		25.612	—	.009
N=2051      R <sup>2</sup> =.101      補正 R <sup>2</sup> =.090				

## 2) 中学生

### a. 国語・A問題

#### 【分析結果のポイント】

##### <国語・A問題の正答率を押し上げる要因>

- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 一般的な進路だから大学まで進学してほしい
- 保護者の希望として大学まで進学してほしい
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している
- 世帯年収（高くなるほど）

##### <国語・A問題の正答率を押し下げる要因>

- 土曜日午前、友達と遊んでいる
- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 一般的な進路だから高校まで進学してほしい
- 保護者の希望として高校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 母親が小学校・中学校卒

表 2-161 重回帰分析結果（中学生・国語・A 問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	1.802	.074	.000
子供の様 子・行動	土曜日午前、友達と遊んでいる	-1.813	-.104	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-10.234	-.114	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-7.675	-.094	.000
	保護者の希望として高校まで進学してほしい	-8.147	-.081	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	9.264	.090	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	8.766	.179	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	5.951	.072	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	2.542	.050	.005
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることにはこだわらない	-1.909	-.094	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-4.634	-.256	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	2.205	.116	.000
保護者の 学校に対 する行動	保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している	1.114	.046	.007
家庭環境	世帯年収（高くなるほど）	.945	.057	.001
	母親が小学校・中学校卒	-4.772	-.067	.000
定数		72.063	—	.000
N=3843		R <sup>2</sup> =.218	補正 R <sup>2</sup> =.214	

b. 国語・B問題

**【分析結果のポイント】**

**＜国語・B問題の正答率を押し上げる要因＞**

- 子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている
- 子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 一般的な進路だから大学まで進学してほしい
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している

**＜国語・B問題の正答率を押し下げる要因＞**

- 土曜日午後、友達と遊んでいる
- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 一般的な進路だから高校まで進学してほしい
- 保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることにはこだわらない
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である
- 母親が小学校・中学校卒
- 母親が高等学校卒

表 2-162 重回帰分析結果（中学生・国語・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている	2.604	.087	.000
	子供が小さいころ、絵本の読み聞かせをした	1.686	.062	.001
子供の様子・行動	土曜日午後、友達と遊んでいる	-2.459	-.096	.000
保護者の 教育に対する 考え方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-15.226	-.112	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-8.383	-.068	.000
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-6.624	-.076	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	11.206	.071	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	9.010	.120	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	5.075	.040	.019
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-3.035	-.098	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-5.945	-.216	.000
子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	2.658	.092	.000	
保護者の 学校に対する 行動	保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している	1.535	.043	.014
家庭環境	母親が小学校・中学校卒	-8.829	-.080	.000
	母親が高等学校卒	-1.925	-.038	.030
定数		67.874	—	.000
N=3843		R <sup>2</sup> =.172	補正 R <sup>2</sup> =168	

c. 国語・学習意欲

【分析結果のポイント】

＜国語・学習意欲を押し上げる要因＞

- テレビゲーム（PC、携帯式ゲーム含む）で遊ぶ時間を限定している
- 日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている
- 日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする
- 母親が短大・高専卒

表 2-163 重回帰分析結果（中学生・国語・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	テレビゲーム(PC、携帯式ゲーム含む)で遊ぶ時間を限定している	1.108	.078	.000
	日頃、子供から学校での出来事について話を聞いている	1.945	.082	.000
	日頃、子供と社会の出来事やニュースについて話をする	1.074	.050	.011
家庭環境	母親が短大・高専卒	1.635	.036	.045
定数		36.634	—	.000
N=3843		R <sup>2</sup> =.024	補正 R <sup>2</sup> =.023	



d. 数学・A問題

【分析結果のポイント】

＜数学・A問題の正答率を押し上げる要因＞

- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい
- 子供が希望しているから大学まで進学してほしい
- 一般的な進路だから大学まで進学してほしい
- 保護者の希望として大学まで進学してほしい
- 子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい
- 母親の年齢（高くなるほど）
- 父親が大学卒

＜数学・A問題の正答率を押し下げる要因＞

- 土曜日午後、友達と遊んでいる
- 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい
- 子供が希望しているから高校まで進学してほしい
- 一般的な進路だから高校まで進学してほしい
- 保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい
- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることにはこだわらない
- 子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である

表 2-164 重回帰分析結果（中学生・数学・A 問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	2.017	.065	.000
子供の様 子・行動	土曜日午後、友達と遊んでいる	-1.931	-.086	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-13.714	-.119	.000
	子供が希望しているから高校まで進学してほしい	-6.843	-.070	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-8.593	-.082	.000
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-4.567	-.062	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	18.442	.140	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	13.116	.210	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	11.133	.105	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	4.618	.071	.000
	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-1.913	-.074	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-5.215	-.225	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	3.215	.132	.000
家庭環境	母親の年齢（高くなるほど）	1.121	.053	.001
	父親が大学卒	4.022	.064	.000
定数		57.786	—	.000
N=3843		R <sup>2</sup> =.244	補正 R <sup>2</sup> =.240	

e. 数学・B問題

【分析結果のポイント】	
<p>&lt;数学・B問題の正答率を押し上げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする</li> <li>土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している</li> <li>子供の学力から考えて大学まで進学してほしい</li> <li>子供が希望しているから大学まで進学してほしい</li> <li>一般的な進路だから大学まで進学してほしい</li> <li>保護者の希望として大学まで進学してほしい</li> <li>子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい</li> <li>世帯年収（高くなるほど）</li> <li>父親が大学卒</li> </ul>	
<p>&lt;数学・B問題の正答率を押し下げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日午後、友達と遊んでいる</li> <li>子供の学力から考えて高校まで進学してほしい</li> <li>子供が希望しているから高校まで進学してほしい</li> <li>一般的な進路だから高校まで進学してほしい</li> <li>保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> <li>子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である</li> </ul>	

表 2-165 重回帰分析結果（中学生・数学・B問題正答率）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の 子供への 接し方	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	1.968	.058	.001
子供の様 子・行動	土曜日午後、習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	2.674	.095	.000
	土曜日午後、友達と遊んでいる	-3.606	-.137	.000
保護者の 教育に対 する考え 方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-12.060	-.095	.000
	子供が希望しているから高校まで進学してほしい	-6.725	-.062	.000
	一般的な進路だから高校まで進学してほしい	-10.392	-.091	.000
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-4.441	-.055	.002
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	20.871	.145	.000
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	13.604	.193	.000
	一般的な進路だから大学まで進学してほしい	9.264	.080	.000
	保護者の希望として大学まで進学してほしい	4.634	.064	.000
	子供の将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である	-5.584	-.218	.000
	子供にはできるだけ高い学歴を身につけさせたい	3.556	.133	.000
家庭環境	世帯年収（高くなるほど）	.663	.075	.000
	父親が大学卒	6.669	.095	.000
定数		32.784	—	.000
N=3843		R <sup>2</sup> =.232	補正 R <sup>2</sup> =.227	

f. 数学・学習意欲

<p><b>【分析結果のポイント】</b></p> <p>&lt;数学・学習意欲を押し上げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供の学力から考えて大学まで進学してほしい</li> <li>● 子供が希望しているから大学まで進学してほしい</li> <li>● 学校以外の教育にかかる平均支出（高くなるほど）</li> <li>● 子供と地域の行事へ参加している</li> </ul> <p>&lt;数学・学習意欲を押し下げる要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供の学力から考えて高校まで進学してほしい</li> <li>● 保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい</li> </ul>
--

表 2-166 重回帰分析結果（中学生・数学・学習意欲）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の教育に対する考え方	子供の学力から考えて高校まで進学してほしい	-3.950	-.052	.004
	保護者の希望として専門学校・各種学校まで進学してほしい	-4.446	-.079	.000
	子供の学力から考えて大学まで進学してほしい	5.594	.055	.002
	子供が希望しているから大学まで進学してほしい	4.370	.090	.000
	学校以外の教育にかかる平均支出（高くなるほど）	.413	.047	.009
保護者の地域との関わり	子供と地域の行事へ参加している	1.018	.057	.002
定数		46.577	—	.000
N=3843		R <sup>2</sup> =.031	補正 R <sup>2</sup> =.029	

## g. 学習習慣

### 【分析結果のポイント】

#### <学習習慣を押し上げる要因>

- 日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする
- 学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）
- 保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している

#### <学習習慣を押し下げる要因>

- 学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない
- 父親の職業が非常勤職員

表 2-167 重回帰分析結果（中学生・学習習慣）

説明変数（要因）		回帰係数	標準化係数	有意確率
保護者の子供への接し方	日頃、子供と勉強や成績のことについて話をする	10.154	.172	.000
保護者の教育に対する考え方	学校生活が楽しければ、良い成績をとることはこだわらない	-4.176	-.085	.004
	学校以外の教育にかける平均支出（高くなるほど）	2.183	.094	.001
保護者の学校に対する行動	保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加している	5.914	.111	.000
家庭環境	父親の職業が非常勤職員	-32.017	-.106	.000
定数		8.755	—	.306
N=3843      R <sup>2</sup> =.092      補正 R <sup>2</sup> =.088				

## 2.8 総括

以上の分析を通じて、全国的な傾向として、絵本の読み聞かせ経験や図書館の利用頻度が各教科の学力や学習意欲に幅広く肯定的な影響を与えていること、規則正しい生活や時間の使い方に関するルール設定が子供の学習習慣を促進することが明らかとなった。また、特に中学生については、朝食を摂取する習慣が確立しているほど、学力が高い傾向が見られるほか、日頃からの保護者と子供の接点が多い（学校や社会での出来事、成績等について話をする、保護者が子供の相談に乗る等）ほど学習意欲が高い傾向が見られた。

さらに、学校種にかかわらず、子供の土曜日の過ごし方や保護者の教育に対する考え方が、子供の学力や学習意欲に影響を与えていることが分かった。具体的には、土曜日午前に関心を持って勉強や読書をしている子供は国語の学力が高いこと、保護者による学歴期待が高いほど子供の学力や学習意欲が高いこと、一方で学校生活が楽しければ成績にこだわらないと保護者が考えていると学力や学習習慣を抑制すること、等が挙げられる。

なお、保護者の学歴が高いほど子供の学力や学習意欲が高く、とりわけ父親が大学卒の場合、学校種や教科にかかわらず子供の学力が高い傾向がみられた。また、世帯年収は子供の学力に有意な影響を与えているものの、学習意欲や学習習慣には有意な影響を与えておらず、学校以外の教育にかける支出は、小学生の学力や学習習慣を高めるものの、中学生については有意な影響が見られなかった。

ここで地域区別に比較すると、大都市においては、全国的な傾向と同様に、絵本の読み聞かせ経験や図書館の利用頻度、規則正しい生活や時間の使い方に関するルールの設定、朝食の摂取習慣の確立が学力に肯定的な影響を与えているのに加え、保護者が子供に本や新聞を読むようにすすめたり、普段から子供の勉強を見たり計画的に勉強するよう促したりすることで、子供の学力や学習意欲、学習習慣が促進されることが明らかとなった。

また、土曜日に家や学習塾などで勉強や読書を行うことが子供の学力や学習意欲を高めるほか、保護者による高い学歴期待が、特に中学生の数学の学力や学習意欲を有意に押し上げる効果が見られた。さらに、保護者が学校へ肯定的な評価や期待感を抱いているほど小学生の学力や学習意欲が高いこと、地域ぐるみでの教育支援や保護者の地域・社会に対する関心の有無が中学生の学力や学習意欲に影響を与えていることが分かった。

世帯年収については、全国的な傾向と同様に、学力のみに有意な影響力を有し、学校以外の教育にかける支出の多寡は、小学生の学力・学習意欲に影響を与える一方、中学生に対しては有意な影響がなかった。なお、保護者の学歴については、特に母親の学歴が高いほど中学生の数学の学力が高い傾向が見られた。

他方、中核市においては、絵本の読み聞かせや図書館利用頻度、規則正しい生活時間、日頃からの保護者と子供の接点、子供の土曜日の過ごし方、保護者による高い学歴期待が学力や学習意欲に有意に影響を与えているとともに、学校や学級からの教育活動に関する有効な情報提供が、小学生の算数並びに中学生の数学の学力を押し上げる効果が見られた。さらに、保護者自身が授業参観に参加したり、子供との地域行事へ参加したりするほか、新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読むほど、子供の学習意欲や学習習慣が高いことが分かった。

なお、学校以外の教育にかける支出が小学生だけでなく中学生の学力や学習習慣も押し上げるのに加え、保護者の職業及び学歴も子供の学力や学習意欲、学習習慣に対して有意に影響を与えていた。

その他の市においては、保護者が子供の勉強を見たり、子供と勉強や成績のことについて話をするほど、中学生の学力や学習意欲、学習習慣を促進することが分かった。また、保護者の高い学歴期待が中学生の数学の学力や学習意欲を押し上げるほか、保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事やボランティアに参加したり、新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読んだりする習慣が、学習意欲や学習習慣を促進する効果が見られた。

世帯年収については、中学生の学力や学習習慣にのみ有意に影響がある一方、学校以外の教育にかける支出は小学生の学力及び学習習慣、中学生の学習意欲や学習習慣に対して有意に影響を与えていた。

町村やへき地においては、絵本の読み聞かせや図書館利用頻度、規則正しい生活時間、日頃からの保護者と子供の接点、子供の土曜日の過ごし方、保護者による高い学歴期待が学力や学習意欲に有意に影響を与えている一方、学校生活が楽しければ成績にこだわらないと保護者が考えたり、塾や習い事に通わせないことに対して不安を抱いたりしていると、学力や学習意欲を抑制する傾向が見られた。

このうち町村では、保護者自身がボランティアで学校支援に携わったり、子供との地域行事に参加したりするほか、新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む習慣があると、学習意欲や学習習慣が促進されることが分かった。また、学校以外の教育にかける支出については、学校種にかかわらず学力や学習意欲を幅広く高める効果が認められ、また母親の年齢が高いほど中学生の国語の学力が高い傾向が見られた。

他方、へき地においては、学校や学級からの教育活動に関する有効な情報提供や家庭学習

指導が小学生の国語の学力や学習意欲を高め、保護者自身が授業参観や運動会等の学校行事へ参加したり、子供と地域の行事へ参加したりすることが、中学生の学力や学習意欲、学習習慣を促進することが分かった。また、学校以外の教育にかける支出は、小学生の国語の学力及び中学生の数学の学習意欲と学習習慣に対して有意に影響を与え、母親の年齢、保護者の職業及び学歴が子供の学力や学習習慣に幅広く影響を与えていることが明らかとなった。

### 3. 不利な環境下で成果を上げている学校・児童生徒の特徴分析

#### 3.1 概要

##### 3.1.1 趣旨

要因分析の結果に照らして、児童生徒の学力等に不利な環境にあっても、成果を上げている学校の取組等について分析し、その特徴を明らかにする。

##### 3.1.2 分析方法

地域区分ごとに、以下の手順により分析する。

- ① 「1. 学校外において児童生徒の学力等に影響を与える要因分析」の重回帰分析において、国語 A、国語 B、算数・数学 A、算数・数学 B のうち 3 つ以上の学力（正答率）に対して有意に影響を与えている児童生徒の属性（家庭環境に関する変数）を抽出し、各変数の標準得点を算出。（ただし、へき地においては 3 つ以上の学力変数に対して有意に影響を与えている属性変数がなかったため、2 つ以上の学力変数に対して有意に影響を与えている属性変数を抽出した）
- ② ①で抽出した変数のうち、有意に正答率を押し上げている変数は算出した標準得点をそのまま、有意に正答率を押し下げている変数は標準得点の正負符号を反転させ（ $-1$ ）を乗じて、各標準得点（または標準得点 $\times(-1)$ ）の和を算出し、「学力促進要因統合指数」を作成。
- ③ 国語 A、国語 B、算数・数学 A、算数・数学 B それぞれの正答率について、標準得点を算出して和し、「学力統合指数」を作成。
- ④ ②で作成した「学力促進要因統合指数」、③で作成した「学力統合指数」それぞれについて、各学校の平均値を算出。
- ⑤ ④で算出した学校ごとの「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」の平均値より、「学力促進要因統合指数」平均値が負の値である（正答率を押し上げる要因が相対的に弱く、押し下げる要因が相対的に強く、不利な環境にある）ものの、「学力統合指数」平均値が正の値である（正答率が相対的に高く、成果を上げている）学校を抽出。
- ⑥ ⑤で抽出した学校のうち、「学力促進要因統合指数」平均値から推測される「学力統合指数」平均値（両指標の学校別平均値を用いた単回帰分析による推計結果）と、実際の「学力統合指数」平均値との差がもっとも大きい小学校・中学校をそれぞれ 1 校ずつ抽出し、両校のうち調査対象者数が多い学校を詳細分析の対象校として選定。（ただし、平成 25 年度「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」の他テーマにおいて実施している調査研究と、詳細調査対象校が重複した場合は、次点・次々点を採用）
- ⑦ ⑥で選定した学校を訪問し、教員インタビューや関連資料の分析等を通じて、当該学校の指導方法や児童生徒の学習方法等の特徴を整理。その際、大阪大学大学院・志水宏吉教授が提唱する「スクールバスモデル」を基本軸として検証。（ただし当該モデルに含まれない特徴についても併せて捕捉）



具体的な分析の観点は、以下のとおりである。

表 3-1 分析の主な観点

項目	主な観点
教職員間の意識 共有・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教職員の間でどのように情報共有や信頼関係の構築が為されているか</li> <li>• 校内授業研究等の自主的な取組はあるか</li> <li>• 教職員チームを牽引するリーダーシップが存在するか</li> </ul>
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校全体でどのようなビジョン・目標がどのように共有されているか</li> <li>• 学校評価等の仕組み（PDCA）がどのように活用されているか</li> <li>• 校務分掌やその他の役割がどのように分担・遂行されているか</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供の多様な状況（家庭環境や学力レベル等）に応じた指導体制・方法・内容がどのように採用・実施され、検証・改善されているか</li> <li>• 学校外における学習をどのように支援しているか</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どのような方針・体制で生徒指導が展開されているか</li> <li>• 子供と教職員との信頼関係をどのように構築しているか</li> <li>• 子供が自律的に行動するための仕組み・工夫があるか</li> </ul>
地域・校種間連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の各種リソースをどのように活用しているか</li> <li>• 地域に対して学校がどのような貢献をしているか</li> <li>• 異なる学校種間でどのような連携・協働を進めているか</li> </ul>
家庭との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家庭と学校との信頼関係をどのように構築しているか</li> <li>• 家庭からの協力をどのように引き出しているか</li> <li>• 家庭学習をどのように支援しているか</li> </ul>
学校環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校内及び通学路等の安全・安心をどのように確保しているか</li> <li>• ICT や図書等の学習環境をどのように充実・活用しているか</li> </ul>
学校文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教職員をはじめとした関係者の前向きな姿勢・行動をどのように構築・引き出しているか</li> <li>• 子供の学びを促すための風土がどのように作られているか</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市町村レベルでどのような教育施策や支援が展開されているか</li> <li>• 周辺地域はどのような特徴を有しているか</li> <li>• 児童生徒や保護者の学習状況にどのような特徴があるか</li> </ul>

## 3.2 大都市

### 3.2.1 調査対象校

#### (1) 統合指標の作成

「2.1.3 分析方針・方法」で示した手順に基づき、「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」を作成した。各指数の記述統計量は、以下のとおりである。

表 3-2 大都市の調査対象校における「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」の記述統計量（大都市）

学校種	指標	度数	平均値	最大値	最小値	標準偏差
小学校	学力促進要因統合指数	3304	0.26	6.14	-5.25	2.63
	学力統合指数	3092	0.10	6.39	-11.64	3.42
中学校	学力促進要因統合指数	6286	0.85	1.85	-5.42	1.64
	学力統合指数	5906	0.28	6.37	-11.11	3.39

#### ※「学力促進要因統合指数」の構成変数

##### 【小学校】

- ・押し上げ要因：「学校以外の教育にかける平均支出」「父親の職業が常勤職員」「世帯年収」「父親が大学卒」

##### 【中学校】

- ・押し上げ要因：「父親が大学卒」
- ・押し下げ要因：「父親が小学校・中学校卒」

#### (2) 調査対象校の選定

以上の指標について、各学校の平均値を算出すると、小学校、中学校それぞれについて、以下のようにプロットすることができる。

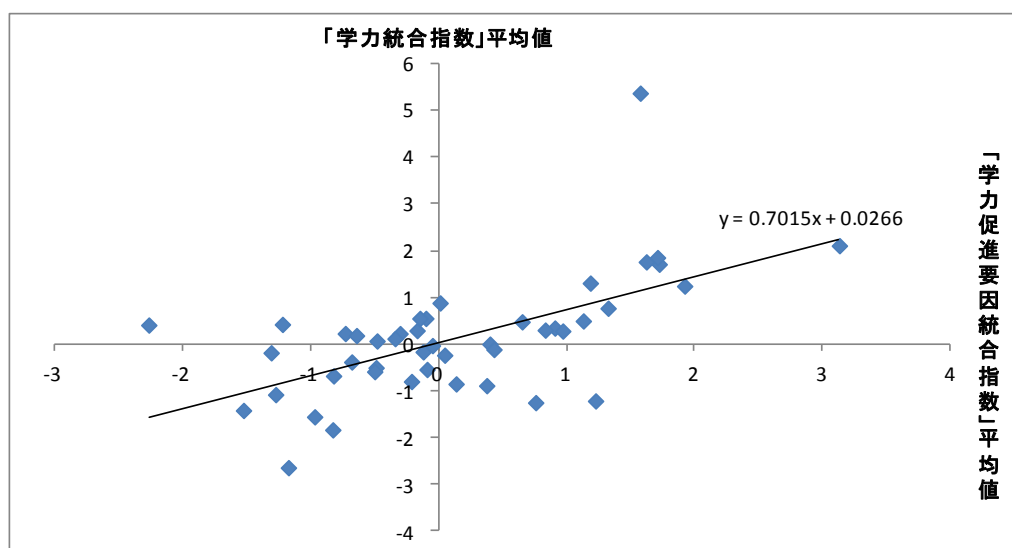


図 3-1 小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（大都市）

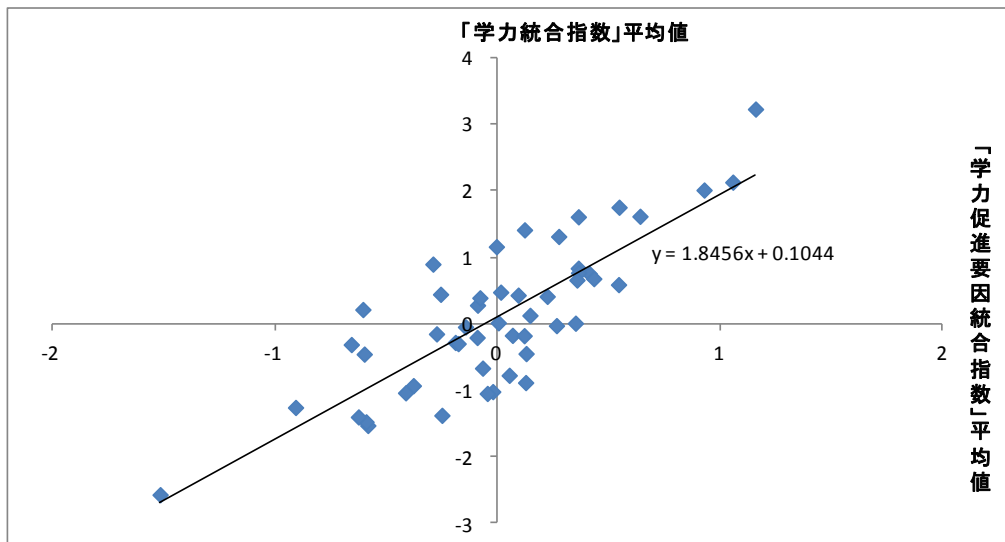


図 3-2 中学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（大都市）

上図の中で、「学力促進要因統合指数」の平均値が負の値、「学力統合指数」平均値が正の値を示す（第 2 象限に位置する）学校のうち、実際の「学力統合指数」平均値（実測値）が、推測される「学力統合指数」平均値（推測値）に比してもっとも高い（両指標の差がもっとも大きい）小学校・中学校は、下のとおりである。

表 3-3 不利な環境下で成果を上げている学校のうち、学力統合指数の実測値と推測値の差がもっとも大きい学校（大都市）

学校種	学力促進要因統合指数 平均値（実測値）	学力統合指数平均値			児童生徒数 （うち小 6 ま たは中 3）
		実測値	推測値	差分	
小学校	-2.26	0.41	-1.56	1.97	104 人 (17 人)
中学校	-0.29	0.90	-0.43	1.33	203 人 (76 人)

ここで、当該小学校の調査対象者数は 17 人、中学校の調査対象者数は 76 人であるため、本調査研究においては当該中学校を大都市における詳細分析の対象校として選定した。

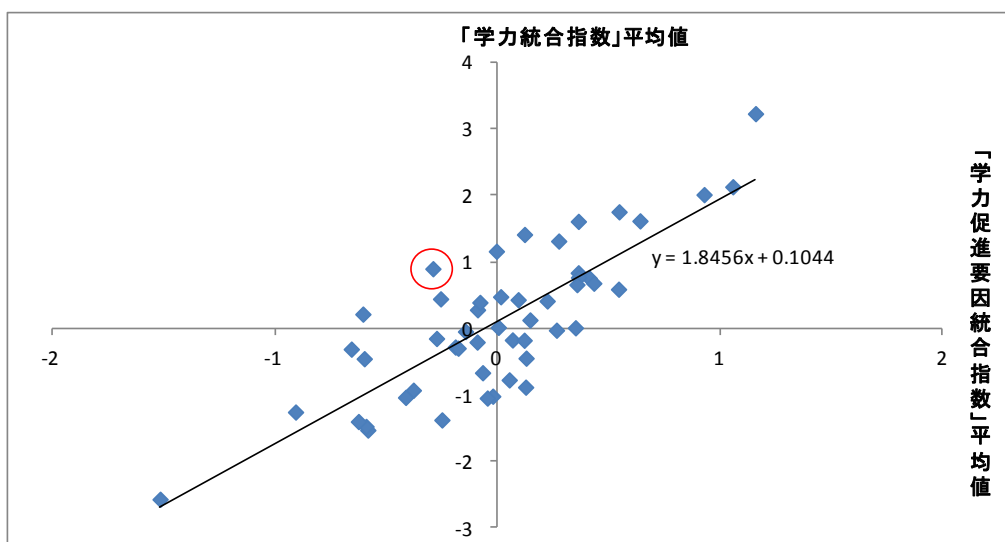


図 3-3 【再掲】中学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（大都市）〔調査対象校に丸〕

### 3.2.2 特徴分析結果（学校紹介）

学校訪問や関連資料の分析等により、調査対象校の特徴は、以下のように整理することができる。

#### 学力における特徴（学力調査結果（正答率））

##### ■国語 A 問題・B 問題、数学 A 問題・B 問題すべての正答率が他校よりも高い

本校と「大都市」に所在する他の中学校（本校を除く。以下、同様）における生徒の国語 A 問題・B 問題及び数学 A 問題・B 問題の正答率を比較すると、教科・問題種別にかかわらず、本校の平均値が高い。（いずれの正答率も「大都市」の中学校平均よりも 5 ポイント前後高い）

#### 児童生徒の家庭環境における特徴（保護者調査結果）

##### ■保護者の最終学歴が相対的に低い

生徒の父親（または父親にかわる方）及び母親（または母親にかわる方）の最終学歴を比較すると、本校は低学歴の割合が多く、高学歴の割合が少なく、全体的に保護者の最終学歴が低い。

#### 児童生徒の状況における特徴（児童生徒質問紙結果）

##### ■規則正しい生活習慣を実践している割合が相対的に多い

生徒が普段（月～金曜日）起きる時間、寝る時間を比較すると、本校は早い時間帯に寝て、早い時間帯に起きる割合が相対的に多い。また、家の人（兄弟姉妹は除く）と普段（月～金曜日）夕食を一緒に食べている割合についても、本校は相対的に多く、全体的に規則正しい生活習慣を実践している傾向が見られる。

##### ■普通の授業において、生徒間で話し合う活動を行う頻度が相対的に高い

普通の授業において、生徒の間で話し合う活動を行う頻度（活動を「よく行っている」と感じている生徒の割合）を比較すると、本校が相対的に多い。

## 学校の取組における特徴

### A) 教職員間の意識共有・協働

#### ■学年や教科の壁を越えて、生徒の状況に目を配り、情報を共有している

各教職員が、担当している学年・教科の生徒だけでなく、日頃から可能な限り全校生徒に目を配り、気になる行動・様子をしている生徒については状況を確認し、他の教職員と共有するようにしている。また、例えば国語の授業でグループ別に議論・発表をした際に、スムーズな活動ができないグループが見られた場合には、他の教科や担任等に対して（グループ活動をするのであれば）異なるグループ分けをするよう伝達する、といった連携も推進している。

#### ■授業改善を学力向上のための「本丸」と位置づけ、ベテランの教職員が他の教職員を牽引している

学力向上を実現するための取組は様々考えられるが、その中でも授業の質を高めることが最重要であるとの意識を教職員間で共有し、その観点から校内研修や授業研究等を展開している。その際、ベテランで指導力も高い教職員が教務主任や学年主任等に就任し、校内での研究授業を一番最初に実践したり、授業改善のための取組を検討・導入したりすることで、他の教職員も自ら進んで授業改善等を進めるような雰囲気醸成している。

### B) 教員の指導力

#### ■データに基づき、教員の指導力向上・授業改善に向けた校内研修を設計している

全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、生徒の弱点を明らかにした上で、それを解決・改善するための方法を授業改善の観点から検討し、校内研修を展開している。例えば、学力調査等の結果から「表現力・発信力が弱い」ということが明らかとなった際、その原因を生徒アンケート等により分析すると、「授業の中で自らの考えを発表するような機会が少ない」ことが影響していると考えられた。そこで、実際に校内の授業を検証したところ、教員が一方向的に説明する授業が主流となっており、子供たちの参画を促すような手法が取り入れられていないことが分かった。これらを踏まえ、様々な改善要素があることは認識しつつも、手を広げ過ぎずに「生徒が主体的に参画して発言するような授業をどうすれば作れるか」という点に焦点を絞り、校内研修を行った。

#### ■全教職員参加型の校内研修手法を取り入れている

校内研修では、全教職員が受け身ではなく主体的に意見を出し合うよう、グループ別に議論して要点を整理し、その結果を他グループに対して発表する形式を採用している。例えば、上述のように「生徒が主体的に参画して発言するような授業をどうすれば作れるか」という課題がある場合には、生徒が主体的に参画して発言する授業に必要な要素について議論し、意見を共有した。その結果、必要な要素が「的確な板書」と「各生徒が自ら考えて発言するような場面の設定」であるとの認識が共有されると、次の研修において「的確な板書とは何か」「生徒自ら発表するような機会をどのように設定するか」といった点について同様に議論・発表する、というプロセスを取り入れている。

## C) 学習指導

### ■ユニバーサルデザインラーニング（UDL）を推進している

校内研修における教職員間の議論等を踏まえて、誰にでもわかりやすい授業「ユニバーサルデザインラーニング（UDL）」の一要素である「的確な板書」を各教職員が心がけている。具体的には、各授業における「学習課題」「手順・方法」「まとめ」を板書し、生徒が各授業において考察すべき事項（学習課題）とそこにたどり着く道筋（手順・方法）、及び学習・考察の結果（まとめ）を一目で理解しやすくなるよう配慮している。また、図形の描き方や色づかいについても、校内研修で検討し、各教職員が授業において実践するようにしている。ただし、教科・単元の特性や施設・設備の物理的な制約等により、これらの指導方法を必ずしも適用できない授業もある。

### ■グループ別に議論・発表する機会を作っている

生徒が自分たちの考えを表現・発表する力を高めるため、各教科の授業の際、4人1組からなるグループに分かれ、特定のテーマについて議論し、その結果を他グループの生徒に対して発表する機会を設けている。グループの構成人数は、5人以上となると主体的に議論に参画できない生徒が出てきてしまうことが学術的にも指摘されているため、4人としている。なお、グループごとに議論を行う方法については、事前に総合的な学習の時間等を使って生徒に教えている。

### ■生徒が自ら考え、表現することを促すようなテスト問題を作成している

生徒が自ら考え、表現する力を高めるため、テストの中で理由を問う記述式の問題を多く取り入れ、単純な知識の暗記だけでは対応できないようにしている。その際、必ずしも正解でなくとも、何らかの回答をする（無回答をなくす）よう生徒に促している。

### ■低学力層の底上げを狙った補充指導を展開している

定期テスト等で成績が芳しくない生徒に対して、個別に声掛けをし、基礎・基本を定着させるための補充指導（主にテスト問題のやり直し、関連領域の個別指導）を展開している。補充指導は、日常から昼休みや放課後を活用して実施するだけでなく、長期休暇中に学校へ呼んで指導することもある。また、低学力層を対象とした指導だけでなく、定期テストの前などに、各教科について質問したい事項を生徒から募り、その結果を踏まえて各教科担当の教職員が特別授業を実施している。

## D) 家庭との連携

### ■家庭学習の着実な実施を確認・徹底している

学力を向上させる上で土台となる授業に加えて、家庭における学習についても着実に実施するよう配慮している。具体的には、生徒に毎日「日記」を書かせて担任がチェック・フィードバックするとともに、教科ごとに家庭学習の課題（宿題）を提示し、翌日に課題を提出しない生徒については昼休みや放課後に必ず実施するよう指導している。また、長期休暇中（学年をまたぐ春休みも含めて）にも一定量の宿題を課し、生徒の学びが途切れないよう配慮している。

### ■適切な生活習慣を徹底している

生徒が家庭での学習時間を確保するためには、帰宅してからテレビやインターネット、携帯電話等に使う時間を抑制することが重要であるため、そうしたメディアの接触頻度を下げることのメリットを養護教諭等から生徒本人及び保護者に伝え、自発的な対応を促している。併せて、早寝・早起き等の生活習慣が学びの質を高めるため、「朝遅刻することは絶対に許さない」との姿勢を生徒に伝え、そのためには早起きが必要で、早起きのためには早寝が必要、といったサイクルで生徒が生活時間を管理するよう指導している。

## E) 地域との連携

### ■学習支援に意欲のある学生ボランティアを活用している

市全体の取組として展開されている学校支援ボランティアの仕組みを活用し、学習支援に意欲がある近隣大学の学生に週1回程度のペースで授業補助等を担ってもらっている（ボランティアに対しては、市から謝金が支払われ、保険加入等も整備している）。学生ボランティアは、教科に関する貢献もさることながら、生徒たちにとっては年齢が近いこともあり、様々な悩み等についての相談相手としての役割も担っている。

## F) 学校運営・学校経営

### ■校内研修における決定事項の実施状況をアンケートや授業視察で把握し、次のアクションにつなげている

校内研修で決定した授業改善に向けた取組について、実際に各教科の授業においてどの程度実施されているのか把握するため、生徒アンケート等を実施している。その結果、例えば授業の中で学習課題等の提示が十分になされていない、生徒が議論・発表するような機会が十分に提供されていない等の実態が明らかになった場合には、次の校内研修でその原因や対策等について全教職員参加型で議論し、更なる授業改善へと結びつけている。なお、授業の実態を把握するため、生徒アンケート等を実施するだけでなく、校長自ら毎日各教室へ足を運び、どのような授業が実施されているかを確認している。

### ■完全なトップダウンではなく、教職員自ら気づきを得て自発的に取組を進めるような運営手法を取り入れている

校長等から完全にトップダウンで教職員の授業改善等を行おうとした場合、短期的な改善が見られたとしても、校長が異動すると取組が衰退してしまうことが危惧される。そこで、改善に向けた取組を組織的・自立的なものとするため、校長は校内研修のテーマや方法について教務主任等とあらかじめ協議して方向性を調整しつつも、実際の研修場面では教務主任等に任せて前面に出ず、参画している教職員が自ら課題を特定し、その解決に向けて自発的に取り組んでいくよう促している。

### ■小中連携を推進し、合同研修等を展開している

9年間を通して子供の力を伸ばすことを意識し、同一学校区の小学校と連携して合同研修等を行い、授業改善や、子供たちに適切な生活習慣を身につけさせるための方法等について検討している。

### 3.3 中核市

#### 3.3.1 調査対象校

##### (1) 統合指標の作成

「2.1.3 分析方針・方法」で示した手順に基づき、「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」を作成した。各指数の記述統計量は、以下のとおりである。

表 3-4 大都市の調査対象校における「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」の記述統計量（中核市）

学校種	指標	度数	平均値	最大値	最小値	標準偏差
小学校	学力促進要因統合指数	4580	0.21	8.02	-8.81	2.56
	学力統合指数	4182	0.17	6.63	-11.16	3.38
中学校	学力促進要因統合指数	6929	0.54	4.16	-2.17	1.61
	学力統合指数	6756	0.16	6.55	-11.72	3.43

##### ※「学力促進要因統合指数」の構成変数

###### 【小学校】

- ・押し上げ要因：「学校以外の教育にかける平均支出」「世帯年収」「母親が大学卒」
- ・押し下げ要因：「母親が小学校・中学校卒」

###### 【中学校】

- ・押し上げ要因：「世帯年収」「父親が大学卒」

##### (2) 調査対象校の選定

以上の指標について、各学校の平均値を算出すると、小学校、中学校それぞれについて、以下のようにプロットすることができる。

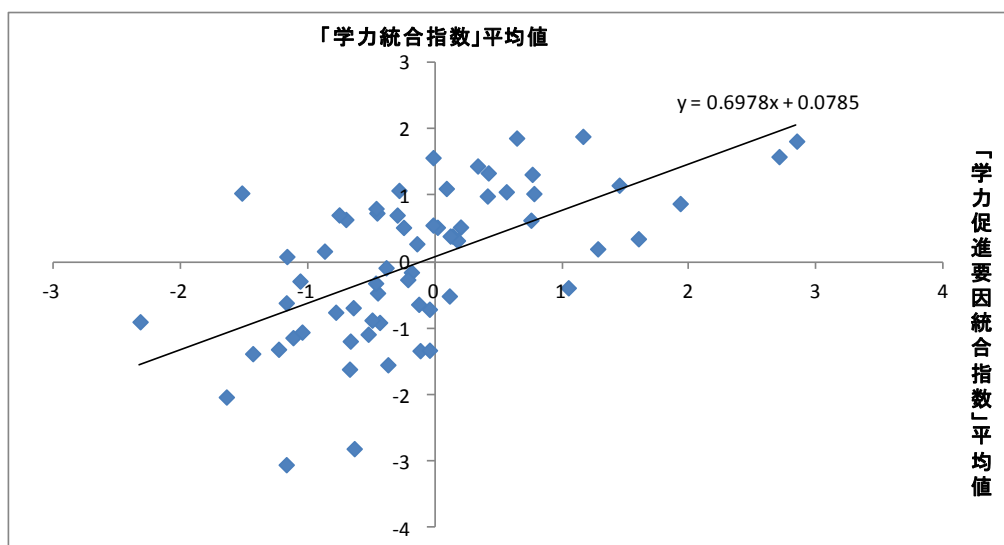


図 3-4 小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（中核市）



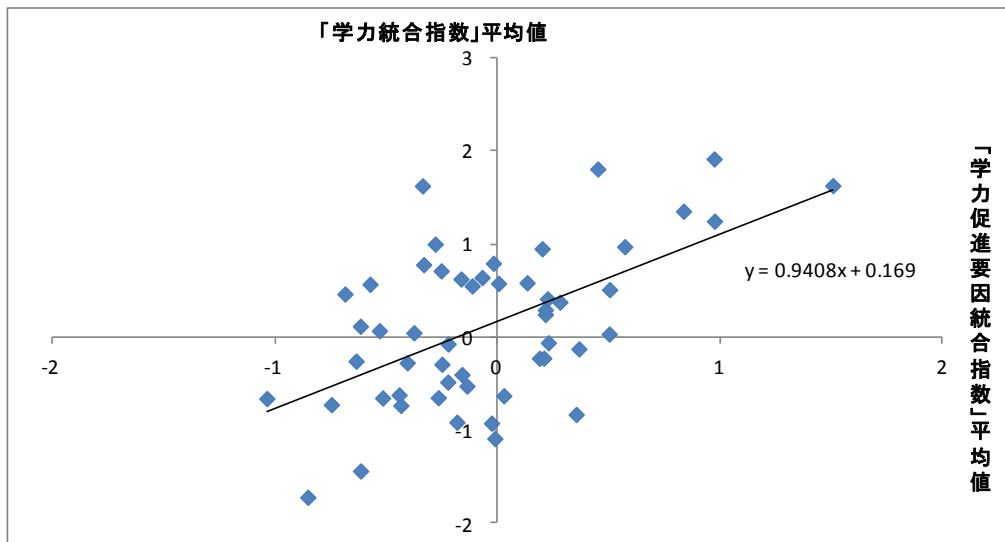


図 3-5 中学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（中核市）

上図の中で、「学力促進要因統合指数」の平均値が負の値、「学力統合指数」平均値が正の値を示す（第 2 象限に位置する）学校のうち、実際の「学力統合指数」平均値（実測値）が、推測される「学力統合指数」平均値（推測値）に比してもっとも高い（両指標の差がもっとも大きい）小学校・中学校は、下のとおりである。（当初抽出した学校は他テーマの調査研究と重複したため、ここでは小学校は次々点、中学校は次点を採用している）

表 3-5 不利な環境下で成果を上げている学校のうち、学力統合指数の実測値と推測値の差がもっとも大きい学校（中核市）

学校種	学力促進要因統合指数 平均値（実測値）	学力統合指数平均値			児童生徒数 （うち小 6 または中 3）
		実測値	推測値	差分	
小学校	-0.75	0.71	-0.45	1.15	225 人 (38 人)
中学校	-0.28	1.00	-0.09	1.09	18 人 (6 人)

ここで、当該小学校の調査対象者数は 38 人、中学校の調査対象者数は 6 人であるため、本調査研究においては当該小学校を中核市における詳細分析の対象校として選定した。

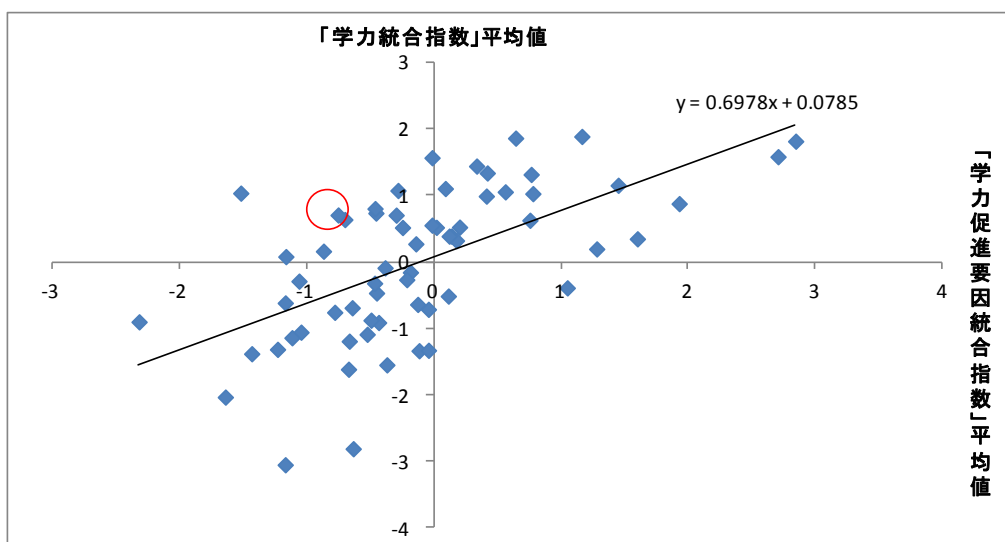


図 3-6 【再掲】 小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（中核市）〔調査対象校に赤丸〕

### 3.3.2 特徴分析結果（学校紹介）

学校訪問や関連資料の分析等により、調査対象校の特徴は、以下のように整理することができる。

<b>学力における特徴（学力調査結果（正答率））</b>
<p><b>■国語 A 問題・B 問題、数学 A 問題・B 問題すべての正答率が他校よりも高い</b></p> <p>本校と「その他の市」に所在する他の中学校（本校を除く。以下、同様）における生徒の国語 A 問題・B 問題及び数学 A 問題・B 問題の正答率を比較すると、教科・問題種別にかかわらず、本校の平均値が高い。</p>
<b>児童生徒の家庭環境における特徴（保護者調査結果）</b>
<p><b>■保護者の最終学歴が相対的に低い</b></p> <p>生徒の父親（または父親にかわる方）及び母親（または母親にかわる方）の最終学歴を比較すると、本校は低学歴の割合が多く、高学歴の割合が少なく、全体的に保護者の最終学歴が低い。</p>
<b>児童生徒の状況における特徴（児童生徒質問紙結果）</b>
<p><b>■家の人（兄弟姉妹除く）に「勉強しなさい」と言われる割合が相対的に多い</b></p> <p>生徒が家の人（兄弟姉妹除く）に「勉強しなさい」と言われる程度を比較すると、よく言われる生徒の割合が本校は多い。</p> <p><b>■外国（人）への関心が相対的に強い</b></p> <p>外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う程度を比較すると、そう思っている生徒の割合が本校は多い。</p>

### ■ 普段の授業で自分の考えを発表する機会が相対的に多い

普段の授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う程度を比較すると、与えられていると考えている生徒の割合が本校は多い。

## 学校の取組における特徴

### A) 教職員間の意識共有・協働

#### ■ 学力向上を全校の問題として捉える意識を定着させている

一般に学力向上に対する教員の意識は、自身の担当する学級や学年に集中しがちであるが、学力は継続して蓄積されていくため、全校としての取組が重要であることを、管理職が職員会議等で周知している。また、管理職が年間数十回以上にわたり学内通信を発行しているが、学力向上をテーマとした通信を中心に発行することで、教員の意識を高めている。

### B) 教員の指導力

#### ■ 授業のあり方を具体的に想定した授業力の向上に取り組んでいる

「子供の実態（個人差）を踏まえた授業」「かかわり合いのある授業」「見通しと振り返りのある授業」の3点を授業力向上に向けた授業のあり方として具体的に示し、その実現に向け、これらの習得に重点をおいた校内研修を行っている。また、校内研修を通じ、これらを組み込んだ授業案の策定の浸透を推進している。

### C) 学習指導

#### ■ 「読む（読み取る）力」に重点を置いた基礎・基本習得に取り組んでいる

教科を問わず問題の意味を読み取る力が重要と考え、この力の習得に重点を置いている（話すこと、聞くことについては、以前よりホームルームで話し合う等が行われてきた）。学力向上担当が図書主任や司書教諭と連携し、図書室の活用機会や読書量の増加に向け、お薦めの本を並べたり、リラックスして本を読める環境を整備する、あるいは一定の冊数を読んだ児童に図書委員が作った葉を贈呈したり、年間読書冊数コンテストをし、入賞者を終業式で発表するなどの取組を行っている。今後は、読書ノートに感想等を記載してもらうなど、読書の質を高めることを計画している。

#### ■ 「書く力」にも重点を置いた基礎・基本習得に取り組んでいる

子供たちが書くことに苦手意識を持っていることや、読むことに加え、書くことが基本との考え方のもと、系統的な作文指導を通じ、書く力の習得にも重点を置いている。そのため、低学年、中学年、高学年別に書くことに関する系統的な目標を設定し生活作文指導を行っている（低学年では順序やつながりを、中学年では組み立ての工夫を、高学年では表現の仕方や意見と事実を区別させることを意識させる等）。

#### ■ 「繰り返し学習」や「朝学時間」を積極的に実施している

以前は毎朝職員朝会を行っていたが、これを週2回の夕会に変更し、毎朝8:15～8:30の15分間、読書、音読、暗唱、試写、漢字、計算等の朝学習を行っている。朝学時間は、補充指導の良い機会

になると教員から評価されている。

#### ■長期休業期間中の学習に工夫をしている

民間事業者が実施する学力調査（CRT）の結果を踏まえて春休みに課題を出している。一般的に、新年度は担任が変わるため、春休みに課題を出す学校は少ないが、学年単位で共通の課題を出し、年間を通じて学習する環境を用意している。課題は、CRT の結果分析を踏まえ、市販の教材等を選定している。また、夏休みには国語・算数の基礎基本の定着を図るため、1 学期の学習の補充を目的に、3～6 年生の希望者を対象とした「夏休みわくわく学習教室」を開催している。平成 25 年度は計 7 回、各回 1.5 時間の学習機会を、エアコンのある校長室、保健室を会場として実施した。

#### D) 家庭との連携

##### ■「安全・安心な学校づくり」に向け常に子供たちの状況を見守っている

保護者に対して、学期 1 回程度のアンケートを実施し、子供が頑張っていることや、子供の様子で気になることがないかを把握している。また、子供たちが楽しく毎日を過ごせているかどうかを確認するため児童に対し、週 1 回程度の簡易アンケートをしている。自分が楽しく過ごせているか／そうでないかや、いやな思いをしている友達を見たかなどを確認している。これらのアンケートは教育相談担当の教員がとりまとめ、2 週間に 1 回程度の校内会議で状況共有や必要に応じ対策検討を行っている。

#### E) 学校運営・学校経営

##### ■PDCA サイクルの実現を重視した「学力向上全体計画」を策定している

「学力向上全体計画」を策定し、学校教育目標、本年度重点目標、本校の課題、課題を改善するための PDCA サイクルの各フェーズにおける取組、改善を把握するための指標、課題解決のための具体的な取組を設定している。これを指針に各種の取組やその成果の評価及び改善策の立案・実施を行うことで、目標実現に向けた PDCA サイクルを実現している。また、同計画の作成にあたり、新たに「学力向上担当」を校務分掌に新設した。

##### ■「安全・安心な学校づくり」「芸術・文化と触れ合うことを通じた情緒の育成」を学力の基盤に据えている

「学力向上全体計画」の本年度重点目標に「しっかりとした学力を身に付ける学校づくり」といった直接的に学力向上に資する事項に加え、「安全・安心な学校づくり」「特色ある教育活動を推進する学校づくり」を掲げている。安全・安心な環境や特色ある教育活動（ファンファーレバンド活動の積極的推進、トロンボーン奏者や茶道の先生を招いた諸活動等の芸術・文化活動）が学力の基盤になるとの考え方にに基づき、学力の向上を図っている。

##### ■各種の学力調査を積極的に活用し、PDCA サイクルを実現している

全国学力・学習状況調査（4 月）、県が実施する学力調査（10 月）、及び CRT（2 月）を活用し、結果の分析を行い、それに基づき年間を通じて柔軟に学力向上に向けた取組を行っている。県のテ

スト結果は新設した学力向上担当が成果と課題を学年別、強化別に分析し、年度後半の取組に反映させている。CRT では、結果とあわせて 2 月末に提供される弱点補強のための問題集（アシストシート）を用いて 3 月に補充学習を行っている。

## F) その他

### ■定期的なアンケートを通じ、子供たちの生活意識を維持・向上させている

日々の生活マナーへの意識を持たせ、学力につながる「安全・安心な学校づくり」を実現するため、児童に対し、月 1～2 回程度の簡易アンケートを実施している。アンケートでは、「出会った人にあいさつを自分からできたか」「やさしい言葉で話せたか」「チャイムの合図は守れているか」「静かに掃除ができていないか」「廊下を走っていないか」「くつやすリッパは揃えられているか」「目上の人にきちんとした言葉づかいができたか」などが確認され、よくできたクラスは放送で褒め、問題が多い場合は、日常の中で留意して指導している。

### 3.4 その他の市

#### 3.4.1 調査対象校

##### (1) 統合指標の作成

「2.1.3 分析方針・方法」で示した手順に基づき、「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」を作成した。各指数の記述統計量は、以下のとおりである。

表 3-6 大都市の調査対象校における「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」の記述統計量（その他の市）

学校種	指標	度数	平均値	最大値	最小値	標準偏差
小学校	学力促進要因統合指数	3901	-0.11	3.22	-2.74	1.56
	学力統合指数	3463	0.42	6.71	-11.73	3.45
中学校	学力促進要因統合指数	6243	0.12	6.39	-2.63	2.08
	学力統合指数	6034	0.16	6.58	-11.00	3.43

##### ※「学力促進要因統合指数」の構成変数

###### 【小学校】

- ・押し上げ要因：「学校以外の教育にかける平均支出」
- ・押し下げ要因：「母親が高校卒」

###### 【中学校】

- ・押し上げ要因：「世帯年収」「母親が短大卒」「母親が大学卒」

##### (2) 調査対象校の選定

以上の指標について、各学校の平均値を算出すると、小学校、中学校それぞれについて、以下のようにプロットすることができる。

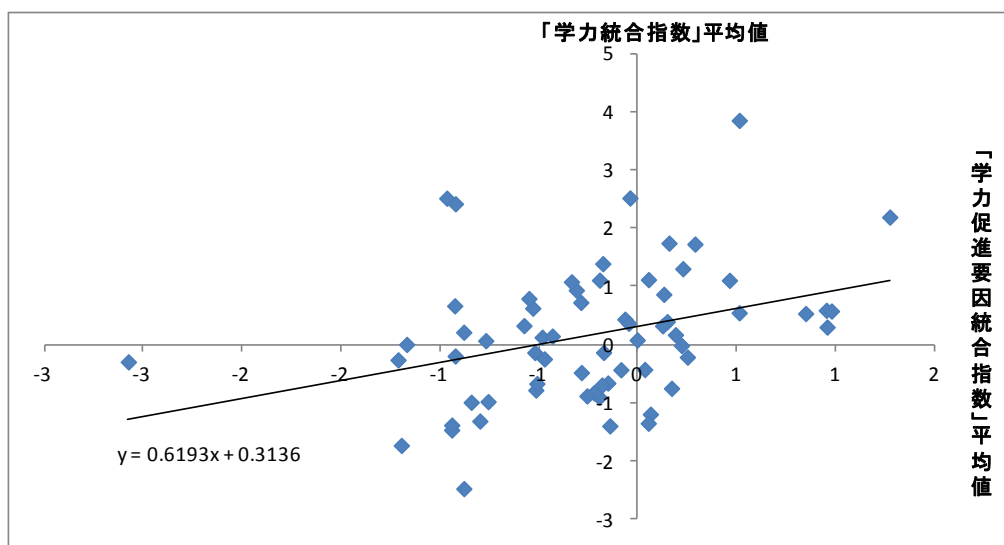


図 3-7 小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（その他の市）

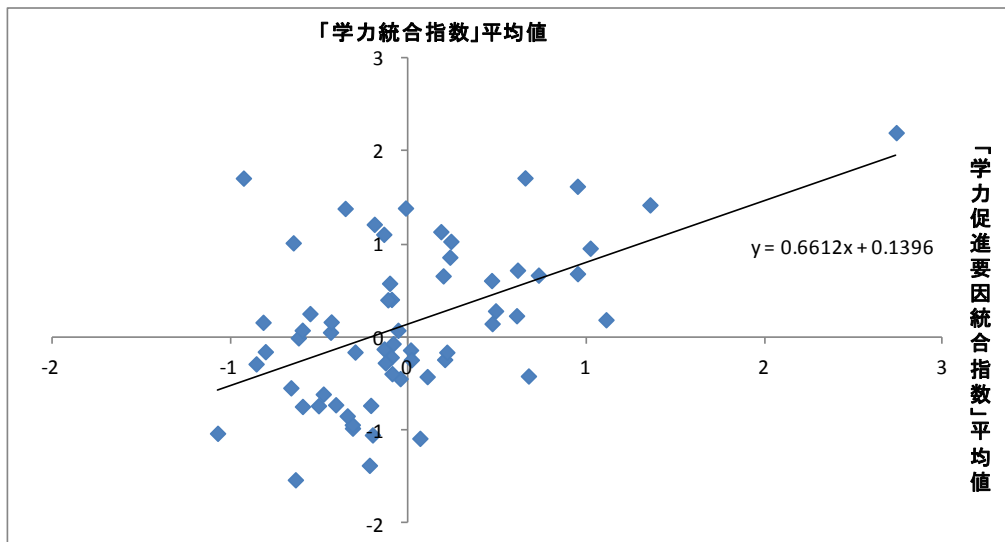


図 3-8 中学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（その他の市）

上図の中で、「学力促進要因統合指数」の平均値が負の値、「学力統合指数」平均値が正の値を示す（第 2 象限に位置する）学校のうち、実際の「学力統合指数」平均値（実測値）が、推測される「学力統合指数」平均値（推測値）に比してもっとも高い（両指標の差がもっとも大きい）小学校・中学校は、下のおりである。（当初抽出した小学校は他テーマの調査研究と重複したため、ここでは次点を採用している）

表 3-7 不利な環境下で成果を上げている学校のうち、学力統合指数の実測値と推測値の差がもっとも大きい学校（その他の市）

学校種	学力促進要因統合指数 平均値（実測値）	学力統合指数平均値			児童生徒数 （うち小 6 ま たは中 3）
		実測値	推測値	差分	
小学校	-0.92	2.42	-0.26	2.68	56 人 (9 人)
中学校	-0.93	1.71	-0.47	2.18	39 人 (17 人)

ここで、当該小学校の調査対象者数は 9 人、中学校の調査対象者数は 17 人であるため、本調査研究においては当該中学校をその他の市における詳細分析の対象校として選定した。

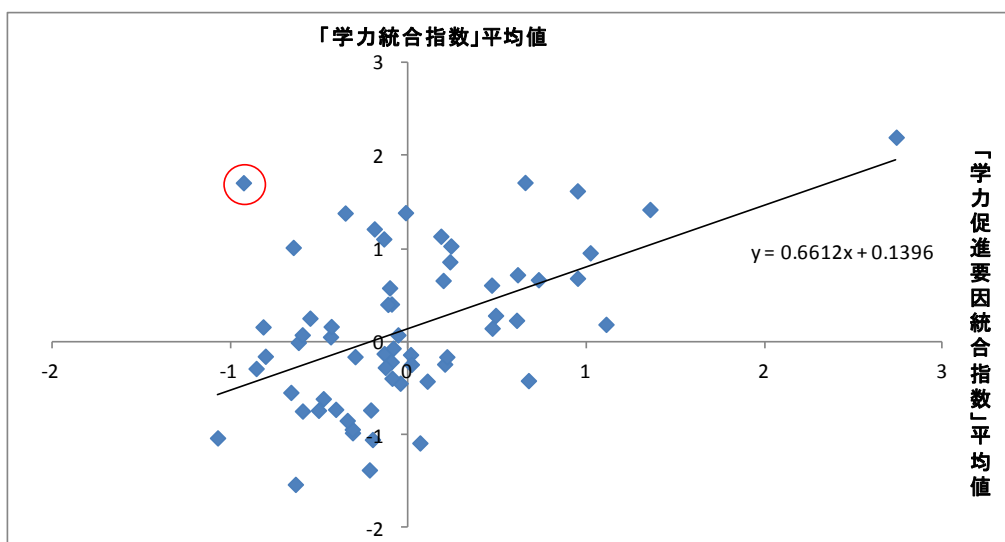


図 3-9 【再掲】中学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（その他の市）〔調査対象校に赤丸〕

### 3.4.2 特徴分析結果（学校紹介）

学校訪問や関連資料の分析等により、調査対象校の特徴は、以下のように整理することができる。

#### 学力における特徴（学力調査結果（正答率））

##### ■国語 A 問題・B 問題、数学 A 問題・B 問題すべての正答率が他校よりも高い

本校と「その他の市」に所在する他の中学校（本校を除く。以下、同様）における生徒の国語 A 問題・B 問題及び数学 A 問題・B 問題の正答率を比較すると、教科・問題種別にかかわらず、本校の平均値が高い。（いずれの正答率も「その他の市」の中学校平均よりも 10 ポイント前後高い）

#### 児童生徒の家庭環境における特徴（保護者調査結果）

##### ■家庭の世帯年収が相対的に低く、保護者の最終学歴が相対的に低い

生徒の家庭の世帯年収を比較すると、本校は低所得世帯の割合が多く（高所得世帯の割合が少なく）、全体的に家庭における世帯年収が低い。また、父親（または父親にかわる方）及び母親（または母親にかわる方）の最終学歴を比較すると、本校は低学歴の割合が多く、高学歴の割合が少なく、全体的に保護者の最終学歴が低い。

#### 児童生徒の状況における特徴（児童生徒質問紙結果）

##### ■学習塾（家庭教師も含む）を利用している割合が相対的に少なく、家で学校の授業の復習をしている割合が相対的に多い

生徒の学習塾・家庭教師の利用状況を比較すると、学習塾に通っている（家庭教師に教わっている）生徒の割合は本校が少ない。一方で、家で学校の授業の復習をしている程度を比較すると、本校生徒の実施割合が多い。



### ■地域社会との関わりが強く、自然体験をした割合が相対的に多い

生徒が地域社会などでボランティア活動に参加した経験、また自然の中で遊んだことや自然観察をした経験を比較すると、参加・経験したことがある割合はいずれも本校生徒が多い。さらに、近所の人に出会ったときに挨拶をする程度を比較すると、本校は全生徒が挨拶しており、他校よりも実施割合が多い。

### ■新聞を読む頻度が相対的に高い

生徒が新聞を読む頻度を比較すると、ほぼ毎日読んでいる生徒の割合は本校が多く、ほとんど、または、全く読まない生徒の割合は他校が多い。

## 学校の取組における特徴

### A) 教職員間の意識共有・協働

#### ■教育のプロとして生徒の希望進路実現をサポートする意識を教員間で醸成・共有している

「生徒の希望進路を実現する」ことを重視し、その目的に照らして妥協することなく学習指導や生徒指導に取り組む意識を教員間で醸成・共有している。例えば教科教育を行う際にも、テストの点数を上げることを単純に目指すのではなく、その先にある高校進学等の進路を実現する上でのステップ（キャリア教育の一環）として取り組むようにしている。これにより、生徒も学習することに対して自ら意義づけを行い、学習意欲を高めることができる。

#### ■学級の壁を越えて全教員一丸となって生徒指導に当たっている

各学級を担任している教員だけでなく、管理職も含めて全教員が全生徒の学習・生活状況に目を配り、家庭状況についても把握した上で指導に当たっている。これにより、学級担任だけでは見落としてしまうおそれのある生徒の変化をいち早く察知し、必要な措置を講じることができる。

### B) 教員の指導力

#### ■教員の指導力向上のための研修や研究会を推進している

教員の指導力を高めるため、校内での授業研究や定期研修はもちろん、学外で実施される個別テーマの研修（例えば、デジタル教材の活用に関する研修）や、域内の複数学校が合同で実施する教科教育の研究会等に教員を派遣（あるいは教員が自発的に参加）している。これらの取組に際しては、学校間で有益な情報を積極的に公表・共有することを管理職レベルで事前に申し合わせている。また、市教育委員会や都道府県教育委員会も研修の機会を提供する等、全市的・全都道府県的な取組として推進している。

### C) 学習指導

#### ■放課後や長期休暇を活用して、個に応じた学習指導を展開している

小規模校である特性（教員一人当たりの生徒数が少ないこと）を活かし、毎年同じような集団指導を行うのではなく、生徒一人ひとりの状況に応じてきめ細かな学習指導を行っている。具体的には、放課後や長期休暇を活用して、授業の中で理解できなかった内容について個別指導したり、宿題の解説をしたりするほか、家庭内で勉強に集中できる環境がない生徒に対しては積極的に声をかけ、

学校で勉強をしてから帰宅するよう促している。

#### ■新聞を活用した学習活動を推進している

生徒の表現力を向上させる観点から、「Newspaper in Education (NIE)」を推進している。具体的には、朝の会などの機会を活用して、生徒が新聞を読んで気になった記事とその感想を、他の生徒に対して発表するような取組を行っている。また、気になった記事の切り抜きを紹介するレポートを生徒が作成し、教室に掲示している。

#### ■様々な場面で生徒が自ら考え・発信する機会を設けている

NIEと同様に、生徒が自ら考えて表現する力を高めるため、授業の中で全生徒が必ず一度は発表する機会を意図的に設けている。これは受検教科に限らず、例えば実技教科である保健体育の授業においても、単純に体を動かすだけではなく、ボールゲームの際にチーム内で戦略を検討・発表させるといった機会を多く取り入れている。

#### ■教科学力にとどまらない幅の広い学習活動を展開している

高校進学の見据えた場合、教科学力以外の知識や経験を蓄積することも重要であるとの考えに立ち、キャリア教育・職業教育、地元についての理解を深めるための教育、食農教育、自然体験、スポーツ行事等にも力を入れている。結果として、教科学習の集中力も高まるだけでなく、こうした様々な経験を積むことで生徒の自信を高めることにつながる。

### D) 家庭との連携

#### ■家庭での学習状況を把握し、促している

生徒が帰宅してからも主体的に学習できるようにするため、家庭学習の状況を教員が常に確認している。教科担任が各教科の宿題を提出させるのはもちろん、学級担任も家庭学習の課題を生徒に提示し、家庭での過ごし方と併せて捕捉している。(課題の具体的な内容・分量は、各学級担任の裁量による)

#### ■家庭・地域に対して生徒及び教職員の頑張りを伝えている

学校と家庭が円滑で協力的な関係を構築するため、教員が生徒のために努力していることを学校通信や日常のコミュニケーションの中で、特に管理職が主体となって家庭へ積極的に伝えている。教員が努力していることを認識することで、学習指導をはじめとする学校の取組について、保護者から協力的な態度を引き出している。

### E) 地域との連携

#### ■地域に貢献する意識を醸成・共有し、行動している

学校が地域活性化を促す核となることを重視し、地域に貢献する意識を教員や生徒の間で醸成・共有している。具体的には、地域の清掃や雪かきなどのボランティア活動を行うほか、学校祭に地域住民を招いて元気になってもらったり、地元企業に職場訪問をしたりするといった取組を展開して

いる。これにより、学校の様々な活動に地域人材の協力が得られるようになるだけでなく、生徒が公共的な観点から学習する（地域に貢献できるよう学習しようとする）姿勢が促進される。

## **F) 学校運営・学校経営**

### **■学校評価を学校改善に活用している**

学校の取組に関して、生徒アンケートや保護者アンケートを実施して自己評価を行うとともに、それらの結果を用いて、学校評議員（教員 OB、PTA 関係者、地域団体関係者等）による学校関係者評価を実施している。評価結果は設置者（市教育委員会）に報告するとともに、必ず学校改善に反映させている。

### **■小中連携を推進し、情報交換や授業研究等を展開している**

隣接する同一学校区内の小学校と中学校で連携し、中 1 ギャップの解消やスムーズかつ効果的な教育を展開できるよう配慮している。具体的には、管理職同士が定期的に情報交換するだけでなく、各学校の教員が出前授業や授業視察をしたり、教科の研究会を開催したりしている。また、いずれかの学校が地区の授業研究の拠点になる際には、小学校・中学校の教員がチームを組んで授業準備等を行うことも多い。

### 3.5 町村

#### 3.5.1 調査対象校

##### (1) 統合指標の作成

「2.1.3 分析方針・方法」で示した手順に基づき、「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」を作成した。各指数の記述統計量は、以下のとおりである。

表 3-8 大都市の調査対象校における「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」の記述統計量（町村）

学校種	指標	度数	平均値	最大値	最小値	標準偏差
小学校	学力促進要因統合指数	2779	0.59	5.15	-1.74	1.59
	学力統合指数	2527	0.16	7.10	-11.40	3.41
中学校	学力促進要因統合指数	4631	0.03	5.11	-6.59	2.02
	学力統合指数	4403	0.18	6.92	-10.61	3.43

##### ※「学力促進要因統合指数」の構成変数

###### 【小学校】

- ・押し上げ要因：「学校以外の教育にかける平均支出」「父親が大学卒」

###### 【中学校】

- ・押し上げ要因：「世帯年収」「父親が大学卒」
- ・押し下げ要因：「父親が小学校・中学校卒」

##### (2) 調査対象校の選定

以上の指標について、各学校の平均値を算出すると、小学校、中学校それぞれについて、以下のようにプロットすることができる。

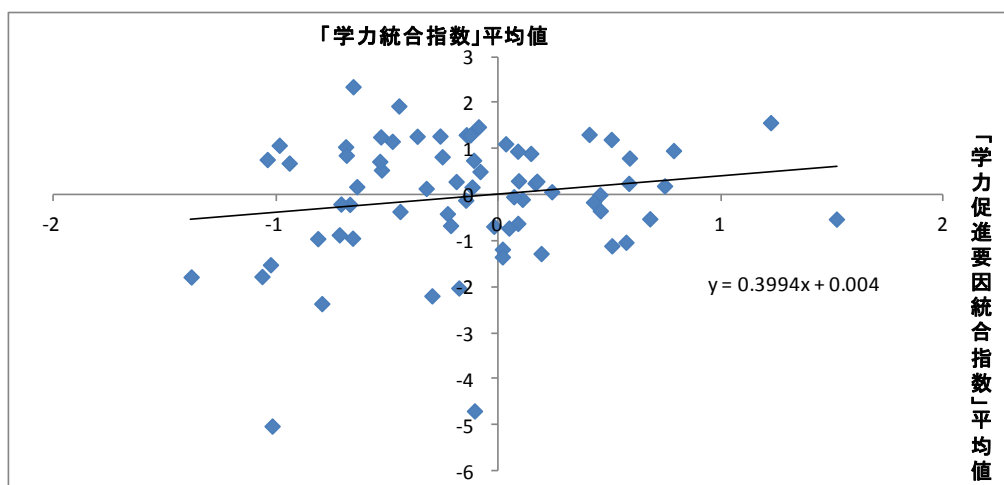


図 3-10 小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（町村）

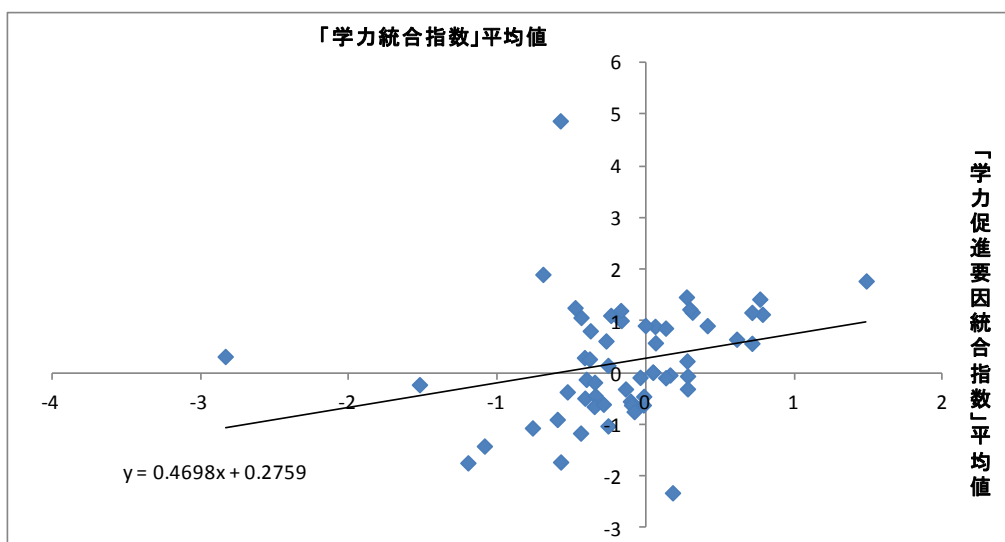


図 3-11 中学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（町村）

上図の中で、「学力促進要因統合指数」の平均値が負の値、「学力統合指数」平均値が正の値を示す（第 2 象限に位置する）学校のうち、実際の「学力統合指数」平均値（実測値）が、推測される「学力統合指数」平均値（推測値）に比してもっとも高い（両指標の差がもっとも大きい）小学校・中学校は、下のとおりである。

表 3-9 不利な環境下で成果を上げている学校のうち、学力統合指数の実測値と推測値の差がもっとも大きい学校（町村）

学校種	学力促進要因統合指数 平均値（実測値）	学力統合指数平均値			児童生徒数 （うち小 6 または中 3）
		実測値	推測値	差分	
小学校	-0.65	2.35	-0.26	2.61	27 人（5 人）
中学校	-0.58	4.87	0.00	4.87	5 人（2 人）

ここで、当該小学校の調査対象者数は 5 人、中学校の調査対象者数は 2 人であるため、本調査研究においては当該小学校を町村における詳細分析の対象校として選定した。

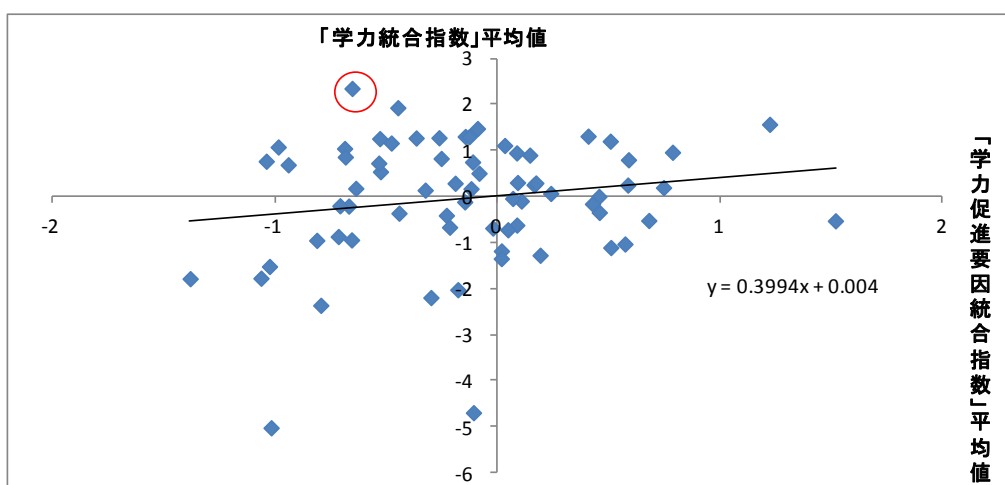


図 3-12 【再掲】小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（町村）〔調査対象校に赤丸〕

### 3.5.2 特徴分析結果（学校紹介）

学校訪問や関連資料の分析等により、調査対象校の特徴は、以下のように整理することができる。

#### 学力における特徴（学力調査結果（正答率））

##### ■国語 A 問題・B 問題、算数 A 問題・B 問題すべての正答率が他校よりも高い

本校と「町村」に所在する他の小学校（本校を除く。以下、同様）における児童の国語 A 問題・B 問題及び算数 A 問題・B 問題の正答率を比較すると、教科・問題種別にかかわらず、本校の平均値が高い。このうち、特に国語 A 問題については、約 20 ポイント上回っている。

#### 児童生徒の家庭環境における特徴（保護者調査結果）

##### ■学校外教育にかける 1 か月あたりの平均支出額が相対的に低く、保護者の最終学歴が相対的に低い

学校外教育にかける 1 か月あたりの平均支出額を比較すると、本校は 1 万円未満の割合が多く、全体的に支出額が低い。また、児童の父親（または父親にかわる方）及び母親（または母親にかわる方）の最終学歴を比較すると、本校は低学歴の割合が多く、高学歴の割合が少なく、全体的に保護者の最終学歴が低い。

#### 児童生徒の状況における特徴（児童生徒質問紙結果）

##### ■地域の行事に参加している割合が相対的に多い

今住んでいる地域の行事に参加している程度を比較すると、本校は行事に参加している児童が相対的に多い。

#### 学校の取組における特徴

##### A) 教職員間の意識共有・協働

##### ■全教職員が全児童の状況に目を配り、絶えず情報共有しながら協働している

少人数学校（完全複式学級）であることを、児童一人ひとりに目が行き届くメリットだと捉え、学級担任だけでなく全教職員が全児童の学習・生活状況に目を配り、何らかの変化が認められた際には互いに共有している。また、放課後の戸締り等も、担当教職員が一人で実施するのではなく、管理職自ら率先して協力する姿勢を示し、各教職員が協働する雰囲気作りに気を配っている。

##### B) 教員の指導力

##### ■校内研修で全教員が研究授業を行い、複式学級における効果的な指導のあり方を探求している

複式学級の指導には、単級とは異なる配慮（一つの学年に直接指導している間に、もう一つの学年に何らかの学習をさせる、等）が求められるため、校内研修で全教員が必ず年に一度は研究授業を行い、その方法や効果について他の教員と検討する。また、これまで複式学級で展開されてきた授業案等の資料を共有・活用し、授業研究を行うこともある。

### ■校外研修に教職員が参加するための環境を整備している

校外（都道府県外も含む）の研修に各教職員が積極的に参加し、新たな知見を獲得して視野を広げられるよう、校内調整を図っている。本校は教職員数が少なく、一人でも校外研修等で学校を不在にすると学校運営に大きな影響があるが、日頃から共有している情報を土台として、管理職を含む他の教職員が代替授業を行うなど、全校一丸となって対応に当たっている。

## C) 学習指導

### ■児童の自己肯定感を高めるための工夫をしている

児童の学習の基盤となるのは「自己肯定感」であり、それが高まることによって学習意欲・習慣も更に改善されるとの考えに基づき、児童一人ひとりの習熟状況に即して質問を投げかけて回答させたり、注意をする際にはすぐに他の教職員が気落ちしないようフォロー（叱られた児童の良い面を伝えてあげる、等）したりしている。今後、さらに効果的な取組を導入すべく、教育心理学の知見の活用方法について模索している。

### ■「週案」を作成し、効果的・効率的に「わたり」を行い、児童が自ら主体的に考え、互いに助け合いながら学ぶための綿密な計画を立てている

複式学級は単級に比べて、1時間の授業の中で授業進行の調整が難しいことを踏まえ、できるだけ綿密に1週間の授業計画（週案）を立てている。特に、複数学年の間を行き来する「わたり」に関連して、1つの学年を直接指導している際、もう1つの学年が時間を持て余すのではなく、様々な学習課題について自ら考えるとともに、児童同士で教え合い・学び合う（学力の高い児童が学力の低い児童に教える、一人の児童が発表して他の児童と意見を交換する、等）ことができるよう、適切な課題テーマと提示方法・タイミングを事前に十分検討している。

### ■新聞を活用したスピーチを毎日実施している

社会の動向に対する理解を深めるとともに、高度な文章の読解力を高め、さらに表現力（話す力）も高めることを目的として、毎朝、日直が気になった新聞記事を紹介するためのスピーチを行っている。他の児童は、スピーチ内容に関して感じたことをメモとして記述し、それらのメモは紹介された新聞記事と一緒に教室内に掲示される。

### ■読書を推進し、異なる学年間で読んだ本を紹介し合っている

年間の目標読書冊数を設定し、各児童が家庭で本を読むよう促し、目標冊数に到達した児童に対しては表彰してモチベーションを高めている。また、読書の量をいたずらに増やすだけでなく、読書の質も担保するため、読んだ内容を異なる学年の児童に紹介する文章を作成し、その紹介文を受け取った児童は返答のコメントをするようにしている。

### ■「百マス作文」による書く訓練を徹底的に実施している

児童が「書く力」を高め、自己肯定感を向上させることを目標とし、国語の授業を中心として、100文字を目標に文章を書く訓練（各児童がテーマを自由に設定し、感じていることや疑問に思っ

ていることを3分間で文章化する活動)を継続的に実施している。文章を書くのが苦手な児童もいることを考慮し、漢字やテニオハ等の細かなミスについては敢えて指摘せず、児童が3分間で委縮することなく書く努力をするよう促している。また、文章を書くのが好きな児童については、逆に100文字を超えてたくさん書けばよいのではなく、要点を100文字でまとめるよう指導している。なおこの活動は、国語の授業以外(学活等)においても実施している。

#### ■児童の習熟状況を踏まえた課題設定をしている

児童にとって有意義な学習指導を行うため、全校の「平均値」で児童の状況を把握するのではなく、一人ひとりの学習・生活状況に焦点を当て、それを踏まえて学習指導を展開するよう配慮している。具体的には、通常の授業の中で対応するのは限界があるため、放課後を活用して個別指導を行ったり、宿題の量・質を習熟状況に応じて調整したりしている。

#### ■長期休暇中も教職員が児童のもとへ出向き、学習指導に当たっている

長期休暇中も児童の学びが途切れないようにするため、校長も含めて教職員が各児童の居住地付近の公民館へ出向き、宿題の進捗管理や個別の補充指導等を行っている。通常は、児童が登校して学習指導等を行うが、本校はスクールバスを利用して遠方から通学している児童が多いことを勘案し、教職員が自ら各地へ足を運んで対応している。

#### ■狭義の学力に拘り過ぎず、幅広い力を身につけさせることを意識している

以上の活動を展開する大前提として、学力テストにおける点数はあくまで一つの目標値として捉え、狭義の学力を高めることに拘り過ぎず、児童が将来主体的に生きていく上で必要な力を身につけさせるためにはどうすればよいか、という観点から様々な学習指導等を展開している。具体的には、地域と連携した体験活動や生活習慣指導等が挙げられ、その一環として学力向上を目指した取組を行っている。結果として、子供たちも「やらされている感」がなく、自ら学ぶことの意味や目標を理解することができ、学習意欲の向上につながっている。

### D) 家庭との連携

#### ■複式学級の悪い面だけでなく良い面を伝え、それらを踏まえた学校の方針を説明している

複式学級であることに対し、少なからず不安を抱いている保護者が多いことを勘案し、年度当初に校長から複式学級の良い面(異なる年齢の子供と接触することで社会性が高まる、少人数であるため一人ひとりに配慮した指導が可能となる等)や具体的な指導方針等を説明し、まずは学校・教職員を信頼してもらうよう呼びかけている。その上で、行事や授業参観等に保護者が参加する際、児童が学年を越えて協力し合っている姿を見てもらい、納得してもらえるよう配慮している。

#### ■目標時間を定めて家庭学習や読書を確実に実施するよう促している

学習事項を定着させる上で、家庭学習が重要であるとの考えに立ち、復習を中心とした宿題を毎日提示し、各児童が家庭において継続的に学習するよう促している。宿題の結果については、必ず翌日に学校で教職員が確認し、実施状況や理解度が不十分な場合には、放課後に残して確実に実施す



るよう指導している。また、宿題に加えて日記を課し、提出された日記に対して教職員がコメント返す取組も行っている。加えて、学習するための全段階として、「鉛筆を用意しているか」「下敷きをセットしたか」等のチェックリストを用意し、児童が適切な準備を経て学習することを習慣化するように促している。

#### ■連絡帳を活用して家庭と学校との情報共有を推進している

家庭と学校の間でコミュニケーションを活発化するとともに、児童の状況について相互に理解を深めることを目的とし、特に低学年の児童については連絡帳を活用し、学校であったことを教職員が記載して保護者に伝え、家庭での様子を保護者が記載して教職員に伝えている。これは、児童についての情報共有だけでなく、保護者から学校への要望や学校から保護者への要望等を交換・確認しあうツールとしても機能している。

### E) 地域との連携

#### ■地域に対して積極的に働きかけ、地域からの協力も積極的に受け入れている

子供は地域から守られるだけではなく、地域に元気を与える存在であるべきとの考えに立ち、地域行事へ積極的に児童を参加させたり、学校行事へ積極的に地域住民（主に高齢者）を招いたりするほか、老人会と児童の間で恒常的にコミュニケーションをとるような取組（文通や施設訪問等）を推進している。結果として、地域からも学校や児童のために協力したいという姿勢を引き出すことにつながり、学習指導だけでなく生活指導も含めて地域の力を活用できるとともに、児童としても高齢者の役に立っていることを実感でき、自己肯定感が高まって、結果的に学習意欲向上へとつながる好循環も生み出している。

#### ■地元大学と連携して様々な学習活動を展開している

児童が将来生き抜いていく上で必要な「力」を育成するとともに、学習意欲を高めることを目的として、近隣にある国立大学と連携し、最先端の科学的知見や理論を織り交ぜた講義や実習等、通常の授業だけでは触れることのできない様々な学習の機会（特に生物系の学習）を児童に提供している。

### F) 学校運営・学校経営

#### ■教職員が安心して協働できる職場環境づくりを重視し、校長自ら働きかけている

児童が学業に打ち込むためには、教職員が安心して協働している姿を見せることが前提であるとの考えに立ち、学校経営における優先事項の一つとして、教職員が安心して仕事をする事ができる職場環境づくりを校長が掲げている。そのために、校長自ら学校事務を率先してこなしたり、全教職員が全児童の情報を共有したりするほか、厳しい指摘が保護者等から寄せられた際にも、真摯に受け止めるべき指摘は受け止め、そうでない部分については教職員を守る姿勢を校長が貫いている。

### ■学校評価結果を真摯に受け止めつつ、気負い過ぎずに活用している

町村教育委員会が学校評価の活用を推進し、所管している小中学校の自己評価結果を集計して、所管地域全体の傾向を分析するとともに、各学校の特徴についても検証し、フィードバックしている。これらを踏まえ、本校では今後の改善に結びつけ得る評価結果については真摯に受け止めて改善方を検討すると同時に、必ずしも全ての評価結果・指摘事項を反映しようとして労力・時間を費やすのではなく、優先順位をつけて対応を検討・実施している。

### ■小中連携を推進し、合同で授業研究等を実施している

同一学校区内に所在する中学校と連携し、教職員同士で合同の授業研究を行ったり、生徒指導上の課題を共有して対応策を検討したりしている。また、小学校に在籍している児童の学習・生活状況を中学校に対して伝達することで、子供たちが中学校進学後もスムーズに指導・サポート受けられるよう配慮している。

## G) その他

### ■教育相談を定期的に実施し、全校体制で子供の状況を把握している

2か月に1回程度の頻度で、児童が学習や生活に関する相談を教職員にするための時間を設定している。対応する教職員は持ち回りとし、児童にとっても普段から付き合いのある学級担任だけでなく、自身が相談したい教職員と話をすることができる機会としている。これは、教職員にとっても様々な児童の状況を理解することにつながっている。

### ■私語をはさまず清掃活動に取り組むことを徹底している

児童が集中すべき時間帯と緩める時間帯のメリハリをつけられるようになることを一つの目標として、清掃活動の際、私語をはさまずに取り組むよう徹底している。

### ■児童会主導で、児童自ら各月の目標を設定するようにしている

児童が主体性を持って様々な活動に取り組むことができるよう、児童会を活用している。具体的には、児童会主導で児童自ら各月の活動目標（挨拶をしっかりとる、外で元気よく遊ぶ、等）を設定させ、その達成状況も児童が自分たちで評価し、次月の目標設定に活かすようにしている。これらは、特定の学年だけでなく全校的に取り組むことで、学年を越えた児童間のコミュニケーションを促す機能も果たしている。

### 3.6 へき地

#### 3.6.1 調査対象校

##### (1) 統合指標の作成

「2.1.3 分析方針・方法」で示した手順に基づき、「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」を作成した。各指数の記述統計量は、以下のとおりである。

表 3-10 大都市の調査対象校における「学力促進要因統合指数」及び「学力統合指数」の記述統計量（へき地）

学校種	指標	度数	平均値	最大値	最小値	標準偏差
小学校	学力促進要因統合指数	1680	-0.22	10.83	-5.70	2.85
	学力統合指数	1382	0.05	6.97	-11.67	3.45
中学校	学力促進要因統合指数	3366	0.02	5.85	-7.18	1.92
	学力統合指数	3162	0.13	6.99	-11.34	3.44

##### ※「学力促進要因統合指数」の構成変数

###### 【小学校】

- ・押し上げ要因：「学校以外の教育にかける平均支出」「世帯年収」「父親が大学卒」
- ・押し下げ要因：「母親がパート・アルバイト」「父親が高校卒」

###### 【中学校】

- ・押し上げ要因：「母親の年齢」「父親が大学卒」
- ・押し下げ要因：「母親が小学校・中学校卒」

##### (2) 調査対象校の選定

以上の指標について、各学校の平均値を算出すると、小学校、中学校それぞれについて、以下のようにプロットすることができる。

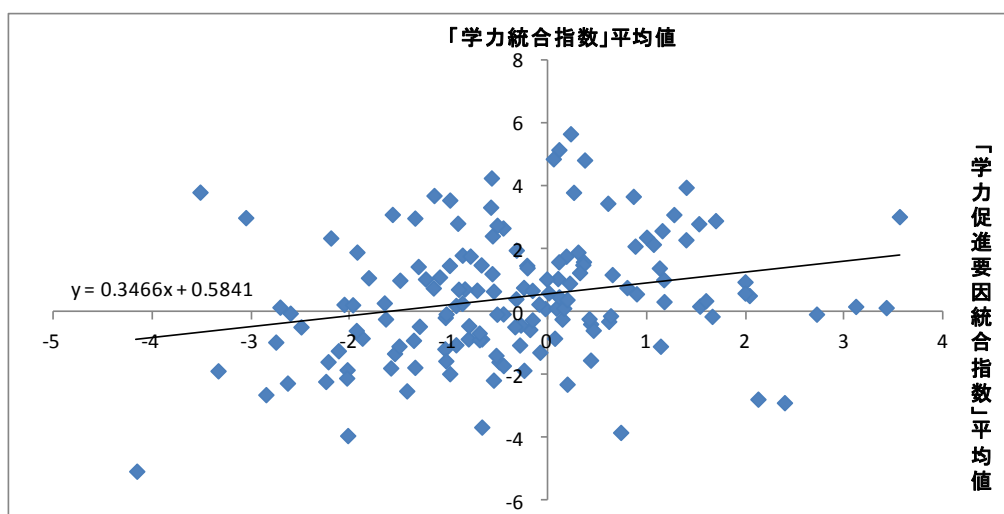


図 3-13 小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（へき地）

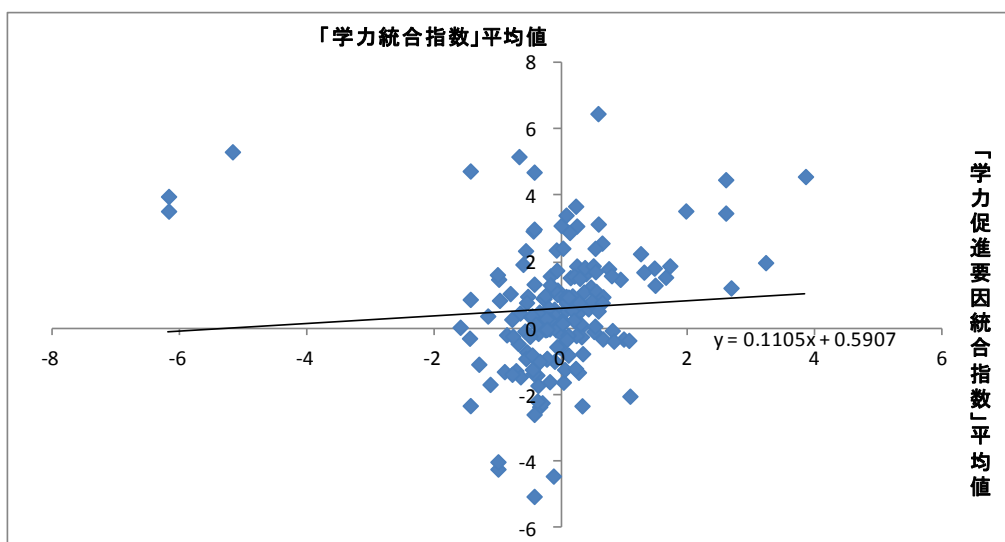


図 3-14 中学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（へき地）

上図の中で、「学力促進要因統合指数」の平均値が負の値、「学力統合指数」平均値が正の値を示す（第 2 象限に位置する）学校のうち、実際の「学力統合指数」平均値（実測値）が、推測される「学力統合指数」平均値（推測値）に比してもっとも高い（両指標の差がもっとも大きい）小学校・中学校は、下のとおりである。

表 3-11 不利な環境下で成果を上げている学校のうち、学力統合指数の実測値と推測値の差がもっとも大きい学校（へき地）

学校種	学力促進要因統合指数 平均値（実測値）	学力統合指数平均値			児童生徒数 （うち小 6 または中 3）
		実測値	推測値	差分	
小学校	-3.52	3.82	-0.63	4.45	10 人 (3 人)
中学校	-5.17	5.32	0.02	5.3	12 人 (1 人)

ここで、当該小学校の調査対象者数は 3 人、中学校の調査対象者数は 1 人であるため、本調査研究においては当該小学校をへき地における詳細分析の対象校として選定した。

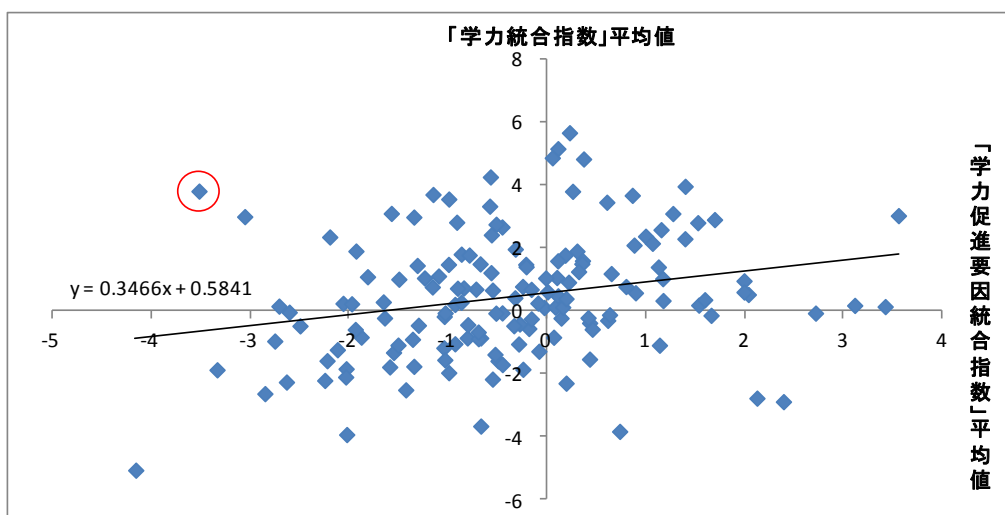


図 3-15 【再掲】小学校の「学力促進要因統合指数」平均値×「学力統合指数」平均値（へき地）〔調査対象校に赤丸〕

### 3.6.2 特徴分析結果（学校紹介）

学校訪問や関連資料の分析等により、調査対象校の特徴は、以下のように整理することができる。

#### 学力における特徴（学力調査結果（正答率））

##### ■国語 A 問題・B 問題、算数 A 問題・B 問題すべての正答率が他校よりも高い

本校と「へき地」に所在する他の小学校（本校を除く。以下、同様）における児童の国語 A 問題・B 問題及び算数 A 問題・B 問題の正答率を比較すると、教科・問題種別にかかわらず、本校の平均値が高い。このうち、特に国語 A 問題については、約 20 ポイント上回っている。

#### 児童生徒の家庭環境における特徴（保護者調査結果）

##### ■学校外教育にかける 1 か月あたりの平均支出額や世帯年収が相対的に低く、保護者の最終学歴が相対的に低い

学校外教育にかける 1 か月あたりの平均支出額及び世帯年収を比較すると、本校は平均支出額 1 万円未満の割合、世帯年収 500 万円未満の割合が多く、全体的に学校外教育にかける支出額や世帯年収が低い。また、児童の母親（または母親にかわる方）の最終学歴を比較すると、本校は低学歴の割合が多く、高学歴の割合が少なく、全体的に保護者の最終学歴が低い。

#### 児童生徒の状況における特徴（児童生徒質問紙結果）

##### ■家庭学習に取り組んでいる割合が相対的に多い

家で学校の授業の復習をしている割合や、土曜午後に家で勉強や読書をしている割合を比較すると、本校は復習や勉強・読書をしている児童が相対的に多い。

## 学校の取組における特徴

### A) 教職員間の意識共有・協働

#### ■全教職員が全児童の状況に目を配り、定期的に情報を共有し、対応を検討している

学級担任だけでなく、校長や養護教諭等も含めて全ての教職員が全児童の状況に目を配り、気になる言動等がみられた場合には、定期的に開催するミーティングで共有し、全校的に対応を検討する。また、小規模校であり教員数が少ないため、研修等で教員が学校を不在にする際には、校長も自ら授業を行う等、児童の学びが途切れないよう補完し合う。

### B) 教員の指導力

#### ■他校の参画も得ながら授業研究を行い、指導力の向上を図っている

校内における授業研究を各教員が行う際、自校だけでは教職員数が少なく、提示される意見も限られてしまうため、市内の全学校に案内を出し、関心があれば視察しに来るよう呼びかけている。その結果、他校の教員からも授業改善に向けた提言等を受けることができる。また、ICT 機器（電子黒板、デジタル教科書）を効果的に活用するため、外部から講師を招いて研修会を開催したり、校内でも教職員間で意見交換したりしている。

### C) 学習指導

#### ■子供一人ひとりの学習状況や到達度を踏まえて指導している

少人数であることを長所として、子供一人ひとりの学習状況や到達度（どの教科・単元の何が弱い・強いかなど）を、授業中や普段のコミュニケーション、県・市が実施する一斉テストの結果等を通じて個別に見極め、それらに応じて授業中にきめ細かく指導したり、繰り返し学習のための宿題を出したりしている。

#### ■「書く」ことを意識して指導している

全国学力・学習状況調査の「B 問題」を念頭に、児童が「書く」ことに対する抵抗感を少なくし、「書く」力を高められるように意識して授業を行っている。具体的には、問題演習の際には単純に答えだけでなく、その答えに至った過程についてもノートに書かせたり、口頭で何かを発表する場合にも、その内容をノートに書かせるようにしている。

#### ■学年を越えた児童同士の学び合いを促している

少人数であるため、同級生同士で議論したり発表したりする機会は減らざるを得ないが、同一学年に限らず複数の学年間で一緒に学習したり話し合う場面を設けている。具体的には、毎週 2 回実施している朝のドリル学習の際、異なる学年の児童を一つのクラスに集めて実施し、分からない問題がある場合に児童同士で質問し、教え合うよう促している（普段の授業の問題演習においても同様）。また、定期的に全校児童を集めて学級会を開催し、児童会の計画立案を全員参加型で行っている。これらを通じて、高学年はリーダーシップを発揮し、低学年は高学年をロールモデルとして主体性を身につけることも期待されている。

### ■ICT 機器を効果的に活用している

繰り返し学習（計算）や算数の概念説明等をする際、必要に応じて電子黒板やデジタル教科書を活用し、児童の関心を高めながら指導に当たっている。また、複式学級で一つの学年しか直接指導できない場合、もう一つの学年に対して映像を見せる等、児童の学びが途切れないようにする上でも、ICT 機器を活用している。

### ■児童の自己肯定感を高めるよう配慮している

児童が意欲を持ち、間違いを恐れず積極的に学習する前提として、児童の自己肯定感を高めるために、まずは間違ふことを恐れる必要はないことを伝え、授業内外で児童がチャレンジする場面を作り、そこで頑張った時には多少大げさにでも褒めている。また、様々な作品点に応募させている（その結果、一つでも応募作品が表彰されると、子供にとっては大きな自信となる）。

## D) 家庭との連携

### ■保護者が自由に学校に出入りできるよう促している

保護者ができるだけ学校を身近に感じてもらえるようにするため、これまでは授業参観を特定の日時のみ実施していたが、いつでも保護者が学校を訪れて授業を見ることができるようになっている。併せて、全校的な清掃活動や行事等がある際には、必ず各保護者に呼び掛けて、積極的に参加・協力してもらうよう努めている。

### ■学校・児童の様子を積極的に保護者へ発信している

日々、学校で児童がどのようなことをしているのか、保護者に対して「学校だより」を通じて発信し、学校に対する保護者の理解を深め、より協力的な行動を引き出すよう配慮している。この学校だよりでは、積極的に子供の声を載せ、より身近な内容として保護者に読んでもらえるよう工夫している。

### ■児童が学習事項を定着できるよう家庭学習を促している

児童が学校で学んだことを確実に定着させられるよう、復習を主たる目的とした宿題を提示し、その結果も確認して児童一人ひとりにフィードバックしている。

## E) 地域との連携

### ■地域人材の参画を得て、特別授業や行事を展開している

学校への協力意識・姿勢が強い地域住民の力を活用して、学校支援地域本部事業等の枠組みも使いながら、地域の特性に根ざした特別授業（農業体験など）を行ったり、地域一体型で行事を行ったりしている。例えば学習発表会の際、児童による演目だけでなく、地域住民が三線を披露したり、運動会では、地域住民のみが参加するプログラムも用意し、児童が応援する一幕も見られる。また、近隣の企業や公的機関等の協力を得ながら、キャリア教育も展開している。これらにより、子供たちが様々な人や考えに触れられるだけでなく、地域住民としても学校への協力意欲を一層高め、多様な指導を展開することが可能となる。さらに、地域住民が児童や教職員のことを知り、逆に児童

や教職員が地域住民のことを知ることで、日々の安心・安全の向上にも寄与し、落ち着いた環境での学習を促す一因ともなっている。

#### F) 学校運営・学校経営

##### ■学校評価を通じて課題を明らかにし、それを改善するための方策を検討・実行している

学校評価で得られる教職員アンケート及び保護者アンケート結果や学校評議員会の意見を踏まえ、自校の課題を直視し、それを改善するための方策を全教職員で検討・実行している。例えば、学校評価を通じて「保護者が学校の敷居が高いと感じている」との課題が明らかとなった際には、保護者がいつでも授業参観をできることとしたほか、行事等があるたびに積極的に保護者に呼び掛け、参画・協力を促すようにした（「家庭との連携」の項に記載した事項と同様）。

##### ■学校運営・学校経営改善に向けた考えを適時集約し、次年度の計画へ迅速に反映させている

日々の指導や行事等を行いながら、常に次年度以降にも目を向け、課題が見られた際にはすぐさま（例えば行事が終了した直後に）教職員間で意見を交換し、改善策を次年度の経営計画等に反映している。

#### G) その他

##### ■他校との交流を通じて、児童が視野を広げるよう配慮している

自校での学習や諸活動のみでは、「井の中の蛙」になってしまうことが危惧されるため、定期的には大規模校で学習体験をしたり、近隣の学校と合同体育を実施したり、特別支援学校との交流事業を行ったりしている。

### 3.7 総括

本章で整理した特徴分析は、地域区分ごとに 1 事例を抽出して調査・分析したものであり、全体の傾向等を検証するための材料としては必ずしも妥当ではない。しかしながら、全地域区分を横並びで比較してみると、複数の事例で共通して見られた特徴として、教職員が自身の役割や担当だけに集中するのではなく、全教職員が恒常的に児童生徒の状況を把握・共有し、問題を発見した場合には全校体制で対処していることが挙げられる。また、教員の指導力向上に向けて、学力調査結果等のデータを活用しながら授業改善に向けた検討を重ねたり、自校だけでなく他校も交えた授業研究を推進したりしている事例も見られた。

他方、学習指導については、グループ別に議論・発表する機会を意図的に増やしたり、「書く」訓練や「読む」訓練を繰り返し実施したりする取組のほか、新聞や ICT を積極的に授業に導入したり、長期休暇中や放課後に児童生徒の学びが途切れないう補習等を展開したりする努力も複数見られた。さらに、児童生徒が学習に向かう上で自己肯定感を高めることが肝要であるとの認識に立ち、児童生徒が達成感を得られるよう習熟状況に応じて授業中の発問を変えたり、日頃から意識的に褒めたりするような取組もあった。

学校外との関係性については、多くの事例において、家庭学習を確実に実施するよう促す



こと、学校での児童生徒や教職員の様子を積極的に保護者に伝えること等の取組が見られた。また、地域との連携を積極的に推進し、学生や高齢者にボランティアとして学習指導に当たってもらうほか、近隣の大学と連携して専門性の高い学習機会を子供に提供するような工夫も見られた。

その他、学校経営・運営の観点から、多くの事例では、学校評価を活用して改善に結びつける PDCA を強く意識し、評価結果を真摯に受け止めて、良いところは伸ばし、課題があれば改善策を検討していた。また、小中連携を推進し、9年間を通じて子供の成長を支えるための仕組みを導入している事例も複数見られた。

以上で示した活動は、いずれも「特殊な」活動ではなく、全国の多くの学校においても取り組まれている内容と言える。しかしながら、本調査研究の特徴分析対象校において見られたのは、こうした活動を「当たり前」のこととして展開している姿であり、全教職員がその意義を理解・共有し、自然にかつ確実に実行しているからこそ、不利な環境下であっても高い学力水準を達成できているものと考えられる。